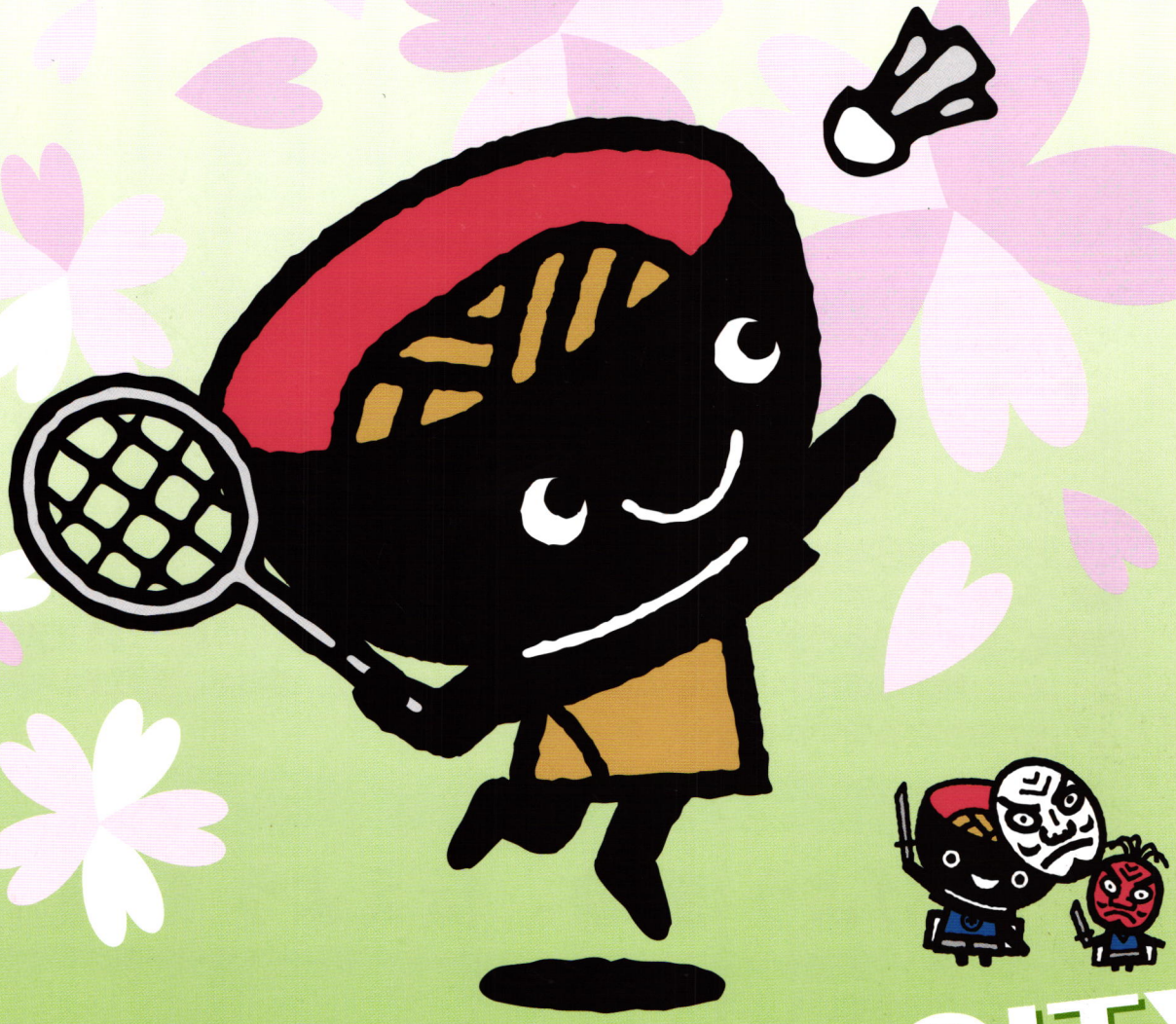
東日本大震災復興の架け橋
第71回国民体育大会

2016 希望郷いわて国体
広げよう 感動。伝えよう 感謝。

バドミントン競技会



in KITAKAMI CITY

会期 平成28年10月2日(日) ～ 平成28年10月5日(水)

場所 北上総合運動公園北上総合体育館

主催：公益財団法人日本体育協会／文部科学省／岩手県／公益財団法人日本バドミントン協会／北上市

国民体育大会マーク

昭和22年に国民体育大会のシンボルとして制定され、第２回大会から使用されています。30度右傾斜した赤色の火炎を直径の10分の１幅の紺青色の円帯で囲んでいます。

総合開会式・総合閉会式会場

北上総合運動公園北上陸上競技場（北上市）

大会愛称・冠称

東日本大震災復興の架け橋

2016 希望郷 いわて国体

大会愛称は、東日本大震災からの復興を「希望」をもって目指し、両大会を成功に導き、県民が一丸となって「希望郷いわて」を創り上げていく、という思いを込めています。
冠称は、岩手県出身の偉人新渡戸稲造にちなみ、全国と被災地の結びつきを架け橋に例え、また、第71回国民体育大会が復興のシンボルとなり、復興及びその先の明るい未来への架け橋となる願いが込められています。

スローガン

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

スポーツを通じて感動を全国に広げたい、全国からの東日本大震災復興に対する感謝を伝えたい、という想いを込めています。

マスコット 「わんこきょうだい」

こくっち　とふっち　そばっち　おもっち　うにっち

岩手県で人をもてなす象徴といわれる「わんこそば」と国内生産量日本一を誇る漆を使った岩手の「漆器」を掛け合わせたメインキャラクターの「そばっち」と、県内４つのエリアをそれぞれ代表する食材を盛り付けたキャラクターが、雑穀をモチーフにした「こくっち」、おとうふの「とふっち」、おもちの「おもっち」、うにの「うにっち」です。この５つのキャラクター「わんこきょうだい」で、岩手の魅力を発信し、おもてなしの心で希望郷いわて国体を盛り上げていきます。

目　次

あいさつ	第71回国民体育大会会長　公益財団法人日本体育協会会長	張　富士夫	1
あいさつ	文部科学大臣	松野博一	2
あいさつ	公益財団法人日本バドミントン協会会長	綿貫民輔	3
歓迎のことば	希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会会長	達増拓也	4
歓迎のことば	希望郷いわて国体・希望郷いわて大会北上市実行委員会会長	髙橋敏彦	5
歓迎のことば	岩手県バドミントン協会会長	竹林克彦	6

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程…… 7
国民体育大会会長トロフィー授与規程…… 8
大会役員…… 9
競技会役員…… 13
競技役員…… 15
競技補助員…… 17
競技会係員…… 18
競技会補助員…… 20
総則…… 21
第71回国民体育大会バドミントン競技会実施要項…… 45
表彰式次第…… 48
表彰式会場図…… 49
競技日程…… 50
タイムテーブル…… 51
少年女子　組合せ表…… 52
成年男子　組合せ表…… 53
成年女子・少年男子　組合せ表…… 54
バドミントンを楽しく見るために…… 55
都道府県別参加人数一覧表…… 57
都道府県別出場監督・選手一覧…… 58
競技成績決定方法…… 65
総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表…… 66
過去の成績一覧表…… 67
競技記録…… 90
競技会場・練習会場案内図…… 91
競技会場配置図…… 92
練習会場の使用について…… 95
練習会場使用日程表…… 96
練習会場概要図…… 97
競技上の注意…… 105
審判上の注意…… 107
昼食弁当の斡旋について…… 108
医療救護について…… 109
輸送について…… 110
大会関係機関連絡先（北上市）…… 111

あいさつ

第71回国民体育大会会長
公益財団法人 日本体育協会
会 長 張 富士夫

はじめに、４月に発生した熊本地震によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。

46年ぶりに岩手県において行われる第71回国民体育大会は、本年１月から２月にかけて行われた冬季大会と併せ「東日本大震災復興の架け橋」の冠称のもと、「完全国体」として開催いたします。

本大会が、平成23年３月に発生した東日本大震災により、未曽有の災害に見舞われた岩手県において、天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、開催されますことは、大変感慨深いものがあります。

スポーツを通して広く国民に夢と希望を与え、明るく豊かな国づくりを目指しスタートした国体は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、わが国最大のスポーツの祭典として充実、発展を遂げてまいりました。

全国から厳しい予選を勝ち抜き、栄えある郷土の代表として参加された選手の皆さんには、「広げよう　感動。伝えよう　感謝。」のスローガンのもと岩手県の皆さんが一丸となって諸準備に万全を尽くされたこの大会において、フェアプレー精神のもと、日頃鍛えた力と技を存分に発揮されることを期待しております。

また、選手の皆さんが全力で競技に取り組む姿が、東日本大震災ならびに熊本地震により被災された方々の力となることを、大会関係者とともに主催者の一員として強く願っております。
さらに、全国から参集する大会関係者と岩手県の皆さんとの出会い、交流が、岩手県と全国を、また現在と未来をつなぐ架け橋となり、本大会が実り多い大会となることを切望いたします。

結びに、復興のさなかにもかかわらず、大会の開催にご理解を賜りました岩手県をはじめ、関係各位のご尽力に対しまして心から感謝の意を表し、併せて大会の成功を祈念しご挨拶といたします。

あいさつ

文部科学大臣　**松　野　博　一**

はじめに、４月に発生した熊本地震によって、お亡くなりになられた方々に深く哀悼の意を表しますとともに、御遺族と被害に遭われた方々に心からのお見舞いを申し上げます。

奥羽山脈などに代表される緑豊かな山々、三陸復興国立公園などの変化に富んだ海岸等、豊かな自然環境に恵まれ、世界遺産「平泉」「橋野鉄鉱山・高炉跡」や無形文化遺産「早池峰神楽」など歴史と文化が息づくここ岩手県において、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、東日本大震災復興の架け橋第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典として、広く国民に親しまれるとともに、今日に至るまで、スポーツの振興・発展に極めて重要な役割を果たしてまいりました。

岩手県では46年ぶりの開催となる本大会は、「東日本大震災復興の架け橋」を冠称に、岩手県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。「希望郷いわて国体」が国民に夢と感動を与え、全国と被災地域のつながりと復興及びその先の未来への架け橋となるすばらしい大会となりますことを心から願っております。

郷土の代表として参加される選手の皆さん、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮されるとともに、この機会に全国の仲間や岩手県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。

今年はリオデジャネイロにおいて、オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、国民のスポーツへの関心がますます高まっているところです。そのような中、開催まで４年となった2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に向け、オールジャパン体制で大会準備や選手強化などに取り組んでいるところであり、引き続き皆様からの御理解、御支援をお願いいたします。

結びに、東日本大震災からの復興に取り組んでいる中、「希望郷いわて国体」の開催に当たり御尽力された地元岩手県、会場となる各市町村をはじめとする関係の皆様の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

あいさつ

公益財団法人 日本バドミントン協会
会 長 **綿 貫 民 輔**

『広げよう　感動。伝えよう　感謝。』のスローガンのもと、全国の精鋭が集い、東日本大震災復興の架け橋となる第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」バドミントン競技会が、北上市において開催されますことは、誠に喜びに堪えないところであり、心からお祝い申し上げます。

近年、日本のバドミントン競技力は向上し、今回のリオデジャネイロオリンピックでは、女子ダブルスにおいて日本バドミントン界初の金メダルを獲得し、女子シングルスにおいても銅メダルを獲得するという快挙を成し遂げました。このことは、全国のバドミントン愛好者に夢と希望と感動を与えてくれました。2020年に開催される東京オリンピックにおいてもまた大いに期待が持てる状況にあります。

国民体育大会は、我が国最大のスポーツの祭典であります。全国都道府県代表として参加される選手の皆さんの競技力は、世界に通ずるものであり、監督の指導の下、郷土の名誉をかけ、熱い戦いの展開が期待されます。これまでの厳しい練習で培われた技術と精神を遺憾なく発揮して、素晴らしいプレーを展開して下さい。

また、この大会を通じ、お互いの交流を深め、友情の輪を広げていただき、この大会が心に残る実り多い、そして被災地復興の架け橋となる大会になりますよう念願いたします。

終わりになりましたが。本大会の開催にあたり、多大なるご支援ご尽力いただきました岩手県及び北上市並びに地元協会や関係各位の皆様方に、心からお礼と感謝を申し上げまして、あいさつといたします。

歓迎のことば

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会
実行委員会会長
岩手県知事　**達　増　拓　也**

はじめに、平成28年熊本地震で犠牲になられた方に対し、心からお悔やみ申し上げますとともに、被害に遭われた皆様に御見舞い申し上げます。

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、全国から多くの選手及び役員の皆様をお迎えして、自然豊かで情緒あふれるここ岩手県において、東日本大震災復興の架け橋第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」を盛大に開催できますことは、この上ない喜びであり、岩手県民を代表して心から歓迎申し上げます。

本県における国民体育大会の開催は、昭和45年以来46年ぶり、また、本大会と冬季大会の全競技を同一県で開催するいわゆる「完全国体」としては、全国でも21年ぶりの開催となります。本国体は、復興のシンボルとして「広げよう感動。伝えよう感謝。」をスローガンに、これまでいただいた御支援への感謝を伝えるとともに、復興に取り組む過程で生まれた多くの「つながり」をより広く、より強くする機会ともとらえ「オール岩手」で準備を進めてまいりました。

郷土の誇りをかけて全国から参加される選手の皆様におかれましては、日頃のたゆまぬ努力の成果を遺憾なく発揮され、熱戦を繰り広げられますことを願っております。

本県は海と山に囲まれた雄大な自然や二つの世界遺産、風土に根ざした食文化など多彩な魅力にあふれております。復興に向かって力強く前進する本県の姿を是非御覧いただくとともに、こうした岩手の魅力にも触れていただければ幸いです。

結びに、各都道府県選手団の皆様の御健闘、御活躍を心からお祈り申し上げますとともに、本大会の開催にあたり、多大な御支援と御協力をいただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げ、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会
北上市実行委員会会長
北上市長　**髙　橋　敏　彦**

東日本大震災復興の架け橋第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」バドミントン競技会が、北上市を会場に全国から多くの選手・監督並びに大会関係者の皆様をお迎えし盛大に開催できますことは、誠に光栄であり、市民を代表し心から歓迎申し上げます。

昭和45年の第25回大会以来、46年ぶりとなる岩手での国体開催にあたり、「広げよう感動。伝えよう感謝。」のスローガンのもと、北上市民一丸となり、全国からお越しになる皆様を「おもてなしの心」でお出迎え出来るよう準備を進めてまいりました。

選手の皆様には、栄えある郷土の代表として、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮され、心に残る素晴らしい熱戦を繰り広げていただきますようご期待申し上げます。

そして、全国から集う多くの皆様と友情の輪を広げ、東日本大震災で被災した岩手県民並びに平成28年熊本地震の被災者等、全国に向けて、元気と希望を発信できる大会になりますよう願っております。

北上市は、夏油高原温泉郷や「鬼の館」、桜の名勝・展勝地にあります「みちのく民俗村」「サトウハチロー記念館」「利根山光人記念美術館」など恵まれた自然や歴史など数多くの魅力を備えております。この機会に北上市の歴史や文化に触れていただき、温泉で競技の疲れを癒していただければ幸いです。

結びに、本大会の開催にあたり数多くのご支援、ご尽力をいただきました関係者の皆様に心より感謝申し上げますとともに、参加される選手の皆様のご健闘と本大会の成功を祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。

歓迎のことば

岩手県バドミントン協会
会長　竹　林　克　彦

東日本大震災復興の架け橋第71回国民体育大会（希望郷いわて国体）バドミントン競技会が、ここ北上市において盛大に開催されますことは、誠に喜ばしいことであります。

また、全国の厳しい予選を戦い抜き、本競技会に出場される監督並びに選手の皆様方に対しまして、敬意を表すとともに心から歓迎申し上げます。

本県は、2011年の東日本大震災により、沿岸部を中心に甚大な被害を蒙りました。以来５年半余、復興はまだまだ、その途についたばかりですが、その際、各方面からお寄せいただいた多くのご厚情に深く感謝申し上げます。

この震災の際多くのご支援を頂いた皆様に、感謝の気持ちを伝えるとともに、復興に向かっている岩手の姿をお見せするべく『広げよう　感動。伝えよう　感謝。』をスローガンに開催されるこの国民体育大会は、岩手県では、昭和45年第25回国民体育大会以来46年ぶりの開催となる本競技会です。ここで繰り広げられる、郷土の名誉と栄光をかけた闘志あふれる素晴らしいプレーは、まさに、多くの愛好者に夢と希望と目標を、また、県民に大きな感動を与えて下さり、この大会が復興の架け橋になるものと確信しております。

選手の皆様におかれましては、日頃の練習で培われた成果を遺憾なく発揮し、所期の目的を達せられますとともに、交流を広め、出会いの絆を深めていただけるよう願っています。

終わりになりましたが、大会開催にあたりご支援ご協力を賜りました公益財団法人日本バドミントン協会、岩手県、北上市等の関係機関、そして役員、補助員などの関係者の皆様方に心から感謝とお礼を申し上げ、歓迎のことばといたします。

国民体育大会天皇杯・皇后杯授与規程

天 皇 杯　　皇 后 杯

第１条　天皇杯は、男女総合成績第１位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第３条　天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　信託会社又は確実な金庫に保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　公益財団法人日本体育協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は昭和41年４月１日制定

昭和45年１月22日一部改訂

昭和48年７月10日一部改訂

昭和54年５月９日一部改訂

平成17年６月16日一部改訂

平成22年３月17日一部改訂

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年４月１日）から施行する。

国民体育大会会長トロフィー授与規程

大会会長トロフィー

第１条　国民体育大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第１位の都道府県に授与する。

２　第１位が２都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第２条　大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第３条　大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

(1)　責任をもって保管する。

(2)　破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。

(3)　優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第１条第２項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。

(4)　公益財団法人日本体育協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

附　則　　本規程は昭和41年４月１日制定

昭和45年１月22日一部改訂

昭和48年７月10日一部改訂

昭和54年５月９日一部改訂

平成17年６月16日一部改訂

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年４月１日）から施行する。

大会役員

平成28年８月８日現在
（順不同・敬称略）

名誉会長	松野博一			
会長	張富士夫			
副会長	岡本毅	監物永三	岡崎助一	泉正文
	鈴木大地	達増拓也		
顧問	森喜朗	安西孝之	猪谷千春	帖佐寛章
	日比野弘	大野敬三	有竹隆佐	市村仁
	宇津木妙子	梅野哲雄	片野裕	勝田隆
	葛目憲昭	坂本和彦	坂本祐之輔	佐久間重光
	竹田恆和	樋口久子	平田竹男	不老浩二
	松井守	山下郁夫	中村正彦	村田芳子
	青木剛	松崎康弘	菱沼信夫	木村新
	中村康夫	山根明	林孝彦	二木英徳
	弘田充宏	堀内光一郎	藤澤信雄	鈴木修
	篠宮稔	市原則之	大島研一	笠井達夫
	前原正浩	宗像豊巳	田中英壽	春田恭彦
	山本正秀	山下泰裕	髙橋清生	今井茂満
	柴田猛	田村恒彦	福本修二	浪越信夫
	眞下昇	尾形好雄	山口徹正	宮﨑利帳
	栗原茂夫	建部彰弘	片山幸太郎	本戸歳知
	中村ゆり子	齋藤良太郎	荒井久也	野端啓夫
	早坂義弘	井上弘	遠藤容弘	岡﨑温
	永田圭司	浪岡正行	宮本英尚	村越真
	園山和夫	山倉和彦	衣笠剛	知念かおる
	伊部廣明	田邊哲人	京極努	中村節夫
	碓井進	霜觸寛	田澤俊明	佐藤博俊
	鈴木斌次郎	小川潔	遠藤均	堀口卓司郎
	荒川政利	野本彰一	青木寛	並木一夫
	小野力	岩波輝明	阿部徹	丸山隆義
	横嶋信生	向田和義	宮塚和彦	加藤訓義
	村木啓作	東地隆司	木村孝一郎	山本誠三
	桂千惠子	濱田浩嗣	福井基雄	志場紀之
	油野利博	下岡博司	梶川政文	久保田文也
	野村雅史	原田俊	分木秀樹	濱田征男
	森下博輝	東島敏隆	荒木健治	平田浩一
	井上倫明	川﨑重雄	髙城国昭	山田登志夫
	菊山直幸	黒川光隆	髙橋眞琴	岡田正治
	大東和美	久保博	吉田和憲	寺澤正孝
	日枝久	森保彦	森正博	佐藤広

	金子正子	水落敏栄	田野瀬太道	前川喜平
	小松親次郎	佐野太	髙橋道和	階猛
	鈴木俊一	黄川田徹	小沢一郎	高橋ひなこ
	橋本英教	藤原崇	平野達男	木戸口英司
	田村誠	高橋嘉行	雫石禮子	谷藤裕明
	民部田幾夫	菊田隆	昆暉雄	宗岡正二
	河野博文	佐藤浩市	笹川堯	遅塚研一
	北野貴裕	横田努	畔柳信雄	田嶋幸三
	八田英二	福田康夫	木村憲治	福田富昭
	北川薫	坂本剛二	木下宗昭	岡村正
	徳田寛	小池百合子	松尾新吾	小野清子
	橋本聖子	千玄室	高橋義博	大久保尚武
	渡辺佳英	八木原圀明	藤重貞慶	星野正史
	安道光二	島田晴男	横川浩	竹田恆正
	秋山肇	國分孝雄	綿貫民輔	三屋裕子
	堀達也	蝦名武	小笠原直樹	吉村美栄子
	須佐喜夫	角田芳夫	福田富一	児玉三郎
	上田清司	森田健作	山本博	鴻義久
	後藤斎	馬場潤一郎	石井隆一	谷本正憲
	西川一誠	阿部守一	小野木孝二	川勝平太
	大村秀章	竹林武一	河本英典	武田暹
	牧野明次	井戸敏三	橋本隆史	仁坂吉伸
	溝口善兵衛	越宗孝昌	神出亨	村岡嗣政
	飯泉嘉門	多田野榮	大亀孝裕	青木章泰
	小川洋	山口祥義	中村法道	甲斐隆博
	広瀬勝貞	佐藤勇夫	伊藤祐一郎	翁長雄志
参与	木村徹也	平井明成	澤川和宏	井上仁
	仙台光仁	千葉絢子	小西和子	斉藤信
	吉田敬子	髙橋但馬	福井せいじ	樋下正信
	小野寺好	軽石義則	阿部盛重	伊藤勢至
	佐々木宣和	城内よしひこ	木村幸弘	川村伸浩
	佐々木順一	名須川晋	佐藤ケイ子	関根敏伸
	髙橋元	髙橋孝眞	中平均	嵯峨壱朗
	工藤勝子	神﨑浩之	佐々木朋和	高田一郎
	飯澤匡	千葉進	佐々木茂光	岩崎友一
	小野共	五日市王	工藤誠	千葉伝
	工藤勝博	千田美津子	佐々木努	郷右近浩
	渡辺幸貫	菅野ひろのり	ハクセル美穂子	柳村一
	柳村岩見	臼澤勉	田村勝則	工藤大輔

	千葉茂樹	八重樫　勝	小平忠孝	村井三郎
	芳沢茎子	藤井克己	杉村　孝	保　和衛
	風早正毅	大平　尚	津軽石昭彦	佐々木　信
	菊池　哲	紺野由夫	及川　隆	木村卓也
	佐藤　博	浅沼康揮	堀江　淳	小向正悟
	八重樫一洋	八重樫幸治	菅原伸夫	大友宏司
	石田知子	佐藤　新	菊池　寛	堀　誠司
	桐田教男	井上　馨	阿部繁弘	谷村邦久
	長山　洋	藤井公博	星野勝利	柳村　栄
	菅原正弘	平賀信二	松井端　巧	山形守平
	三船俊光	佐藤勝士	鎌田英樹	熊谷俊巳
	髙橋富一	谷村久興	佐藤安紀	高橋真裕
	伊藤文洋	松田恵美子	瀬川愛子	長澤　茂
	菊池　透			
委員長	原　博実			
副委員長	河内由博	先﨑卓歩	岩間　隆	
総務委員	荒川　昇	林　辰男	飯坂尚登	石川惠一朗
	稲垣公雄	川原　貴	菊　幸一	坂井利郎
	三戸一嘉	柴田益孝	菅原哲朗	鈴木浩二
	友永義治	萩原美樹子	松丸喜一郎	山口　香
	山本　浩	ヨーコ　ゼッターランド	髙田　勉	秋和政一
	土居忠博	藤原　惠	三井　勉	野上文敏
	国久敏弘	丹羽治夫	金沢　敬	岩田史昭
	小友善衛	泉　裕之	八木浩之	髙橋光彦
委員	大嶋康弘	髙橋聖一	植田昌利	冨田政利
	野﨑拓哉	山本伊知郎	杉原　治	樋山　茂
	小泉芳孝	佐久間裕司	野村俊郎	入澤孝一
	末柄　勝	末木創造	江成元伸	松倉信裕
	柳下秋久	金﨑正久	小松勝彦	藤熊　昇
	伊藤一人	松井　勲	三宅　豊	丹藤勇一
	中野秀也	奥島快男	磯村幸二	西原斗司男
	津田博司	日下修次	木野内　毅	衛藤敬輔
	山下久雄	中段亜由美	佐藤直亮	関根宏一
	竹中雅彦	東　敏昭	佐々木健治	東野眞理子
	吉田優子	佐野俊輔	佐藤慎也	小泉律紗
	川井寿裕	平野博紀	日下光彦	関　伸夫
	成瀬幸宏	大石幸司	中村陽介	薄葉拓樹
	平林秀彦	篠澤尚人	安藤喜章	石川俊文
	小澤　陽	中村惣一	粒來幸次	安部光一

藤澤敦子	中島新	工藤啓一郎	浅川伸
長谷川浩幸	相坂譲	松本文弘	鈴木俊一
百瀬克浩	武田浩一	藤田知巳	田代哲郎
藪原博	古垣玲	山﨑成夫	内藤典子
浦邊哲	赤岡重人	池嶋聖也	老月守
徳田伸一	西川聡	小野沢弘夫	林泰章
藤掛賀津博	都築直哉	霊池恵量	川原三男
岩出卓	中嶋義基	角井弘之	田中実
小比賀忠和	八木康文	荒木一聡	村上健
小西慎太郎	後藤裕明	佐藤正範	有澤寛
石井孝典	石井道代	永富直樹	佐川英之
渡辺浩三	加藤哲也	寺崎雅巳	原恒久
森栄二	古木克浩	鹿倉貢	瑞慶覧康博
渡嘉敷通之			

競技会役員

（順不同・敬称略）

名誉会長	北上市長	髙橋敏彦
会長	公益財団法人日本バドミントン協会会長	綿貫民輔
副会長	公益財団法人日本バドミントン協会副会長	福田達夫
	公益財団法人日本バドミントン協会副会長	籾井勝人
	公益財団法人日本バドミントン協会副会長	関根義雄
	岩手県バドミントン協会会長	竹林克彦
	公益財団法人北上市体育協会会長	及川清人
	希望郷いわて国体・希望郷いわて大会北上市実行委員会事務局長	照井啓治
顧問	森喜朗　関谷勝嗣　森田一　林芳正	
	橋本角市　権田正一　平田登志郎　青木昭二	
	毛利清志　福田武　内多小五郎　小宮淳宏	
	吹田修一　牧野武　村山幸雄　濵中誠	
	福岡幸一　岡本武利　本郷節生　三宅祐司	
	野村嘉明　里見光徳　山根怜　佐藤芳朗	
	油井秀男　木村寛　遠井稔男　岡村英男	
	川島一郎　板垣隆房　星野忠男　藤本滋	
	藤原和文　加藤寛治　原紀征　鈴木勝之	
	中山紀子　藤原航　真壁幹雄　野村安忠	
	栗原進　村元英美　鈴木勇治　斉藤永吉	
	鈴木隆一　永井祥一　手塚克彦　別井晃	
	日野昇　磯井貞夫　有瀬浩一　千葉健夫	
	羽隅弘治　保坂和也　宮川忠和　平林良治	
	嵯峨元　中嶋光司　石川博義　末岡熙章	
	金森正　杉山忠国　澤長壽　田中田鶴子	
	大前繁雄　石田真敏　加藤博司　成相安信	
	岡﨑彬　田村興造　西野昌明　中村時広	
	西森潮三　浦山茂　中尾昌由　里脇清隆	
	坂本康尚　近藤稔　相澤潔　池田徹	
	金城芳雄　高橋穏至　小原善則	
参与	築地孝彦　三井裕　木戸純一　阿部秀夫	
	濵中勉　杉田忠光　白澤国雄　大内高志	
	志村正義　佐々木彦士　鬼柳孝夫　佐々木隆夫	
	佐々木洋平　及川義明　中村好雄　菊池憲一	
	佐藤ケイ子　関根敏伸　髙橋元　髙橋孝眞	
	菊池勝　昆野将之　髙橋晃大　平野明紀	
	熊谷浩紀　小田島徳幸　小原享子　佐藤惠子	
	齊藤律雄　藤本金樹　三宅靖　阿部眞希男	
	武田勝　梅木忍　安徳壽美子　星敦子	
	小原敏道　高橋光博　及川誠　八重樫七郎	
	八重樫善勝　髙橋初男　佐藤重雄　髙橋孝二	
	鈴木健二郎　薄衣景子　髙橋善郎　髙橋きぬ代	

	照井　渉	齋藤次彦	八重樫輝男	小野寺武俊
	髙橋一彦	佐藤正義	小田島秀一	松田　繁
	高橋孝一	阿部　忠	宮田　勤	井上昭二
	遠藤秀彦	佐藤智彦	柳原博樹	大林裕明
	津田勝則	菅原常彦	平野　等	菊池　浩
	木村利光	髙橋憲一	遠山晋一郎	高橋吉行
	奥山則男	八重樫守民	高橋隆紀	高橋幸三
	平野直志	藤本一廣	八重樫博之	菅野路子
	小笠原節郎	小原敏弘	藤原義延	大川正裕
	松田幸三	佐藤光一	佐藤秀城	齋藤賢也
	熊谷春夫	藤枝　剛	今野好孝	及川勝裕
	鈴木和夫	藤原和恵	菊池和俊	阿部裕子
	高橋忠夫	佐藤貞雄	小田島祐一	
委員長	公益財団法人日本バドミントン協会専務理事			銭谷欽治
副委員長	岩手県バドミントン協会理事長			村上信夫
	北上市バドミントン協会会長			金原良史
	希望郷いわて国体・希望郷いわて大会北上市実行委員会事務局次長			及川健二
委員	今井茂満	上松芳則	小野　理	河崎正紀
	坂上　昭	佐竹養一	芝　スミ子	高橋英夫
	田部井秀郎	民谷千寿子	能登則男	森田　昇
	山蔭　栄	山田順一郎	伊藤張二	石川　淳
	石川　聡	伊藤一郎	菊地　亨	佐藤彰彦
	鈴木満弥	髙田　満	千葉順一	寺澤　誠
	藤澤正幸	阿部勝志	伊藤俊幸	伊藤政雄
	大川憲一	小野寺正博	亀谷　麗	菊地　進
	北野和敏	菊池卓磨	久保田廣美	小岩義明
	佐藤憲明	高橋　敏	鈴木克仁	鈴木広志
	外川正昭	谷藤さなえ	千葉　惇	千葉昭徳
	千葉　圭	新井山浩之	畠山静夫	柳原　賢
	渡邊清一	豊田政弘	及川三男	菅　義行
	赤川周平	髙橋龍夫	千田一男	下瀬川俊一
	高橋　剛	佐々木茂雄		
	公益財団法人　日本アンチ・ドーピング機構　検査員			

競技役員

（順不同・敬称略）

競技役員長	濱中　勉			
総務部長	伊藤一郎			
競技審判部長	鈴木満弥			
総合成績計算委員長	丹藤勇一			
総合成績計算委員	髙田　満	大川憲一		
総務副部長	佐竹養一	佐藤彰彦		
総務主任	佐藤憲明	藤澤正幸		
総務委員	村上みゆき	阿部公枝	石川由実	髙橋千鶴子
	髙橋貞子	佐々木せつ子	髙橋幸子	松本美香
	葛巻茂子	太田寛子	中村朋美	坂本桃子
	宍戸朋夫	髙橋歩夢		
競技審判副部長	小野寺政博	柳原　賢		
競技主任	石川　淳			
競技委員	畠山静夫	伊藤俊幸	小野寺正宏	菅原瑞希
	石川　聡	髙橋　玄	中野徹也	正木博之
	和田五郎	吉田武夫	宮野　徹	及川陸記
	似内美奈子	髙橋源紀	泉　径宏	川南篤人
	三上信也	関口　等	平野由佳	伊藤貴志
	高橋　敏	髙橋拓実	岩渕和浩	藤澤佳代子
	及川　心			
進行主任	千葉　惇			
進行副主任	長谷川和之			
進行委員	村上信夫	佐々木彦士	安部路代	箱石　健
	平田純一	菊池　航	千田帆来土	
記録主任	千葉順一			
記録副主任	千葉昭徳	平賀隆之		
記録委員	及川　敬	山本茂樹	小原　学	酉丸威一郎
	昆野世宙	多田直史	菅野　徹	佐藤昇広
シャトル主任	及川清克			
シャトル委員	及川明奈	菊池　敏	菊地保福	
点示主任	竹沢恵子			
点示委員	加藤和子	鈴木由江	新井山佳世	阿部悦子
	柳村陵子	多田きよみ		
掲示主任	小岩義明			
掲示委員	清水上るみ子	佐藤直子	田鎖　充	
報道主任	髙橋拓也			
報道委員	千葉貴明			
放送主任	佐藤幸雄			
放送委員	菊池一恵	亀谷　麗	髙橋　咲	
招集主任	北野和敏			
招集委員	新井山浩之	川原恒太郎	八重樫信也	市橋義伸
	及川　靖	豊田政弘	菊地　稔	星　仁
	平野大輔			
会場主任	鬼柳孝夫			

コート委員	佐藤政由	菊地玲王		
得点表示員主任	水賀美佑紀			
得点表示員	似内拓也	藤田翔		
審判主任	菊池卓磨			
審判副主任	千葉圭			
審判員	堤伸弘	瓜田正勝	大谷恵美子	義江浩一郎
	関輔	玉久保政巳	冨永和志	埴生隆志
	西田覚	逸見寛二	横山優子	関辰夫
	岩﨑重男	木村藤子	河原年隆	菅﨑誠司
	梅蔭喜久治	木谷雅子	佐倉和明	慶野誠
	細田広人	松田大輝	佐伯玲子	谷慎一
	河端裕二	髙田みゆき	藤林剛	松浦信子
	原文俊	安部恵子	皆川芳久	佐藤美代子
	三本杉国親	國分清一	菅原幸史	芳賀元気
	林康隆	浅沼良雄	齋藤剛	佐藤智徳
	宮田幸司	畠山崇	小野寺浩子	高橋奨
	稲葉貴文	小野寺浩二	熊谷文利	園博
	鈴木広志	寺澤誠	及川淳	小野直樹
線審主任	谷藤さなえ			
線審副主任	伊藤政雄			
線審	高橋輝彰	猪股公弘	星川真由美	渡邊嘉紀
	内藤伊津雄	熊谷利昭	餘目司	菊池和男
	池内康祐	高橋亮	髙橋大吉	高橋恵理子
	千田祐子	髙橋久之	高橋淳史	菅原大地
	高橋慎	菊地生昭	佐々木清喜	阿部勝志
	今春洋子	菊地修一	鈴木辰市	尾形工
	小崎譲二	千葉幸悦	高橋克枝	伊藤光枝
	佐藤さよ子	畠山ひさ子	及川一磨	石川美咲
	小椋陽太	曾田一樹	小田桐綾	佐藤達哉
	菅原慎也	福士賢治	米村拓	小原楓雅
	及川爽	佐々木大誠	野田瑞貴	渡邉大雅
	伊藤賢哉	畠山貴士	宍戸大輔	髙橋遼
	内記敏徹	三浦大	吉田侑生	髙橋嬉亘
	佐々木涼音	下瀬川ユリア	外川実空	金野夕香
	熊谷千春	斎藤穂乃香	照井夢永	藤井愛
	市原杏奈	菊川優月	有住茉莉	佐々木良幸
	佐藤綾乃	阿部健也	軽石直人	竹澤和雅
	田村汰稀	藤井冬彩	村上和真	吉田梓紋
	木立千夏	佐々木陽菜	園まどか	千田好
	長岡朱里	芳賀優菜	松好奏海	横田沙良
	菊地拓也	髙橋尚佳	千田茉侑	千葉麻友奈
	東野祐佳			

競技補助員

（順不同・敬称略）

岩手県立黒沢尻北高等学校

阿部周平	瀬川凌生	岸野光希	荒井悠太
新井優作	石川泰晴	中村祥斗	菊池浩輔
亀田遼平	髙橋　陸	西野花菜	木内つぐみ
児玉永遠	佐々木涼花	石川榛菜	小笠原　愛
及川純奈	亀田真由	木村淳乃	佐藤有莉
藤原萌花	髙橋杏奈	林崎陽香	羽川菜摘
吉田夏帆	菅原菜那	菅原優里	

岩手県立北上翔南高等学校

梶川翔吾	及川盛津郎	山田竜也	清水水晶
高橋大翔	宮本翔山	杉澤尚吾	高橋優翔
戸田大晴	髙橋知弥	石積みなみ	小原　凜
阿部　楓	五内川めい	石森詩織	加藤里瀬
田子まゆか	只野彩華	菊池可那江	佐藤佳音
鬼柳彩花	松本彩礼	伊藤帆乃香	和山愛梨

岩手県立黒沢尻工業高等学校

八重樫　誠	伊藤　舜	昆　巧	髙橋由純
照井　凪	金森朱里斗	工藤隆一	下瀬川冬芽
塚澤健斗	阿部侑輝	及川若葉	佐保佑輔
髙橋尚輝	畠山弘規	小松　奨	佐藤和紗
髙橋永翔	高橋　悠	堀内裕太	及川　蓮
菊池正敏	昆野飛龍	高橋颯汰	照井桂吾
中島康太	山屋飛翔		

専修大学北上高等学校

照井張途	加藤理久	髙橋柊威	佐藤翔龍
髙橋康仁	千田優樹	藤井悠輔	久保田透大
髙橋英大	瀬川新太	高橋翔磨	田村拓斗
照井菜央	髙橋歩乃佳	土谷綺咲	古舘美咲
高橋優香	伊藤実悠	伊藤優香	照井恭平
八重樫　翔	久保田優良	関根　暖	及川優花
千葉一花	髙橋二千夏	北村美海	

岩手県立花北青雲高等学校

鎌田祐太	菊地一希	佐々木詩音	高橋駿輔
高橋隆之	山口　健	千葉義雅	伊藤　尚
高橋義幸	安ヶ平春輝	中島陽奈	三瓶萌莉

岩手県立前沢高等学校

阿部悠人	小形悠人	小野寺唯斗	佐藤謙士朗
佐藤　颯	佐藤真心	清水良玄	髙橋優飛
岩渕鈴音	藤井美波	森　菜帆	千葉瀬衣羅

競技会係員

（順不同・敬称略）

運営統括部会長	阿部英志			
統括班長	佐藤祐介	渡辺成尚		
統括係長	高橋秀男			
統括係員	高橋智恵	上平香織	高橋綾恵	
営繕班長	高橋信考			
営繕係長	山口典英			
営繕係員	阿部秀樹			
総合案内班長	千田玉美			
総合案内係長	斉藤映子			
総合案内係員	小田中美保	遠藤晴子	藤原美由紀	
広報記録班長	高橋晋			
広報記録係長	齋藤舞子			
広報記録係員	齋藤映博	佐藤亜希子	藤田哲平	
輸送部会長	高橋幸世			
輸送班長	菊池光久			
輸送係長	児玉直			
輸送係員	田井秀樹	高橋和樹	千田康明	高田朋
	八重樫大樹			
P&R駐車場係長	金子幸弘			
P&R駐車場係員	高橋雅宏	越田紀昭	高橋範行	高橋俊
	松田訟盟	菊池善一		
競技会場部会長	小笠原達也			
総務班長	平野大介			
総務係長	阿部哲也			
総務係員	佐藤岳洋	熊谷真由美	小笠原奈穂子	高橋貴敬
	千葉朋子			
案内所係長	小松幸恵			
案内所係員	大川知之	佐藤和成		
受付係長	菅野輝代			
受付係員	石橋知大			
おもてなし班長	伊藤晋也			
売店休憩所係長	加藤優子			
売店休憩所係員	阿部雄介	佐藤淳一		
ふるまい係長	佐藤聡子			
ふるまい係員	伊藤美和子			
競技式典班長	児玉康宏			
競技会場係長	大竹隆憲			
競技会場係員	蛭坂泰貴			
練習会場係長	奥山大輔			

練習会場係員	菅原俊彦	高橋亮貴	鬼柳太樹	高橋宗樹
	小原君久	赤坂康明	伊藤栄作	伊藤宜浩
	佐藤智美	小原純二	昆野純	
式典表彰係長	高橋顕祐			
式典表彰係員	三屋寛高	谷保和美	高橋舞香	八重樫珠美
	菅原梢			
環境衛生班長	高橋良枝			
環境美化係長	高橋礼司			
環境美化係員	箱崎智美	大熊直輝	和賀虎彦	
弁当係長	菅原真紀子			
弁当係員	高橋千尋			
救護係長	小原由佳子			
救護係員	滝澤史佳			
警備班長	高橋正貴			
消防警備係長	及川孝			
消防警備係員	大渡賢一			
会場駐車場係長	高橋健			
会場駐車場係員	金澤史記	堀内寛之	阿部裕樹	工藤正紀
	佐藤安彦	鬼柳俊	布施成一	田中洋史
	千葉彰	千葉章太		

事務局長	照井啓治			
事務局次長	及川健二			
事務局員	武田明一	矢後雅之	葛西宗	高橋祐一
	高橋真弓	白取浩行	渡邊佳洋	及川千明
	高橋光	瀬戸紘	高橋千明	阿部麻衣子
	千葉奈津美	菅原佑介	下瀬川俊一	南郷南
	平野華奈子	井手重早苗	菊地舞子	白藤花生
	高橋佳代子	名須川美咲	佐々木千春	八重樫琢磨
	高鷹健佑			

競技会補助員

（順不同・敬称略）

小田嶋　萩乃	工藤　美佐子	渡辺　知恵	千田　早苗	小田島　由美子
中嶋　勝司	小原　裕美子	照井　美由紀	福盛田　喜博	伊藤　一弥
照井　拓	熊谷　ゆかり	高橋　仁美	瀬川　佳子	小原　利枝子
櫛田　セイ子	辻村　由美	細川　睦美	佐々木　博光	及川　英洋
佐藤　早希	小原　世津子	柴田　諭	高橋　尚美	佐藤　一也
高橋　ツギ子	及川　百合子	齋藤　孝子	及川　陽子	菅野　路子
高橋　由紀子	高橋　麻奈美	熊谷　真奈美	小原　正子	金野　裕理
田中　菊恵	八重樫　奈々	及川　淳艶	小原　秀樹	高橋　優衣
斉藤　洋子	坂田　春奈	千葉　侑那	鍋倉　正	鎌田　素子
阿部　等	柳原　美和子	中居　集	林崎　誠	田中　大輔
千葉　裕樹	髙橋　佑	齋藤　昭平	八重樫　善勝	鬼柳　美佑
田代　ことえ	阿萬　昌子	伊沢　文子	渡邉　ミヨ子	斉藤　裕子
熊谷　智子	伊藤　秀夫	赤田　惇	木村　静江	高橋　美紀子
末澤　道子	中島　百合子	昆野　ルミ子	熊谷　志津子	熊谷　隆
鎌田　康文	伊藤　あけみ	千田　ひろみ	袈田　忠子	照井　三津江
石川　奈々	藤原　学	千葉　儀人	菊池　智子	石津　満弘
伊藤　静子	伊勢　登	佐藤　勝幸	千田　篤司	杉澤　巧
長野　重樹	菅原　かすみ	斉藤　淳司	佐藤　美智代	平野　勝也
横田　順子	加藤　大	工藤　博之	菅野　勝彦	齋藤　久仁子
千田　治	石川　悦郎	平野　勇治	長沼　トヨ子	小澤　元
杉沢　昭三	高橋　捷郎	八重樫　清	及川　邦夫	備前　文雄
小原　聡史	小原　嘉正	藤村　重孝	平野　眞男	福盛田　眞志
福盛田　礼子	菅木　みよ子	千田　隆	八重樫　周子	簡　宏之
千葉　基喜	小原　又助	阿部　春藏	高橋　宏幸	八重樫　邦雄
菊池　健	木村　誠	菊池　亜紀子	昆野　市郎	太田　芽生
八重樫　きり子	下瀬川　巧	野中　信子	小瀬川　邦雄	伊藤　義晴
川村　真鈴	鎌田　実	佐藤　信彦	髙橋　栄一	岩崎　誠
齋藤　五九夫	八重樫　敏彦	及川　徳治	髙橋　龍夫	及川　和之
小菅　等	昆野　薫	昆野　征輝	菊池　秀子	及川　享一
桑原　滋	髙橋　正宏	吉田　直子	藤田　洋子	高橋　幸子
千田　幸三	中嶋　恪	芳野　誠	奥山　一男	小田嶋　市雄
高橋　誠一	小田島　雄二	水戸　和憲	山本　忠雄	小笠原　豊克
齋藤　彰孝	大泉　勝	石田　正博	軽石　盛男	阿部　咲男
新田　芳徳	泉田　勤	山合　史子	千田　富士雄	斉藤　幸信
愛澤　勝志	髙橋　清市	高橋　稔	及川　正幸	伊藤　義廣
齋藤　重信	八重樫　嘉道	伊藤　克夫	菊池　忠芳	及川　良喜
小田島　純孝	澤田　義仲	千田　源一	藤本　善幸	平野　貞司
及川　諭	多田　英司	眞田　忠良	髙橋　和彦	髙橋　敏男
金田　豊次	古舘　美義	今野　信男	昆野　幸司	昆野　昌美
辻市　金治	齋藤　正明	小原　保雄	柏葉　正隆	吉田　ハル
千田　正寿	児玉　章	中村　勇城	千葉　嘉幸	工藤　将太
髙橋　摩悠莉	伊藤　恭生	野村　益男	宮川　佐智江	奥山　佳子
菅崎　久	髙橋　満	髙橋　公子	太田　喜直	及川　次雄
及川　幸弘	髙橋　智	村上　章	太田　真一	猫塚　春寿希
千葉　一志	岸根　美子	八重樫　一紗	柏葉　美行	髙橋　茂
藤原　昭人	藤村　幹	髙橋　知理	及川　雄偉	八重樫　俊廣
工藤　広人	照井　優子	髙橋　達子	松井　真理子	小原　秀子
佐藤　知子	鎌田　綾子	髙橋　道子	菊池　栄子	千田　トミ子

総　則

開催の趣旨

国民体育大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとするスポーツの祭典である。

岩手県で開催する第71回国民体育大会「希望郷いわて国体」は、東日本大震災津波からの復興の取組を進める中で、「広げよう感動。伝えよう感謝。」のスローガンのもと、「復興の力となる国体」、「岩手のスポーツ振興に寄与する国体」、「岩手の魅力発信と県民総参加による手づくりの国体」という３つの大きな柱を掲げ、県民の総力を結集して、夢と感動を与え、復興のシンボルとなる大会を目指して開催する。

実施方針

1　実施競技

正　式　競　技	特別競技
陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、カヌー、アーチェリー、空手道、クレー射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン	高等学校野球

2　会期及び会場地

会　　期	会　場　地	会場地数
平成28年10月１日（土） ～10月11日（火） 〔11日間〕	盛岡市、宮古市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、滝沢市、雫石町、葛巻町、岩手町、紫波町、金ケ崎町、山田町、岩泉町、普代村、軽米町、野田村、九戸村、洋野町、一戸町	12市10町３村
※　水泳競技会は下記日程内で実施 平成28年９月４日（日） ～９月11日（日） 〔８日間〕	盛岡市、釜石市	２市

3　競技方法

各競技実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4　ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育・情報提供・啓発活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民体育大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例」（TUE）の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民体育大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が未成年者（20歳未満）の場合、親権者及び本人が署名、捺印した同意書を所持すること。

5　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第71回国民体育大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【　公益財団法人日本体育協会ホームページ　http://www.japan-sports.or.jp/　】

(1)　参加資格

ア　日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ｱ)　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(ｲ)　少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8　参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」又は「家族滞在」（中学3年生）に該当していること。

(ｳ)　成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a　少年種別年齢域にあった時点において前号(ｲ)に該当していた者であること。

b　「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

［注］上記(ｳ)b について、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ　選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育（スポーツ）協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ　第69回又は第70回大会（都道府県大会及びブロック大会を含む。）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第69回又は第70回大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ｱ)　成年種別

a　「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

［注］a 及び b は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c　ふるさと選手制度を活用する者（別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

［注］別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

(ｲ)　少年種別

a　「学校教育法」第１条に規定する学校を卒業した者

b　結婚又は離婚に係る者

c　一家転住に係る者（別記２「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）

［注］a から c は当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

d　JOC エリートアカデミーに在籍する者（別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）

e　東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」による。）

エ　選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ１競技に限り参加できる。

カ　選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ　上記のほか、選手については次のとおりとする。

(ｱ)　都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。

(ｲ)　健康診断を受け、健康であることが証明された者であること。

(ｳ)　ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ク　上記のほか、監督については公益財団法人日本体育協会（以下「日本体育協会」という。）公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2)　所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア　成年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　勤務地

(ｳ)　ふるさと（別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」による。）

［注］別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ　少年種別

(ｱ)　居住地を示す現住所

(ｲ)　「学校教育法」第１条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）

(ｳ)　勤務地

(ｴ)　別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※　「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、平成 28 年 4 月 30 日以前から本大会終了時(平成 28 年 10 月 11 日)まで、引き続き当該地に、それぞれ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

［成年種別］

a　別記４「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

b　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

［少年種別］

a　一家転住に係る者

b　別記４「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

c　別記５「東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3)　選手の年齢基準

ア　選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ｱ)　成年種別に参加する者は、平成 10 年 4 月 1 日以前に生まれた者とする。

(ｲ)　少年種別に参加する者は、平成 10 年 4 月 2 日から平成 13 年 4 月 1 日までに生まれた者とする。

(ｳ)　年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、平成 28 年 4 月 1 日を基準とする。

イ　日本体育協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学３年生（平成 13 年 4 月 2 日から平成 14 年 4 月 1 日までに生まれた者）とする。

(4)　前記の各事項に疑義のあるときは、日本体育協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本体育協会がその可否を決定する。

別記１【国民体育大会ふるさと選手制度】

(1)　成年種別年齢域の選手は、国民体育大会開催基準要項細則第３項〔国民体育大会開催基準要項第８項第１号及び第 10 項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。

ア　居住地を示す現住所

イ　勤務地

ウ　ふるさと

(2)「ふるさと」とは、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOC エリートアカデミーに係る選手については、別記３「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第３項により取り扱うものとする。

(3)　我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。

(4)　「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。

なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。

(5)　「ふるさと」から参加する選手は、国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

(6)　ふるさと選手制度の活用については、原則として、１回につき２年以上連続とし、利用できる回数は２回までとする。

(7)　参加都道府県は「ふるさと選手」を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本体育協会宛に提出する。

別記２【「一家転住等」に伴う特例措置】

転校への特例

１　以下の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③）（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

(1)　この特例の対象は、少年種別年齢域への参加者に限る。

(2)　本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。

なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。

ア　親の転勤による一家の転居

イ　親の結婚、離婚による一家の転居

ウ　上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居

(3)　転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。

ア　本特例を受けようとする参加者は、下記２(1)の場合は転居元、下記２(2)の場合は転居先が属する都道府県体育（スポーツ）協会（以下「都道府県体育協会」という。）及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。

イ　報告を受けた都道府県体育協会及び都道府県競技団体は、下記２(1)の場合は転居先、下記２(2)の場合は転居元が属する都道府県体育協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。

２　本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。

(1)　転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合

イ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合

ウ　当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合

(2)　転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。

ア　転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合

別記３【JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置】

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、次の(1)に該当する者については、国民体育大会開催基準要項細則第３項〔国民体育大会

開催基準要項第８項第１号及び第10項第４号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」に関し、次の(2)～(4)の特例を適用する。

(1)　対象者

ア　少年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーに在籍する者

イ　成年種別年齢域の選手でJOCエリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

(2)　少年種別年齢域の選手の所属都道府県

(1)アに定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

(3)　成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

(1)イに定める成年種別年齢域の選手は、別記１「国民体育大会ふるさと選手制度」(2)に定める卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

なお、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

(4)　国内移動選手の制限に係る例外適用

(1)アに定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

［注］(1)イに定める成年種別年齢域の選手については、国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

別記４【トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置】

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民体育大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

１　特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

(1)　第30回オリンピック競技大会（2012年・ロンドン）に参加した者

(2)　平成28年４月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア　JOCアスリートプログラム強化指定選手

イ　各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ　中央競技団体が定めた強化指定選手

※　強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

２　特例の内容

(1)　予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民

体育大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ア) 平成 28 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 28 年 10 月 11 日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること

b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること

c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること

d 当該住居に主要な家財道具が存すること

(イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

(ア) 平成 28 年 4 月 30 日以前から大会終了時（平成 28 年 10 月 11 日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

(イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民体育大会開催基準要項細則第３項－（１）－１）－③のとおりとする。

別記５【東日本大震災に係る選手及び監督の国民体育大会参加資格の特例措置】

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県の６県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすこ

とができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　平成 23 年 3 月 11 日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の学校教育法第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　災害が発生しなかったと仮定した場合、平成 28 年 4 月 30 日以前から各競技会終了時まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2)　避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア　被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第 69 回及び第 70 回大会に当該特例対象県から参加していても、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（1）－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ｱ)　平成 23 年 3 月 11 日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第 1 条に規定する学校に在籍していた者であること。

(ｲ)　移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が平成 28 年 4 月 30 日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

［注］「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本体育協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。

イ　本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から第 71 回大会に参加した者が、第 72 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民体育大会開催基準要項細則第 3 項－（1）－1）－③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

＜例＞　○　避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合

○　避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合

○　他の都道府県に避難先を移す場合

(3)　避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者が、

成年種別年齢域に達した際、「国民体育大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

① 卒業中学校または卒業高等学校の所在地

② 災害の発生した時点で在籍していた中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記②の学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

平成23～24年度に、避難等による移動先の属する都道府県において中学校または高等学校を卒業した者。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	――――	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

〔注〕「種別」：種別などに与える競技得点　　「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民体育大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表　彰

(1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3)　各正式競技の男女総合成績第１位の都道府県に、国民体育大会会長トロフィーを授与する。

(4)　各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第１位から第８位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5)　各競技の各種別及び各種目などの第１位から第８位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものを都道府県用に１枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む。）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8　参加申込方法

(1)　都道府県の体育協会会長（代表者）及び各競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込むものとする。

(2)　参加申込は、定められた締切日までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

(3)　参加申込締切日

締　切　日	競　　技
①　平成 28 年 8 月 17 日（水）	水泳、セーリング、自転車、相撲、カヌー、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン
②　平成 28 年 9 月 1 日（木）	陸上競技、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、山岳、アーチェリー、空手道、クレー射撃、なぎなた、高等学校野球

(4)　参加申込様式は、日本体育協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5)　参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、次のア～ウ宛に所定の様式にて届け出なければならない。

ア　全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ　希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会事務局

ウ　希望郷いわて国体各競技会場地市町村実行委員会事務局

なお、日本体育協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9　棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10　大会参加負担金

(1)　本大会に選手団（視察員を除く。）を派遣する都道府県体育協会は、一人当たり次のとおり参加負担金を納入する。

区　　分	負　担　金
少年の種別に参加する選手	１，５００円
上記以外の者（本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等）	２，０００円

(2)　大会参加負担金は、各都道府県体育協会で取りまとめ、次のとおり納入する。

ア　納入期限

平成 28 年 9 月 1 日（木）

イ　納入先

みずほ銀行　渋谷支店　普通預金口座　513729

公益財団法人日本体育協会

11　宿泊申込

大会参加者は、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込む。

12　都道府県選手団本部役員編成及び視察員

(1)　都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。

ア　参加選手 500 名以上の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。

イ　参加選手 300 名以上 500 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。

ウ　参加選手 300 名未満の場合は、団長、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。

(2)　上記役員のほか、５名以内の顧問を設けることができる。

(3)　上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日体協公認スポーツドクター資格を有する者とする。

(4)　上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、アスレティックトレーナーを帯同できる。なお、帯同できるアスレティックトレーナーは日体協公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。

(5)　都道府県選手団本部役員の１日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。

(6)　視察員は、１都道府県３名以内とする。ただし、平成 29 年以降の国民体育大会の開催が決定又は内定している県については、愛媛県 100 名以内、福井県及び茨城県 60 名以内、鹿児島県及び三重県 40 名以内とする。

(7)　都道府県選手団本部役員及び視察員の参加申込は、平成 28 年 9 月 1 日(木)までに国民体育大会参加申込システムにより行う。

13　大会参加章、大会参加記念章及び視察員章の交付

大会参加章、大会参加記念章及び視察員章は、次の者に交付する。

(1)　大会参加章

都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技役員

(2)　大会参加記念章

公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者

※　公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。

(3)　視察員章

視察員

14　参加上の注意

(1)　大会期間中は、交付された大会参加章、大会参加記念章又は視察員章を携帯しなければならない。

(2)　各都道府県の代表選手は、競技に際し、所属都道府県を明示したユニフォームを着用しなければならない。

15　個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本体育協会、希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会、希望郷いわて国体各競技会場地市町村実行委員会及び国民体育大会実施競技中央競技団体（以下「国体関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1)　個人情報の取り扱い

ア　利用目的

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国体関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ　公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載

(ｲ)　競技会場内におけるアナウンス等による紹介

(ｳ)　競技会場内外の掲示板等への掲載

(ｴ)　大会関連ホームページへの掲載

ウ　競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

(ｱ)　希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会が設置する記録本部を通じた公開

(ｲ)　国体関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載

(ｳ)　国体関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載

(ｴ)　次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2)　肖像権に関する取り扱い

ア　写真

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ　写真（写真撮影企業等）

国体関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ　映像

国体関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD 等に編集され、販売・配付されることがある。なお、各競技における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

(3)　対応

ア　承諾の確認

大会参加申込として国民体育大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ　役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国体関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

16　都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

(1)　都道府県の主催団体は、必要に応じて日本体育協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本体育協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

(2)　都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

(3)　参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込む。なお、参加は１人１競技に限る。

(4)　ブロック大会の申込みは、原則として国民体育大会参加申込システムにより行い、様式は日本体育協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

(5)　都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

(6)　参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

(7)　競技運営に差し支えない限り、岩手県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

17　国民体育大会参加者傷害補償制度

日本体育協会及び都道府県体育協会は、国民体育大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民体

育大会参加者傷害補償制度を運営する。

(1)　本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員(顧問を含む)、視察員並びにその他選手団役員とする。

(2)　大会参加の都道府県体育協会は、国民体育大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり 1,000 円）を、日本体育協会に納入する。

(3)　納入締切日及び納入先については別途日本体育協会から都道府県体育協会へ通知する。

18　文化プログラム

文化プログラムは、次表のとおりとし、実施については、「文化プログラム実施基準」に基づくものとする。

平成 28 年 6 月 17 日現在

文化プログラム	会場地
飾り棚展示「読む国体」	盛岡市
展示室／プラネタリウム室	
テーマ展「七福神でめでたづくし（仮）」	
企画展「盛岡の指定文化財～未来へのおくりもの～」	
盛岡市都南歴史民俗資料館　常設展	
盛岡てがみ館　第 49 回企画展「女性のてがみ～芸術の世界に生きて～」	
常設展　（深澤紅子野の花美術館）	
マンガ郷いわて大会（いわてマンガプロジェクト）	
岩手県立美術館　常設展	
盛岡市遺跡の学び館　常設展	
岩手県立博物館　常設展	
農業教育資料館　（旧盛岡高等農林学校本館）の観覧	
冬休み！古代体験ひろば	
岩手県立博物館　特別展「発掘された日本列島 2015 展」	
いわてアートプロジェクト 2016　鈴木周作　ブルートレインと三陸鉄道展	
いわてアートプロジェクト 2016　長友心平作品展～新しい世界と溢れ出すアート～	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
いわてアートプロジェクト 2016　かわぐちまどか作品展　～死と彼女とぼく～	
いわてアートプロジェクト 2016　Chie 作品展　～光の中へ～	
「希望郷いわて国体・希望郷いわて大会」記念　まるごと芸術体験フェスタ　in 県民会館	
南昌荘のひなまつり	
平成 27 年度　遺跡報告会	
第 33 回埋蔵文化財調査資料展「盛岡を発掘する－平成 27 年度調査速報－」	
テーマ展「ひな人形展」	
いわてアートプロジェクト 2016　さいとうゆきこ展	
岩手県立美術館　企画展	

文化プログラム	会場地
日報リーダーズサークル　盛岡例会	盛岡市
平成27年度調査成果報告会	
特別展「大島高任の挑戦」	
盛岡市中央公民館重要文化財　旧中村家住宅公開事業	
盛岡市先人記念館常設展示	
所蔵資料展　（原敬記念館）	
常設展　（原敬記念館）	
盛岡てがみ館　常設展	
テーマ展「五月人形展」	
平成28年度盛岡市先人記念館収蔵資料展「平成27年新収蔵資料展」	
第5回石川啄木記念館企画展「啄木の妻節子」	
企画展「盛岡藩主南部家の興亡－草創期－（仮）」	
ゴールデンウィーク！古代体験ひろば	
テーマ展「盛岡藩の鉱山」（仮称）	
テーマ展「盛岡の縄文時代中期のムラ」（仮）	
企画展「国立科学博物館コラボミュージアム　古生代の大量絶滅と回復」	
盛岡てがみ館　第50回企画展「盛岡の先人たちの手紙」	
東日本大震災復興支援　未来絵PROJECT巡回展 「絵のちから―婁正綱、ビートたけし、ダグ・ウェブ」	
第55回企画展「選挙にいこう！」（仮）	
「ゆかたのまち盛岡」キャンペーン	
スペイン国立管弦楽団	
テーマ展「盛岡藩のスポーツ（仮）」	
盛岡市先人記念館　第55回企画展 「盛岡スポーツ名士録　－明治期から昭和45年国体まで－」	
企画展「岩手のチカラ　南部鉄器」（仮称）	
第40回こども絵画コンクール（盛岡展）	
いわてアートプロジェクト2016　光の絵画展	
いわてアートプロジェクト2016　長友心平展	
いわてアートプロジェクト2016　川口まどか展	
いわてアートプロジェクト2016 阿部敏勝　写真展～ホセマリア・シシリア・記憶のワークショップ～	
いわてアートプロジェクト2016　Voices　from Japan展　～変わらない空～	
いわてアートプロジェクト2016　いわてマンガプロジェクト展	
いわてアートプロジェクト2016　長友心平　釜石えがおプロジェクト展	
いわてアートプロジェクト2016　ANA　D'APUZZO展	
いわてアートプロジェクト2016　メディアアート展	
いわてアートプロジェクト2016　長友心平展　～新しい世界と溢れだすアート～	

文化プログラム	会場地
岩手県立美術館　企画展　岩手の現代美術家たち展	盛岡市
いわてアートプロジェクト 2016　アーティスト達とのワークショップ	
岩手県立美術館　特別展　障がい者あーと展	
平成 28 年度特別展　「スポーツ博覧会いわて」	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
全国スポーツ写真展	
いわて若者文化祭 2016	
第 15 回葛巻高原牧場まつり in 中津川	
第 6 回石川啄木記念館企画展「啄木と北海道」	
いわてアートプロジェクト 2016　Magdalena Sole 高校生公募写真展	
いわてアートプロジェクト 2016　中川直人「希望 1000 人のポートレイト」展	
いわてアートプロジェクト 2016　サムライハウス展　ＦＯＲＥＶＥＲ	
いわてアートプロジェクト 2016　Jose Maria Sicilia 展～ＳＡＮＤＣＡＳＴＬＥ～	
第 69 回いわて芸術祭	
盛岡市コレクション展	
盛岡市先人記念館　第 56 回企画展「常磐津林中と盛岡」	
復興応援！もりおか広域まるごとフェア（予定）	
いわてアートプロジェクト 2016　ＮＹと岩手をつなぐコンサート～温故知新～	
希望郷いわて＠八幡ぽんぽこ市スペシャル vol. 1 ～希望郷いわて国体協賛　★　南部盛岡ふるさと祭～	
ソロと室内楽の調べ	
第 3 回いわて親子フェスティバル in アイーナ	
いわてアートプロジェクト 2016　サムライハウス展　想起に導かれて	
企画展「縄文人の精神－盛岡の縄文時代中期の装飾－」（仮）	
第 56 回企画展「原敬入門」（仮）	
“元祖・はしご酒”八幡はしご酒祭り　～希望郷いわて国体協賛★30 周年記念大会～	
希望郷いわて＠八幡ぽんぽこ市スペシャル vol. 2 ～希望郷いわて国体協賛★バリアフリーのまち「もりおか八幡」～	
盛岡てがみ館　第 51 回企画展「文豪たちの原稿展」	
（仮称）ニッポンめんサミット in 盛岡	
第 31 回全日本わんこそば選手権	
テーマ展「盛岡絵暦展」（仮称）	
―漫画界のレジェンド―松本零士展　宇宙戦艦ヤマト・銀河鉄道 999	
チームラボアイランド―学ぶ！未来の遊園地―in 岩手	
宮古市北上山地民俗資料館　常設展	宮古市
大船渡市スポーツ推進委員協議会自主事業（仮）	大船渡市
平成 28 年度碁石海岸観光まつり	
発掘調査からみた震災復興展	

文化プログラム	会場地
ミニ展示「昭和の国体」（仮）	大船渡市
第7回大船渡市こども郷土芸能まつり（仮）	
大船渡市郷土芸能協会60周年記念行事（仮）	
宮野貝塚発掘調査現地説明会	
大船渡市立博物館常設展	
山の駅　昭和の学校	花巻市
宮沢賢治記念館　常設展	
宮沢賢治童話村　常設展	
花巻新渡戸記念館　常設展	
花巻市博物館　常設展	
宮沢賢治イーハトーブ館　常設展	
石鳥谷歴史民俗資料館　常設展	
石鳥谷農業伝承館　常設展	
南部杜氏伝承館　常設展	
高村光太郎記念館　常設展	
花巻市総合文化財センター　常設展	
萬鉄五郎記念美術館　常設展	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
日報リーダーズサークル花巻例会	
大迫「神楽の日」	
企画展「新渡戸稲造からの贈り物」	
郷土芸能が語る新渡戸氏	
多田等観展	
発明王　エジソン展	
田瀬湖湖水まつり	
土沢七夕まつり	
大迫あんどんまつり	
イーハトーブフェスティバル	
全国神楽大会ハヤチネ2016	
企画展「新渡戸氏と新田開発」	
花巻まつり	
収蔵資料展　ふれてみる　歴史と暮らし展	
第47回おおはさまワインまつり	
石鳥谷まつり	
土沢まつり	
郷土芸能が語る新渡戸氏	
国際フェア in はなまき	
花巻市共同企画展ぐるっと・花巻「稲造の父・新渡戸十次郎」	

文化プログラム	会場地
わんこイルミネーション事業	北上市
農業科学博物館　常設展示	
北上市立鬼の館常設展	
井上靖記念室常設展	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
第25回北上市民芸術祭参加　吹奏楽愛好会アンサンブルソノリテ　第17回定期演奏会	
諄子美術館	
特別企画展「塚本邦雄展―現代短歌の開拓者―」	
北上市みちのく民俗村	
山口青邨宅「三艸書屋」「雑草園」常設展	
北上平和記念展示館　常設展	
北上市立利根山光人記念美術館	
サトウハチロー記念館・叱られ坊主	
鬼の館　芸能公演	
北上展勝地さくらまつり	
北上吹奏楽団「きたすい第34回スプリングコンサート」	
夏油高原新緑まつり	
平成28年度常設展「スポーツと詩歌2016」（仮）	
夏油温泉かがり火公演	
踊りは絆　大震災復興支援チャリティー舞踊ショー	
企画展「津々浦々、鬼の国ニッポン」	
第40回こども絵画コンクール（北上展）	
北上・みちのく芸能まつり	
平成28年度北上市史編さん室企画展　きたかみの足跡～国体編～	
さくらホールオリジナル盆踊り大会「盆ジュール大会」	
えづりこ古墳まつり	
北上市立博物館　リニューアル常設展	
北上市立博物館和賀展示室　常設展	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
おもてなし街ライブ	
夏油高原紅葉まつり	
サトウハチロー記念第20回「おかあさんの詩」全国コンクール表彰式＆記念コンサート（仮称）	
第26回生涯学習市民のつどい　「遊・YOU学園祭＆ワン・ワールド・フェスタ」	
三船久蔵十段資料展示	久慈市
日報リーダーズサークル久慈例会	
絵本コンサート「はなちゃんの　はやあるき　はやあるき」	
第40回こども絵画コンクール（久慈展）	

文化プログラム	会場地
北限の海女フェスティバル	久慈市
久慈秋まつり	
いわてアートプロジェクト 2016　ＮＹと岩手をつなぐコンサート～温故知新～	
平成 28 年度久慈市民芸術文化祭	
山里の暮らし体感	遠野市
遠野市立博物館常設展	
第 41 回市民の舞台　遠野物語ファンタジー	
無料昔話	
夜神楽公演	
平成 28 年度　日本のふるさと遠野まつり	
芦東山記念館　常設展	一関市
酒の民俗文化博物館　文学の蔵　常設展	
日報リーダーズサークル一関例会「野村万作・野村萬斎　狂言の会」	
一関市博物館　常設展・企画展	
第 40 回こども絵画コンクール（一関展）	
気仙大工左官伝承館	陸前高田市
「奇跡の一本松」	
陸前高田復興まちづくり情報館	
うごく七夕まつり	
けんか七夕まつり	
全国太鼓フェスティバル	
釜石市立　鉄の歴史館	釜石市
釜石市郷土資料館　常設展及び企画展示	
日報リーダーズサークル釜石例会【林家たい平釜石寄席】	
第 40 回こども絵画コンクール（釜石展）	
福田繁雄作品展	二戸市
田中舘愛橘記念科学館	
二戸歴史民俗資料館　常設展	
なにゃーとよ市	
「希望郷いわて復興写真館　～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
浄法寺歴史民俗資料館　常設展	
薬師堂まつり	
稲庭高原まつり	
天台寺あじさい祭り	
ヒメボタル鑑賞会	
ブルーベリー摘み取り園開園	
金田一温泉まつり	
福田人形まつり	

文化プログラム	会場地
二戸まつり	二戸市
武内神社例大祭	
枋ノ木神社金勢様まつり	
浄法寺まつり神明社例大祭	
うるしまつり	
トリコロールフェスタ in なにゃーと	
味の味覚フェスタ	
金田一温泉観光りんご園収穫祭	
八幡平市博物館常設展	八幡平市
八幡平市西根歴史民俗資料館常設展	
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	
いわてアートプロジェクト 2016　そのだつくし展	
松尾鉱山資料館　常設展	
歴史公園　えさし藤原の郷	奥州市
奥州市埋蔵文化財調査センター　常設展	
後藤新平記念館　常設展	
奥州市武家住宅資料館常設展	
奥州市　牛の博物館　常設展	
平成 28 年「どんと祭」	
後藤新平記念館　平成 27 年度第 3 回企画展　「写真と画でみる新平の素顔（仮題）」	
黒石寺蘇民祭	
第 15 回くくり雛まつり	
江刺桜まつり	
えさし蔵まち「水曜市」	
日高火防祭	
第 60 回水沢商人まつり	
えさし蔵まちモール「屋台村」	
第 16 回えさし「蔵まち市」	
奥州水沢夏まつり「街中イベント」「奥州水沢の花火大会」	
江刺夏まつり（七夕まつり、みちのく盂蘭盆まつり）	
えさし蔵まち「水曜市感謝祭」	
いさわ商工秋まつり	
第 15 回衣川まるごと市場	
平成 28 年度鞍掛山山開き	滝沢市
チャグチャグ馬コ	
平成 28 年岩手山山開き	
第 34 回滝沢市産業まつり	
岩手県立大学大学祭　IPU　Ｆｅｓｔａ　2016	

文化プログラム	会場地
小岩井農場資料館　常設展	雫石町
雫石町歴史民俗資料館　常設展	
ガイド付きツアー「小岩井農場物語」	
雫石川にこいのぼりを泳がせよう掲揚事業	
第32回岩手山ろくファミリーマラソン	
駒ヶ岳山開き	
第27回フラワーロード一斉植栽	
岩手山山開き	
第16回南部よしゃれ全国大会	
第46回雫石よしゃれ祭り	
雫石町御明神夏まつり	
2016雫石地産食楽部 in NEW WING	
しずくいし産業まつり	
第52回雫石町総合芸術際	
第59回雫石町無形文化財芸能祭	
第4回戸沢サミット	
第20回くずまき高原牧場まつり	葛巻町
岩手町小中学校・高校絵画コンクール作品展	岩手町
岩手県立沼宮内高等学校　美術部・書道部合同展	
第17回音を楽しむ会定期演奏会	
岩手町町制施行60周年記念「三遊亭小遊三　寄席公演」	
常設展（屋外展示）	
岩手町郷土芸能スケッチと岩手のポスター展	
企業コレクションによる近代洋画展（仮）	
園井恵子没後70年　戦災と震災を結ぶ命と夢のかけ橋公演 「残花－1945さくら隊　園井恵子－」岩手町公演	
North Wind project　小林志保子、杉本さやか、たんのそのこ（仮）	
石神の丘美術館　ラベンダーフェア	
道の駅　石神の丘　開業14周年記念感謝祭	
平成28年度　里川キャンプ	
北緯40度展（仮）	
第22回岩手町夏まつり	
岩手町ホッケーの歴史展	
川口秋まつり	
眞壁 廉　彫刻展	
岩手町秋まつり	
第36回岩手町産業まつり	
第55回岩手町芸術祭（展示部門）	

文化プログラム	会場地
第 55 回岩手町芸術祭（舞台部門）	岩手町
平成 28 年度岩手町郷土芸能発表会	
紫波町まるごと書きくけコンクール	紫波町
第 45 回紫波夏まつり	
紫波町芸術祭舞台部門	
第 33 回紫波町産業まつり	
矢巾町歴史民俗資料館　常設展	矢巾町
碧祥寺博物館　常設展	西和賀町
西和賀町立川村美術館・デッサン館　常設展	
金ケ崎町城内諏訪小路重要伝統的建造物群保存地区内の侍住宅公開	金ケ崎町
金ケ崎町要害歴史館の観覧	
千田正記念館の見学	
毛越寺　宝物館	平泉町
平泉文化遺産センター　常設展	
平泉・一関国際音楽祭	
秘佛「一字金輪佛頂尊」御開帳	
本堂法話	
住田町民俗資料館　常設展	住田町
大槌町郷土芸能祭	大槌町
復興やまだ写真館（震災前～復興への歩みパネル展示会）	山田町
岩泉町歴史民俗資料館　常設展	岩泉町
三陸海岸探訪ハイキング	
郷土芸能祭	
田野畑村民俗資料館　常設展	田野畑村
鵜鳥神社例大祭	普代村
2016 海フェスタ in ふだい	
ふだいまつり	
軽米町歴史民俗資料館　常設展示	軽米町
アジア民族造形館　常設展	野田村
ふるさと創造館・常設展示	九戸村
オドテ塾夏祭り　盆踊り大会	
九戸まつり	
第 27 回戸田かぼちゃまつり	
おおのキャンパス一人一芸交流祭	洋野町
久慈平岳山開き	
たねいちウニまつり	
種市夏まつり	
北奥羽ナニャドヤラ大会	

文化プログラム	会場地
第 11 回洋野町農業祭	洋野町
洋野町文化祭	
御所野縄文博物館　常設展	一戸町
夢あかり	
ニューイヤージャズライブ	
藤島のフジまつり	
一戸町産業まつり	
第 16 回　旧朴舘家住宅　神楽公開	
サクソフォーン四重奏コンサート	
県北一戸美術展	
AGUDO・KAZURU（アグド・カズル）	
縄文の里　いちのへナニャトヤラ踊り	
一戸まつり	
小鳥谷まつり	
第 39 回一戸町郷土芸能祭	
平成 28 年度　発掘調査現地説明会	県内各地
「希望郷いわて復興写真館～感謝を込めて、復興の今を伝えたい～」	

※会場地数は、14 市 15 町 4 村

19　公開競技

公開競技は、次表のとおりとし、実施については、「国民体育大会公開競技実施基準」に基づく実施要項による。

公　開　競　技	会　場　地
綱引	花巻市
ゲートボール	花巻市
パワーリフティング	平泉町
グラウンド・ゴルフ	大船渡市

20　デモンストレーションスポーツ

デモンストレーションスポーツは、次表のとおりとし、実施については、「国民体育大会デモンストレーションスポーツ実施基準」に基づく実施要項による。

デモンストレーションスポーツ		会　場　地
ビリヤード		盛岡市
武術太極拳		盛岡市
シーカヤックマラソン		宮古市
ウォーキング		大船渡市
マラソン		大船渡市
リレーション３		花巻市
エアロビック		北上市
ヒルクライム		北上市
フライングディスク	ディスクゴルフ	北上市
	アルティメット	
ペタンク		北上市
スポーツ吹矢		一関市
バウンドテニス		一関市
ビーチバレー		陸前高田市
オリエンテーリング		八幡平市
ダンススポーツ		滝沢市
３Ｂ体操		雫石町
ネオホッケー		葛巻町
少年少女ホッケー		岩手町
スポーツチャンバラ		矢巾町
ラジオ体操		矢巾町
室内雪合戦		西和賀町
インディアカ		平泉町
クッブ		住田町
ソフトバレーボール		大槌町
マレットゴルフ		田野畑村
ウォークラリー		野田村
サーフィン		洋野町
パークゴルフ		洋野町
ターゲット・バードゴルフ		一戸町

※会場地数は９市、10町、２村

21　その他

(1)　参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。

(2)　その他の事項については、国民体育大会開催基準要項及び同細則による。

第71回国民体育大会バドミントン競技会実施要項

1　期　　日　　平成28年10月2日（日）から10月5日（水）まで（4日間）

種　別	10月2日（日）	10月3日（月）	10月4日（火）	10月5日（水）
成年男子	1　回　戦	2　回　戦	準々決勝 準　決　勝	3位決定戦 決　　勝
成年女子		1　回　戦	準々決勝 準　決　勝	3位決定戦 決　　勝
少年男子		1　回　戦	準々決勝 準　決　勝	3位決定戦 決　　勝
少年女子	1　回　戦 2　回　戦	3　回　戦	準々決勝 準　決　勝	3位決定戦 決　　勝

2　会　　場　　北上市　　北上総合運動公園北上総合体育館

3　種別及び参加人員

種　別	監　督	選　手	参加都道府県	小　計	合　計（人）
成年男子	1	3	32	128	444
成年女子	1	3	16	64	
少年男子	1	3	16	64	
少年女子	1	3	47	188	

※ 成年選手は監督を兼任することができる。

4　競技上の規程及び方法

(1)　平成28年度の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則・大会運営規程並びに公認審判員規程による。

(2)　各種別とも1複2単による都道府県対抗トーナメント方式とし、うち2試合を得た方を勝ちとし、勝敗決定後の試合は打ち切る。また、3位決定戦を行う。

5　予選方法

ブロック大会を通過したチームが本大会に出場する。（少年女子は全都道府県が参加）
ブロック大会区分及び選出チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都　道　府　県　名	成年男子	成年女子	少年男子
北　海　道	北海道	1	1	1
東　　北	青森、宮城、秋田、山形、福島	4	2	2
関　　東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	5	2	2
北　信　越	新潟、長野、富山、石川、福井	3	2	2
東　　海	静岡、愛知、三重、岐阜	3	1	1
近　　畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	4	2	2
中　　国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	3	2	2
四　　国	香川、徳島、愛媛、高知	3	1	1
九　　州	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	5	2	2
開　催　県	岩手	1	1	1
計		32	16	16

6　参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則５に定めるところによる。

(1)　少年種別に参加できる選手は、平成 13 年４月２日から平成 14 年４月１日までの間に生まれた中学３年生を含むものとする。

(2)　監督は、公益財団法人日本体育協会公認スポーツ指導員制度に基づく公認バドミントン上級コーチ、公認バドミントンコーチ、公認バドミントン上級指導員、公認バドミントン指導員の有資格者であることとする。

7　総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1)　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（４チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。

(2)　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8　表　　彰

(1)　男女総合成績及び女子総合成績第１位から第８位までの都道府県に表彰状を授与する。

(2)　男女総合成績第１位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。

(3)　各種別の第１位から第５位（４チーム）までに賞状を授与する。

9　参加申込み方法

(1)　所定の Web ページ（国民体育大会参加申込み受付窓口）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育協会を通じて、平成 28 年９月１日（木）までに申込み手続きを完了すること。

(2)　締切期限以降は、所定の Web ページ（国民体育大会参加申込み受付窓口）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。

(3)　参加申込み締切後の選手変更は、疾病、傷害等の特別な事情の場合のみ認めるものとし、その場合は、下記のア、イ、ウの事務局あてに文書で届け出なければならない。ただし、監督会議開催前までとする。

ア　〒150-8050　東京都渋谷区神南一丁目１番１号　岸記念体育会館内
公益財団法人日本バドミントン協会
TEL 03-3481-2382　FAX 03-3481-2456

イ　〒020-0023　岩手県盛岡市内丸 11 番１号　盛岡地区合同庁舎内
希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会事務局
（岩手県国体・障がい者スポーツ大会局）
TEL 019-629-6487　FAX 019-629-6484

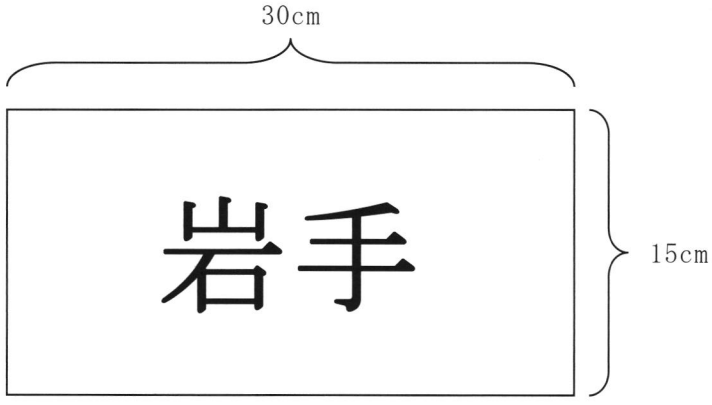
ウ　〒024-8502　岩手県北上市上江釣子 17 地割 201 番地２　北上市役所江釣子庁舎内
希望郷いわて国体・希望郷いわて大会北上市実行委員会事務局
TEL 0197-72-8288　FAX 0197-77-3591

なお、公益財団法人日本体育協会に対しては、大会終了後、別途、所定の手続きにより参加申込み情報を修正すること。

10　参加上の注意

競技に際しては、上衣背面中央に縦 15cm、横 30cm の範囲内に都道府県名を明示すること。文字は、上衣背面の都道府県名明示部分の色と明確に区別できる文字色の漢字とする。

【例】



11　そ の 他

(1)　組合せ抽選会

日　時　　平成 28 年９月３日（土）午前 10 時

場　所　　岸記念体育会館　会議室

〒150-8050　東京都渋谷区神南一丁目１番１号

TEL 03-3481-2382　FAX 03-3481-2456

(2)　審判会議

日　時　　平成 28 年 10 月１日（土）午後３時 30 分

場　所　　北上市生涯学習センター（おでんせプラザぐろーぶ３階）

〒024-0061　岩手県北上市大通り一丁目３番１号

TEL 0197-72-8303　FAX 0197-63-3121

(3)　監督会議

日　時　　平成 28 年 10 月１日（土）午後５時

場　所　　ブランニュー北上

〒024-0061　岩手県北上市大通り一丁目 10 番１号

TEL 0197-72-7075　FAX 0197-72-7076

(4)　表彰式

日　時　　平成 28 年 10 月５日（水）午後２時

場　所　　北上総合体育館

〒024-0051　岩手県北上市相去町高前檀 27 番地 36

TEL 0197-67-6720　FAX 0197-67-6721

表彰式次第

1　日　程　　平成28年10月5日（水）　午後2時

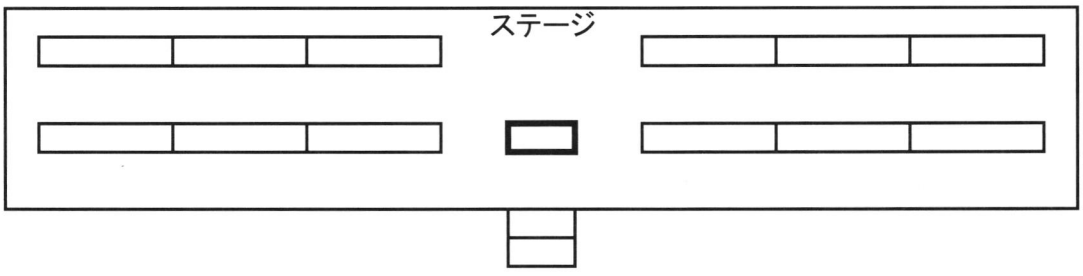
2　場　所　　北上総合体育館　大アリーナ

3　式次第

順序	次第	予定時刻
	競技（決勝戦）終了	13：00
	選手団集合・関係役員整列完了	13：55
1	開式通告	14：00
2	成績発表	14：01
3	表彰	14：04
4	競技会会長のあいさつ	14：34
5	歓送のことば	14：37
6	国旗儀礼	14：40
7	大会旗・協会旗・県旗・市旗儀礼	14：43
8	競技会終了宣言	14：45
9	閉式通告	14：46
	選手団解散	14：47
	関係役員解散	14：52

表彰式会場図

北上総合体育館　大アリーナ



少年女子	少年男子	成年女子	成年男子	女子総合	男女総合
1位	1位	1位	1位	1位	1位
2位	2位	2位	2位	2位	2位
3位	3位	3位	3位	3位	3位
4位	4位	4位	4位	4位	4位
5位	5位	5位	5位	5位	5位
6位	6位	6位	6位	6位	6位
7位	7位	7位	7位	7位	7位
8位	8位	8位	8位	8位	8位

競技日程

審判会議	10月1日（土）	15時30分	北上市生涯学習センター
監督会議	10月1日（土）	17時00分	ブランニュー北上
開始式	10月1日（土）	18時00分	ブランニュー北上

北上総合体育館

	10月2日（日）	10月3日（月）	10月4日（火）	10月5日（水）
9:00 9:30				
10:00 10:30	少年女子（G） 1回戦（7試合） 9:30～	少年男子（B） 1回戦（8試合） 9:30～	少年男子（B） 準々決勝（4試合） 成年女子（W） 準々決勝（4試合） 9:30～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 3位決定戦 9:30～
11:00 11:30 12:00	少年女子（G） 1回戦（8試合） 11:00～	成年女子（W） 1回戦（8試合） 11:00～	少年女子（G） 準々決勝（4試合） 成年男子（M） 準々決勝（4試合） 11:30～	成年男子（M） 成年女子（W） 少年男子（B） 少年女子（G） 決勝戦 11:00～
12:30 13:00 13:30	成年男子（M） 1回戦（8試合） 12:30～	成年男子（M） 2回戦（8試合） 12:30～	少年男子（B） 準決勝（2試合） 成年女子（W） 準決勝（2試合） 13:30～	
14:00 14:30 15:00	成年男子（M） 1回戦（8試合） 14:00～	少年女子（G） 3回戦（8試合） 14:00～		
15:30 16:00 16:30	少年女子（G） 2回戦（8試合） 15:30～		少年女子（G） 準決勝（2試合） 成年男子（M） 準決勝（2試合） 15:30～	
17:00 17:30 18:00	少年女子（G） 2回戦（8試合） 17:00～			
18:30 19:00				

表彰式	10月5日（水）	14時00分	北上総合体育館

※ Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

タイムテーブル

競技会場		北上総合体育館									
月　日	コート番号 / 開始時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
第１日目 10月２日（日）	9:30	G１	G２	G３	G４	G５	G６	G７			
	11:00	G８	G９	G10	G11	G12	G13	G14	G15		
	12:30	M１	M２	M３	M４	M５	M６	M７	M８		
	14:00	M９	M10	M11	M12	M13	M14	M15	M16		
	15:30	G16	G17	G18	G19	G20	G21	G22	G23		
	17:00	G24	G25	G26	G27	G28	G29	G30	G31		
第２日目 10月３日（月）	9:30	B１	B２	B３	B４	B５	B６	B７	B８		
	11:00	W１	W２	W３	W４	W５	W６	W７	W８		
	12:30	M17	M18	M19	M20	M21	M22	M23	M24		
	14:00	G32	G33	G34	G35	G36	G37	G38	G39		
第３日目 10月４日（火）	9:30	B９	B10	B11	B12	W９	W10	W11	W12		
	11:30	G40	G41	G42	G43	M25	M26	M27	M28		
	13:30	B13		B14			W13		W14		
	15:30		G44		G45	M29		M30			
第４日目 10月５日（水）	9:30	M31			W15	B15			G46		
	11:00		M32	W16			B16	G47			
	14:00	表　彰　式									

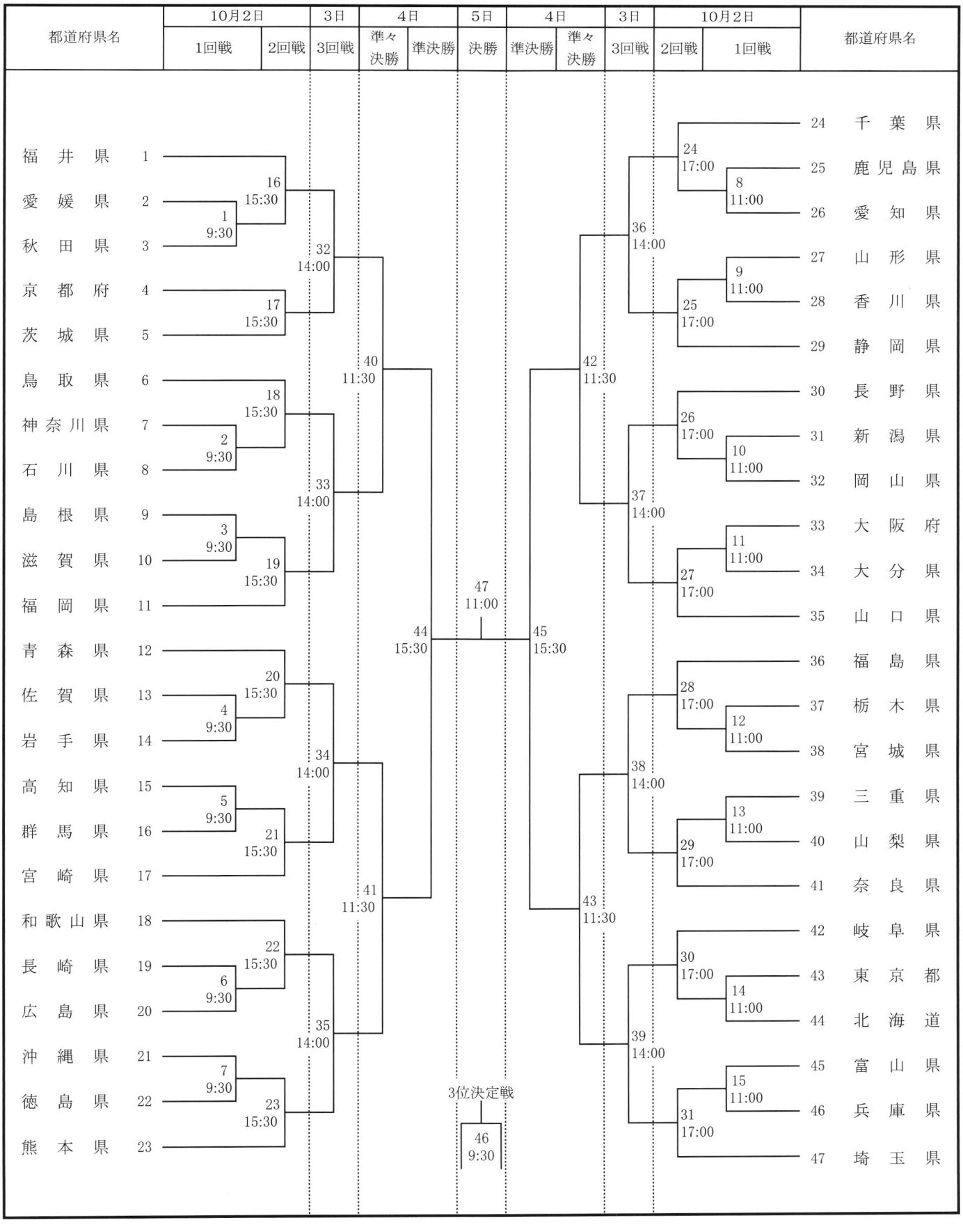
＊　Mは成年男子、Wは成年女子、Bは少年男子、Gは少年女子

＊　□　は決勝戦、＿＿＿　は３位決定戦

＊　試合が遅れた場合はコートを変更して行うことがあります。

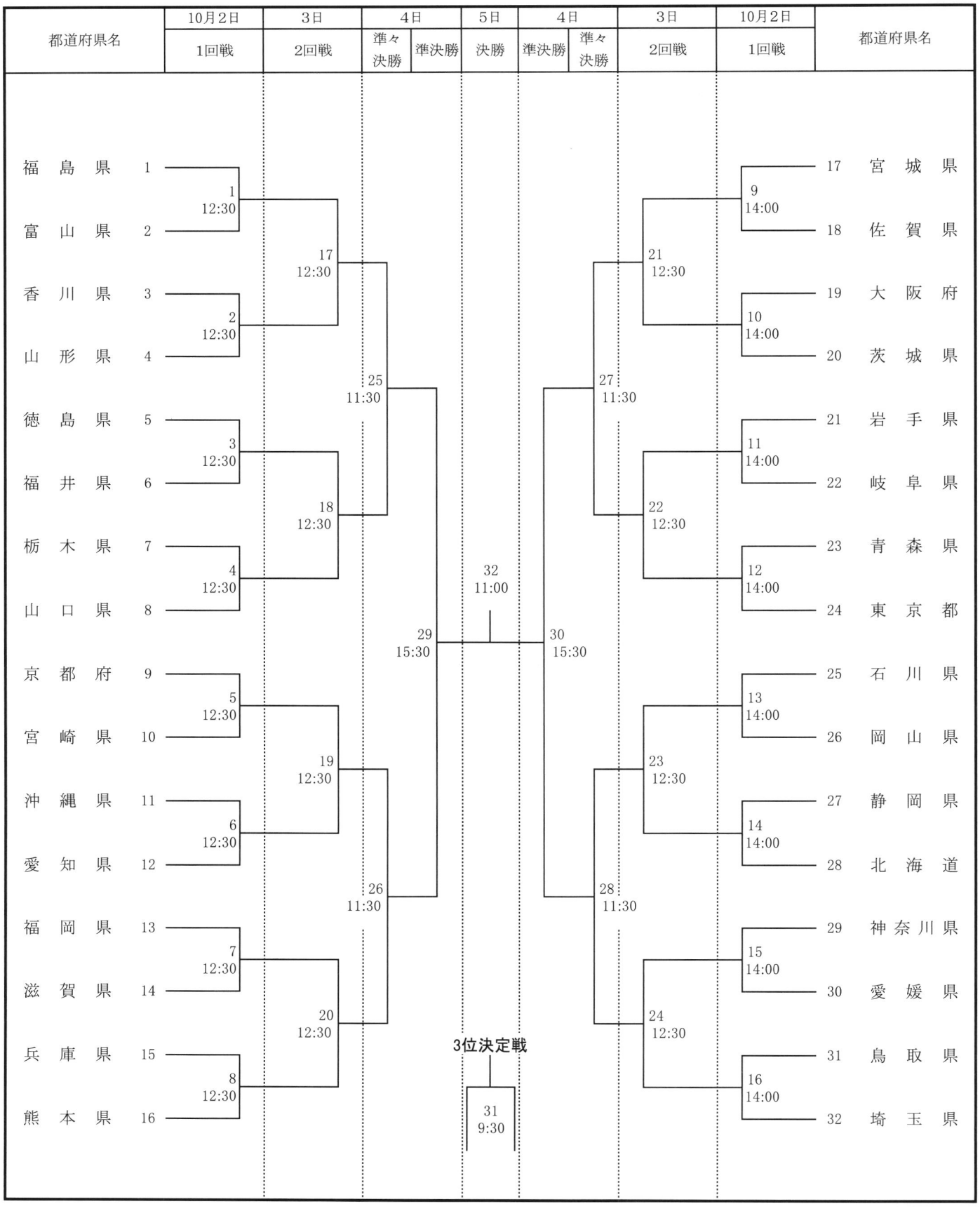
少年女子　組合せ表

【　少年女子（G）】



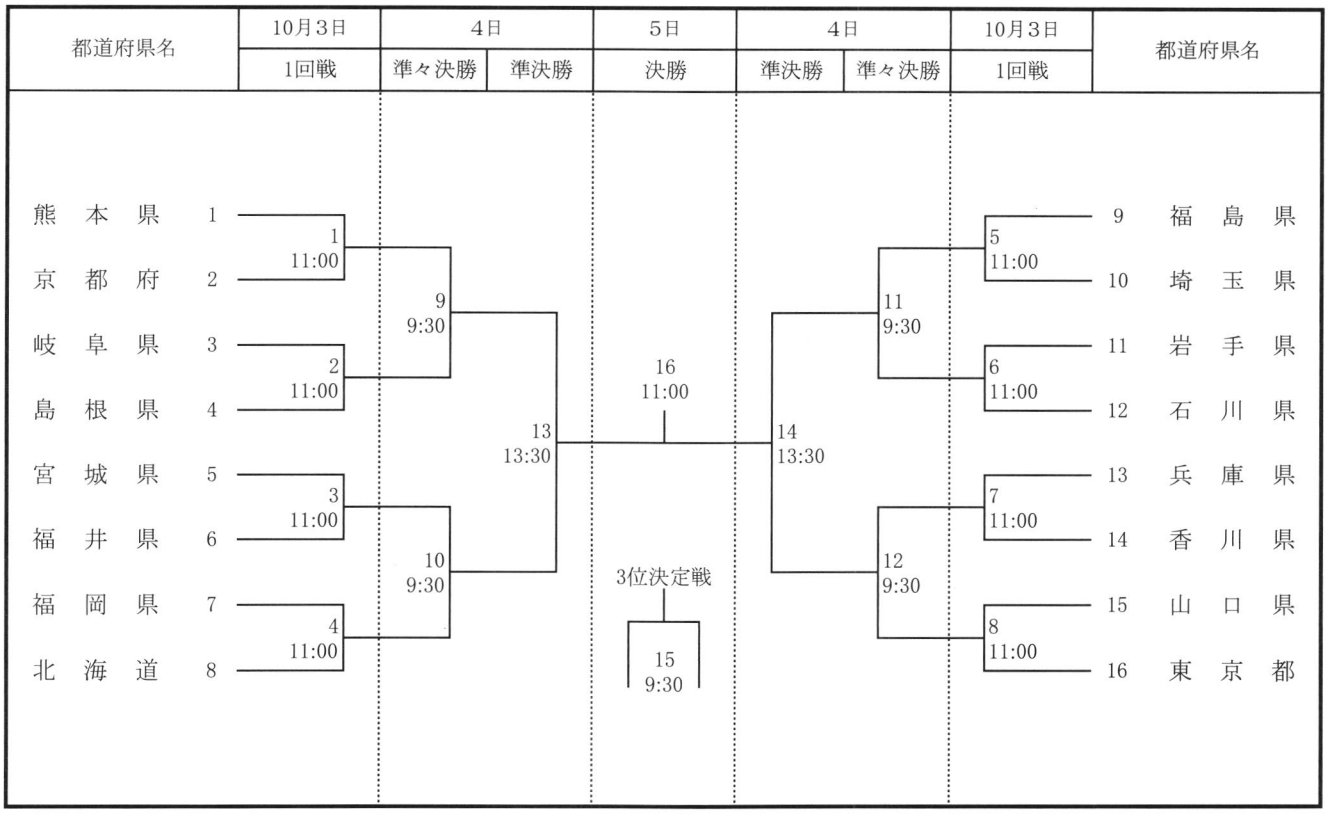
成年男子　組合せ表

【　成年男子（M）】

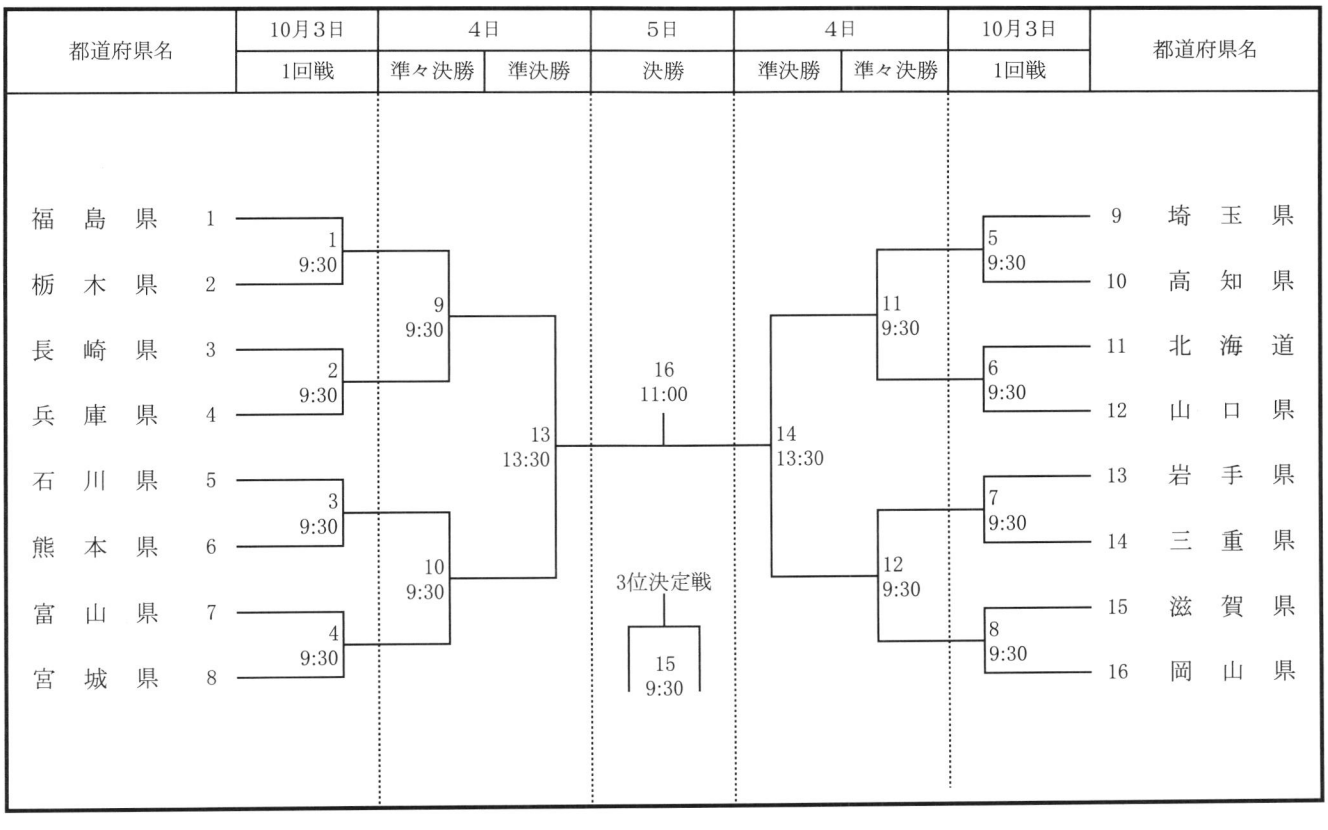


成年女子・少年男子　組合せ表

【　成年女子（W）】



【　少年男子（B）】



バドミントンを楽しく見るために

-Q&A-をご紹介します。

Q．バドミントンとは、どんなスポーツですか？

A．　ネットを挟んでラケットでシャトルコック（羽根）を打ち合うスポーツです。決められた相手コート内にシャトルを落とすか、相手がフォルト（反則）を取られた場合、点数が入ります。

試合には、1対1のシングルス（単）と2対2のダブルス（複）があり、ダブルスには、男性同士、女性同士でペアを組むものと、男女でペアを組むもの（ミックスダブルス）があります。

競技としてのバドミントンは、緩急を使い分ける様々なショットやフットワーク、対戦相手との駆け引き、ダブルスの場合、ペアとのコンビネーションなど多岐にわたる技術を必要とし、パワーや瞬発力とともに持久力の優劣も勝負を左右する、複雑で非常に激しいものです。

Q．シャトルコック（羽根）とはどんなものですか？

A．　コルクの台にガチョウまたはアヒルの羽根を16枚取り付けています。重さは5ｇ程しかありません。

Q．ラケットの重さや長さはどれくらいですか？

A．　規定ではフレームの全長が68㎝以内、幅23㎝以内と決められています。重さは80～86ｇが主流です。（カーボン、チタン等）

プレーヤーはそれぞれ自分に合わせてラケットを選んだり、ストリング（ガット）の張りの強さを変えたりして使っています。

Q．打たれた時のシャトルコックのスピードはどれ位ですか？

A．　全ての球技の中で打球の初速が最も速いことで、ギネスブックに認定されています。下向きに強く打つスマッシュのとき、世界の一流選手の初速は400㎞を超えます。その速度は瞬間的には新幹線より速いのです。

Q．新幹線より速いスピードのものをどうして打ち返すことができるのですか？

A．　ラケットから離れる時の速度は速いのですが、シャトルは羽根がついているので空気抵抗を受けやすいため、打球がネットを越えてある距離になると減速します。初速と終速の差が一番大きいスポーツです。また、慣れてくると飛んでくるシャトルのコースを予測できるようになります。

Q．どうすれば得点（ポイント）になりますか？

A．　試合は3ゲーム行い（1ゲーム21点）、2ゲーム先取したほうが勝ちとなります。

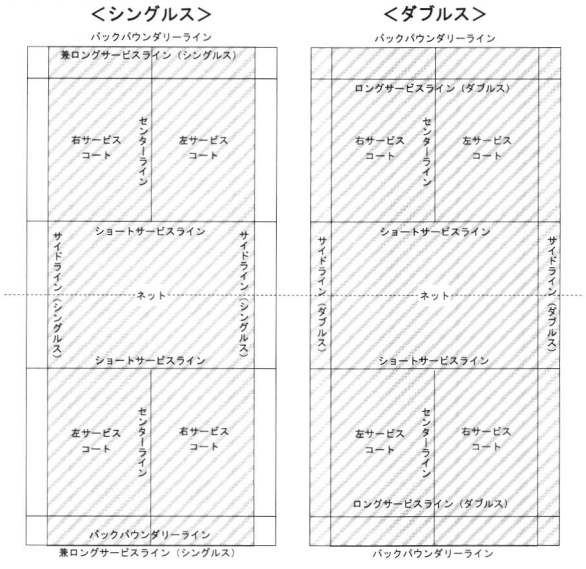
また、両者が20点になった場合は、その後最初に2点差をつけた方、もしくは先に30点に達した方が勝者となります。

Q．ラリーポイント制とは何ですか？

A．　サービス権の有無にかかわらず、ラリーに勝ったときに得点になるのがラリーポイント制です。2006年に開催された兵庫国体までは、サービス権を持っているサイドがラリーに勝ったときだけ得点になりましたが、翌年の秋田国体からはラリーポイント制に変わりました。

Q．シングルスとダブルスでコートの使い方は違うのですか？

A．　下の図のとおりロングサービスラインやサイドラインの位置が異なります。斜線で塗りつぶしている部分が使用する範囲になります。



国体バドミントン競技について

Q．種別はどのようなものがありますか？

A．　成年男子・成年女子・少年男子・少年女子の４種別があります。

Q．参加都道府県はどうやって決めるのですか？

A．　ブロック大会を通過したチームが本大会に出場します。

第71回国民体育大会では少年女子は４７都道府県が、成年男子、成年女子、少年男子は全国を９ブロックに分けて、各ブロック大会を勝ち抜いた都道府県が参加します。成年女子と少年男子は開催県（岩手県）を含む１６チーム、成年男子は開催県（岩手県）を含む３２チームの参加となります。

Q．試合はどのようにして行いますか？

A．　８コートを使って、すべて都道府県対抗の団体戦トーナメント方式で行います。

試合は、①ダブルス②シングルス③シングルスの順で行い、先に２勝したチームが勝ちとなります。なお、勝敗決定後のゲームは行いません。

Q．天皇杯得点・皇后杯得点は、どのようにして決まるのですか？

A．　得点には、競技得点と参加得点があります。競技得点は、各種別ともに１位24点、２位21点、３位18点、４位15点、５位（４チーム）7.5点です。参加得点は、大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与えるものです。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えられません。天皇杯の対象種別は成年男子・成年女子・少年男子・少年女子で、皇后杯の対象種別は成年女子・少年女子になります。

都道府県別参加人数一覧表

ブロック	都道府県	監督	成年男子	成年女子	少年男子	少年女子	計
北海道	北海道	4	3	3	3	3	16
東北	青森県	2	3			3	8
	岩手県	4	3	3	3	3	16
	宮城県	4	3	3	3	3	16
	秋田県	1				3	4
	山形県	2	3			3	8
	福島県	4	3	3	3	3	16
関東	茨城県	2	3			3	8
	栃木県	3	3		3	3	12
	群馬県	1				3	4
	埼玉県	4	3	3	3	3	16
	千葉県	1				3	4
	東京都	3	3	3		3	12
	神奈川県	2	3			3	8
	山梨県	1				3	4
北信越	新潟県	1				3	4
	長野県	1				3	4
	富山県	3	3		3	3	12
	石川県	4	3	3	3	3	16
	福井県	3	3	3		3	12
東海	静岡県	2	3			3	8
	愛知県	2	3			3	8
	三重県	2			3	3	8
	岐阜県	3	3	3		3	12
近畿	滋賀県	3	3		3	3	12
	京都府	3	3	3		3	12
	大阪府	2	3			3	8
	兵庫県	4	3	3	3	3	16
	奈良県	1				3	4
	和歌山県	1				3	4
中国	鳥取県	2	3			3	8
	島根県	2		3		3	8
	岡山県	3	3		3	3	12
	広島県	1				3	4
	山口県	4	3	3	3	3	16
四国	香川県	3	3	3		3	12
	徳島県	2	3			3	8
	愛媛県	2	3			3	8
	高知県	2			3	3	8
九州	福岡県	3	3	3		3	12
	佐賀県	2	3			3	8
	長崎県	2			3	3	8
	熊本県	4	3	3	3	3	16
	大分県	1				3	4
	宮崎県	2	3			3	8
	鹿児島県	1				3	4
	沖縄県	2	3			3	8
総計		111	96	48	48	141	444

都道府県別出場監督・選手一覧表

【　少年女子　】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	妹尾　将義	とわの森三愛高等学校(教)
	選手	西尾　樹莉	とわの森三愛高等学校
		山口　貴子	とわの森三愛高等学校
		伊藤　佳織	とわの森三愛高等学校
青森県	監督	藤田　真人	青森山田高等学校(教)
	選手	曽根　夏姫	青森山田高等学校
		二村　ひとみ	青森山田高等学校
		藤原　あすか	青森山田高等学校
岩手県	監督	渡邉　清一	前沢高等学校(教)
	選手	金野　夕香	花北青雲高等学校
		藤井　愛	花北青雲高等学校
		松好　奏海	前沢高等学校
宮城県	監督	深瀬　潤二	聖ウルスラ学院英智高等学校(教)
	選手	徳能　あすか	聖ウルスラ学院英智高等学校
		保原　彩夏	聖ウルスラ学院英智高等学校
		鈴木　ゆうき	聖ウルスラ学院英智高等学校
秋田県	監督	藤田　理	秋田高等学校(教)
	選手	加藤　礼彩	秋田高等学校
		佐々木　ひなの	新屋高等学校
		安藤　美邑	秋田高等学校
山形県	監督	丸山　勝美	鶴岡市役所
	選手	村山　可純	山形城北高等学校
		岡田　梓沙	山形城北高等学校
		牧　優花	山形県立鶴岡北高等学校
福島県	監督	大堀　均	福島県立富岡高等学校(教)
	選手	仁平　菜月	福島県立富岡高等学校
		吾妻　咲弥	福島県立富岡高等学校
		髙橋　明日香	福島県立ふたば未来学園高等学校
茨城県	監督	磯部　和弘	常総学院高等学校(教)
	選手	森　咲和佳	常総学院高等学校
		島倉　唯	常総学院高等学校
		濵野　夏葵	常総学院高等学校

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
栃木県	監督	遠藤　敦史	作新学院高等学校(教)
	選手	海老原　詩織	作新学院高等学校
		醍醐　和佳	作新学院高等学校
		佐川　智香	作新学院高等学校
群馬県	監督	坂本　恵美	伊勢崎清明高等学校(教)
	選手	野呂　恵夢	伊勢崎清明高等学校
		川村　芽生奈	伊勢崎清明高等学校
		東林　彩未	伊勢崎清明高等学校
埼玉県	監督	堂下　智寛	埼玉栄高等学校(教)
	選手	川島　美南	埼玉栄高等学校
		上杉　夏美	埼玉栄高等学校
		林　樂	埼玉栄高等学校
千葉県	監督	髙瀬　秀雄	西武台千葉高等学校(教)
	選手	岡部　天	西武台千葉高等学校
		小沼　みなみ	西武台千葉高等学校
		有川　友理奈	西武台千葉高等学校
東京都	監督	関根　忠	淑徳巣鴨高等学校(教)
	選手	遠山　紗季	淑徳巣鴨高等学校
		有賀　玲奈	淑徳巣鴨高等学校
		大上　月佳	関東第一高等学校
神奈川県	監督	宮田　晶代	鵠沼高等学校(教)
	選手	今野　聡子	鵠沼高等学校
		金田　恵	鵠沼高等学校
		溝口　なつめ	法政大学第二中・高等学校
山梨県	監督	菅澤　伸哉	甲斐清和高等学校(教)
	選手	内田　有香	甲斐清和高等学校
		瀬下　瑠花	甲斐清和高等学校
		中込　捺希	甲斐清和高等学校
新潟県	監督	吉田　亜土夢	新潟青陵高等学校(教)
	選手	栃本　ゆき乃	新潟青陵高等学校
		舘　美佐紀	新潟青陵高等学校
		松田　華蓮	新潟青陵高等学校

【 少年女子 】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
長野県	監督	藤澤　直方	長野市立長野高等学校(教)
	選手	高橋　侑希	文化学園長野高等学校
		佐藤　麗	文化学園長野高等学校
		松井　あかり	蘇南高等学校
富山県	監督	麦谷　正二	富山商業高等学校(教)
	選手	竹田　春香	富山商業高等学校
		向井　仁那	富山商業高等学校
		島田　知沙	富山国際大学付属高等学校
石川県	監督	車　浩明	石川県立金沢向陽高等学校(教)
	選手	大家　夏稀	石川県立金沢向陽高等学校
		楮　萌	石川県立金沢向陽高等学校
		南部　一伽	石川県立金沢向陽高等学校
福井県	監督	小林　陽年	福井県立勝山高等学校(教)
	選手	澤田　望空	福井県立勝山高等学校
		中野　沙羅	福井県立勝山高等学校
		木村　茉莉奈	福井工業大学付属福井高等学校
静岡県	監督	村松　瑞穂	星陵中学・高等学校(教)
	選手	野田　彩夏	星陵高等学校
		髙柳　美月	常葉学園菊川高等学校
		住吉　琴菜	星陵高等学校
愛知県	監督	中根　寿彦	バドミントンハウスはりーあっぷ
	選手	吉田　菜那	岡崎城西高等学校
		酒井　すみれ	名古屋経済大学市邨高等学校
		清田　芽生	名古屋経済大学市邨高等学校
三重県	監督	槙野　貴行	皇學館高等学校(職)
	選手	関矢　夕芽	暁高等学校
		成田　亜美	暁高等学校
		谷水　亜里紗	皇学館高等学校
岐阜県	監督	大橋　浩	岐阜県立岐阜商業高等学校(教)
	選手	水野　成美	岐阜県立岐阜商業高等学校
		柴田　志歩	岐阜県立岐阜商業高等学校
		本谷　かすみ	高山西高等学校

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
滋賀県	監督	村井　健郎	ラケットショップイチムラ
	選手	近藤　弘美	滋賀短期大学附属高等学校
		中田　真由	滋賀短期大学附属高等学校
		五島　あかり	滋賀短期大学附属高等学校
京都府	監督	竹中　育枝	龍谷大学付属平安高等学校(教)
	選手	岩﨑　楓由	京都外大西高等学校
		中島　朱音	京都外大西高等学校
		明地　七海	京都外大西高等学校
大阪府	監督	藤原　瑛佳	アナン学園高等学校(職)
	選手	小林　栞菜	アナン学園高等学校
		川村　彩菜	アナン学園高等学校
		村上　知紘	四天王寺高等学校
兵庫県	監督	寺町　彰浩	園田学園高等学校(教)
	選手	石上　加奈子	園田学園高等学校
		横山　恵里香	園田学園高等学校
		京野　沙耶	園田学園高等学校
奈良県	監督	森田　正秀	奈良県立添上高等学校(教)
	選手	岸田　七海	奈良県立添上高等学校
		遠藤　桜	奈良県立添上高等学校
		森本　咲綺	奈良県立添上高等学校
和歌山県	監督	坂田　智也	和歌山県立耐久高等学校(教)
	選手	山下　玄	和歌山県立耐久高等学校
		松下　羽衣	和歌山県立耐久高等学校
		佐原　穂香	近畿大学附属和歌山高等学校
鳥取県	監督	杉川　友和	米子北高校(教)
	選手	葉山　美衣子	米子北高校
		前田　祐奈	米子北高校
		小島　優希	鳥取敬愛高校
島根県	監督	仁島　拓哉	(株)フォックス・リレーション
	選手	長廻　美紅	松徳学院高等学校
		小泉　愛奈	島根県立松江商業高等学校
		今川　友歌	島根県立松江商業高等学校

【　少年女子　】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
岡山県	監督	尾﨑　勝久	倉敷中央高等学校(教)
	選手	香山　未帆	倉敷中央高等学校
		青山　栞子	倉敷中央高等学校
		花田　菜月	倉敷中央高等学校
広島県	監督	赤川　雅美	安田女子高等学校(教)
	選手	下田　芽衣	安田女子高等学校
		田盛　綾菜	安田女子高等学校
		宗近　奈々美	安田女子高等学校
山口県	監督	竹光　唯至	山口県立柳井商工高等学校(教)
	選手	水津　優衣	山口県立柳井商工高等学校
		岩永　鈴	山口県立柳井商工高等学校
		柳井　咲耶	山口県立柳井商工高等学校
香川県	監督	河合　雄太	県立高松東高等学校(教)
	選手	吉川　真白	英明高等学校
		韮澤　美羽	英明高等学校
		新井田　楓	英明高等学校
徳島県	監督	小寺　由香	城東高等学校(教)
	選手	岡田　彩衣	城東高等学校
		佐藤　実花	徳島北高等学校
		高橋　奈那	城東高等学校
愛媛県	監督	出井　康隆	新田高等学校(教)
	選手	蓮沼　紗季	新田高等学校
		有安　沙生	新田高等学校
		横山　澪	新田高等学校
高知県	監督	梶原　卓	高知中央高等学校(職)
	選手	久保　未奈	高知中央高等学校
		小松　ゆい	土佐女子高等学校
		黒岩　秋羽	土佐女子高等学校
福岡県	監督	明神　憲一	九州国際大学付属高等学校(教)
	選手	松山　奈未	九州国際大学付属高等学校
		縄田　佳子	九州国際大学付属高等学校
		野田　帆奈美	福岡常葉高等学校

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
佐賀県	監督	多田　美紀	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校(教)
	選手	志波　寿奈	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
		古賀　菜々子	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
		黒岩　はるな	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校
長崎県	監督	西山　勝也	長崎県立諫早商業高等学校(教)
	選手	成富　遥香	長崎県立諫早商業高等学校
		大林　智代	長崎県立諫早商業高等学校
		佐々　仁衣奈	長崎県立諫早商業高等学校
熊本県	監督	永松　勇一郎	玉名女子高等学校(教)
	選手	甲斐　郁美	玉名女子高等学校
		中橋　香澄	玉名女子高等学校
		黒木　楓	八代白百合学園高等学校
大分県	監督	升巴　勇希	大分県立大分西高等学校(教)
	選手	福田　海璃	大分県立大分西高等学校
		清家　菜央	大分県立別府鶴見丘高等学校
		室屋　みゆき	大分県立別府鶴見丘高等学校
宮崎県	監督	時任　淳	聖心ウルスラ学園高等学校(教)
	選手	肥田木　あかり	聖心ウルスラ学園高等学校
		外山　莉子	聖心ウルスラ学園高等学校
		本部　美優	聖心ウルスラ学園高等学校
鹿児島県	監督	古川　博文	鹿児島女子高等学校(教)
	選手	幸田　花琳	鹿児島女子高等学校
		安樂　南美	鹿児島女子高等学校
		山﨑　凪	鹿児島女子高等学校
沖縄県	監督	宮良　耕太郎	沖縄電力株式会社
	選手	與儀　美羽	南風原高等学校
		前田　志織	南風原高等学校
		黒島　結花	沖縄県立糸満高等学校

【 成年男子 】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	小倉　隆司	JR北海道
	選手	東野　圭悟	JR北海道
		牧野　公亮	JR北海道
		渡部　大	JR北海道
青森県	監督	佐藤　伴哉	東奥保育福祉専門学院(教)
	選手	海谷　慎吾	中央大学
		福士　賢一	日本体育大学
		成田　達彦	日本体育大学
岩手県	監督	石川　聡	JR東日本盛岡支社
	選手	石川　貴寛	仙建工業(株)盛岡支店
		菊地　裕太	富士大学
		佐々木　翔太	花巻清風支援学校(職)
宮城県	監督	諸多　大輔	東北マークス
	選手	堀川　善生	東北マークス
		鈴木　大裕	東北マークス
		佐伯　健人	東北マークス
山形県	監督	青柳　壮彦	(有)ラケットショップ山形
	選手	田中　貴志	(株)でん六
		澁谷　勇希	明治大学
		齋藤　大慎	日本体育大学
福島県	監督	二瓶　良	帝京安積高等学校(教)
	選手	西　豊	日本大学
		光島　理貴	日本大学
		川音　勇稀	帝京大学
茨城県	監督	大橋　雅道	阿見町役場
	選手	髙野　将斗	明治大学
		島倉　賢太郎	日本大学
		木村　亮介	日本大学
栃木県	監督	笠井　孝之	日産自動車(株)栃木工場
	選手	笠井　孝太	日産自動車(株)栃木工場
		福田　春樹	トリッキーパンダース
		宇賀神　崇行	自治医科大学

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
埼玉県	監督	中西　洋介	日本ユニシス(株)
	選手	宮嶋　航太郎	明治大学
		大関　修平	中央大学
		川端　祥	中央大学
東京都	監督	清水　文武	日本ユニシス株式会社
	選手	垰畑　亮太	日本ユニシス株式会社
		小野寺　裕介	日本ユニシス株式会社
		井上　知也	旭工芸株式会社
神奈川県	監督	鰐川　朗	日立情報通信エンジニアリング
	選手	大嶋　一彰	日立情報通信エンジニアリング
		甲谷　光	日立情報通信エンジニアリング
		山﨑　裕太	日立情報通信エンジニアリング
富山県	監督	荒木　純	トナミ運輸株式会社
	選手	山口　容正	トナミ運輸株式会社
		常山　幹太	トナミ運輸株式会社
		下農　走	トナミ運輸株式会社
石川県	監督	長谷川　進	(有)ハセガワスポーツ
	選手	伊東　克範	(有)ハセガワスポーツ
		星野　健太朗	金沢市立工業高校(教)
		荒井　大輝	金沢学院大学
福井県	監督	芦井　隆俊	福井県立武生工業高等学校(教)
	選手	橋本　博且	(公財)福井県体育協会
		松川　直弘	日立情報通信エンジニアリング株式会社
		石塚　比呂	セーレン株式会社
静岡県	監督	山下　豪	ジヤトコ株式会社
	選手	山﨑　大嗣	ジヤトコ株式会社
		栗　佑貴	ジヤトコ株式会社
		細田　慎二	ジヤトコ株式会社
愛知県	監督	川島　一剛	株式会社ジェイテクト
	選手	近藤　拓未	大同特殊鋼株式会社
		松本　岳	株式会社ジェイテクト
		間瀬　亮介	東海興業株式会社

【　成年男子　】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
岐阜県	監督	深田　茂雄	株式会社丸杉
	選手	間瀬　俊介	株式会社丸杉
		小髙　拓也	株式会社丸杉
		浦井　唯行	株式会社丸杉
滋賀県	監督	酒井　良之	株式会社近江兄弟社
	選手	河崎　駿輔	法政大学
		西川　裕次郎	法政大学
		清水　智彦	龍谷大学
京都府	監督	平野　耕司	ビーウエイ株式会社
	選手	常山　明良	三菱自動車京都
		疋田　聖也	三菱自動車京都
		吉川　改	三菱自動車京都
大阪府	監督	谷田　尚嗣	大阪偕星学園高等学校（教）
	選手	高階　知也	トリッキーパンダース
		井谷　和弥	トリッキーパンダース
		松本　康平	早稲田大学
兵庫県	監督	横田　英士	大和製衡株式会社
	選手	鈴木　雄一朗	大和製衡株式会社
		松浦　晋太郎	大和製衡株式会社
		黄　稹釧	大和製衡株式会社
鳥取県	監督	松本　源喜	ﾗｹｯﾄｼｮｯﾌﾟフタバ
	選手	小林　寛哉	鳥取産業体育館
		湯谷　亮介	久大建材（株）
		森田　慎司	日本体育大学
岡山県	監督	藤原　道弘	JFEスチール（株）西日本製鉄所
	選手	福田　卓郎	法政大学
		佐伯　浩一	東日本電信電話(株)
		中永　大輝	日本体育大学
山口県	監督	山平　直輝	宇部興産株式会社
	選手	米元　優樹	宇部興産株式会社
		佐野　拓磨	宇部興産株式会社
		桐田　和樹	法政大学

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
香川県	監督	中村　亨	(株)タダノ
	選手	池内　浩太郎	(株)タダノ
		木場　勇介	(株)タダノ
		猪熊　心太朗	日本大学
徳島県	監督	眞鍋　和也	徳島県漁業協同組合連合会
	選手	小笠　宙生	三好高等学校（教）
		金森　優太	鳴門教育大学大学院
		齋藤　裕進	株式会社トヨタ自動車
愛媛県	監督	髙橋　徹	松山市役所
	選手	渡部　克栄	愛媛トヨタ自動車株式会社
		吾野　文人	関西学院大学
		西野　勝志	筑波大学
福岡県	監督	岩下　裕一	西日本シティ銀行
	選手	原田　和憲	トヨタ自動車九州株式会社
		坂中　賢太	トヨタ自動車九州株式会社
		小森　洋佑	トヨタ自動車九州株式会社
佐賀県	監督	田中　昌樹	多久市立東部小学校(教)
	選手	今給黎　将之	佐賀女子短期大学付属佐賀女子高等学校(教)
		富岡　寿将	早稲田大学
		野田　悠斗	法政大学
熊本県	監督	井上　哲章	熊本県立第一高等学校（教）
	選手	池田　雄一	株式会社再春館製薬所
		権藤　公平	トナミ運輸株式会社
		小本　翔太	日本体育大学
宮崎県	監督	井手　大	IBS
	選手	渡邊　達哉	トナミ運輸株式会社
		春成　星哉	筑波大学
		緒方　友哉	日本大学
沖縄県	監督	大見謝　恒章	エムズバドミントンスクール
	選手	森屋　隆成	グリーンスマッシュ
		崎原　太陽	筑波大学
		神谷　真吾	日本体育大学

【 成年女子 】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	村井　秀樹	NTT東日本－北海道
	選手	永野　陽子	JR北海道
		塚本　あゆみ	北翔大学
		石澤　未夢	北翔大学
岩手県	監督	外川　正昭	(株)せいなん
	選手	齊藤　佳奈	北翔大学
		古川　佳奈	作新学院大学
		畠山　静花	東海大学
宮城県	監督	草井　篤	七十七銀行
	選手	河崎　綾佳	七十七銀行
		荒木　茜羽	七十七銀行
		荒木　萌恵	七十七銀行
福島県	監督	大堀　麻紀	福島県バドミントン協会
	選手	早田　紗希	ヨネックス(株)
		渡辺　帆南	明治大学
		渡辺　友夏	東京女子体育大学
埼玉県	監督	山田　秀樹	ユニアデックス㈱
	選手	道野　京耶	専修大学
		川島　里羅	NTT東日本(株)
		尾崎　沙織	NTT東日本(株)
東京都	監督	内藤　祐輔	ヨネックス株式会社
	選手	土井　杏奈	ヨネックス株式会社
		鈴木　温子	ヨネックス株式会社
		髙畑　祐紀子	ヨネックス株式会社
石川県	監督	毛利　達彦	金沢市役所
	選手	小野　菜保	(株)再春館製薬所
		星　千智	日本ユニシス株式会社
		樽野　恵	グローバルバドミントンアカデミー
福井県	監督	三嵜　賢	勝山市役所
	選手	竹内　沙希	北國銀行株式会社
		鈴木　沙知	同志社大学
		西江　彩花	龍谷大学

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
岐阜県	監督	梅津　知恵	有限会社トリッキーパンダース
	選手	山本　紗椰	有限会社トリッキーパンダース
		江藤　理恵	有限会社トリッキーパンダース
		松田　蒼	有限会社トリッキーパンダース
京都府	監督	村尾　勉	同志社女子大学(職)
	選手	朝岡　依純	龍谷大学
		嶺井　優希	龍谷大学
		野田　千遥	龍谷大学
兵庫県	監督	酒井　将之	三菱電機株式会社
	選手	大迫　晴加	三菱電機株式会社
		木戸　美咲	三菱電機株式会社
		杉野　文保	龍谷大学
島根県	監督	田部　実智代	株式会社山陰合同銀行
	選手	横山　めぐみ	株式会社山陰合同銀行
		久後　あすみ	株式会社山陰合同銀行
		漆崎　真子	株式会社山陰合同銀行
山口県	監督	棟居　秀行	株式会社ムネスエスポーツ
	選手	今井　優歩	株式会社西京銀行
		米元　陽花	株式会社西京銀行
		齋藤　栞	株式会社西京銀行
香川県	監督	岡野　佳浩	県立丸亀城西高等学校(教)
	選手	柴村　真希	(株)百十四銀行
		藤本　陽奈	(株)百十四銀行
		十河　茉由	明治大学
福岡県	監督	堂本　克樹	西港自動車学校
	選手	中村　麻裕	九州国際大学
		中野　愛美	九州国際大学
		櫻本　絢子	YONEX
熊本県	監督	今井　彰宏	株式会社再春館製薬所
	選手	伊東　可奈	株式会社再春館製薬所
		福島　由紀	株式会社再春館製薬所
		廣田　彩花	株式会社再春館製薬所

【　少年男子　】

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
北海道	監督	吉田　仁	モア・スポーツ北海道
	選手	遠藤　大輝	旭川実業高等学校
		大滝　聖矢	札幌龍谷高等学校
		宇高　友輔	札幌龍谷高等学校
岩手県	監督	菊地　亨	花北青雲高等学校(教)
	選手	軽石　直人	前沢高等学校
		田村　汰稀	前沢高等学校
		菊地　拓也	前沢高等学校
宮城県	監督	畑山　辰徳	聖ウルスラ学院英智高等学校(職)
	選手	韮澤　智樹	聖ウルスラ学院英智高等学校
		嶺岸　洸	聖ウルスラ学院英智高等学校
		日野　滋人	聖ウルスラ学院英智高等学校
福島県	監督	本多　裕樹	福島県立富岡高等学校(教)
	選手	山澤　直貴	福島県立富岡高等学校
		金子　真大	福島県立ふたば未来学園高等学校
		久保田　友之祐	福島県立ふたば未来学園高等学校
栃木県	監督	遠井　努	宇都宮南高等学校(教)
	選手	寺田　真也	作新学院高等学校
		村井　翔	作新学院高等学校
		小沼　達哉	宇都宮南高等学校
埼玉県	監督	大屋　貴司	埼玉栄高等学校(教)
	選手	渡邉　航貴	埼玉栄高等学校
		小野寺　雅之	埼玉栄高等学校
		岡村　洋輝	埼玉栄高等学校
富山県	監督	中田　真琴	高岡第一高等学校(教)
	選手	真川　嵩平	高岡第一高等学校
		藤田　啓汰	高岡第一高等学校
		高橋　玄	高岡第一高等学校
石川県	監督	水内　浩	金沢市立工業高等学校(教)
	選手	土平　孟	金沢学院高等学校
		堂本　侑也	金沢学院高等学校
		谷口　諒真	金沢市立工業高等学校

都道府県	監督・選手名		勤務先・学校名
三重県	監督	新門　耕一	暁高等学校(教)
	選手	笹渕　康孝	皇學館高等学校
		大谷　啓斗	皇學館高等学校
		大西　魁	皇學館高等学校
滋賀県	監督	仲尾　修一	比叡山高等学校(教)
	選手	藤原　圭祐	比叡山高等学校
		三宅　将平	比叡山高等学校
		大屋　亮悟	比叡山高等学校
兵庫県	監督	友金　幸雄	神戸村野工業高等学校(教)
	選手	戸内　佑亮	神戸村野工業高等学校
		河野　匠真	神戸村野工業高等学校
		友金　利玖斗	神戸村野工業高等学校
岡山県	監督	松川　大記	水島工業高等学校(教)
	選手	山下　恭平	水島工業高等学校
		井上　健太	水島工業高等学校
		坂本　泰晟	水島工業高等学校
山口県	監督	大東　真也	山口県立長府高等学校(教)
	選手	森永　雅弘	山口県立柳井商工高等学校
		木村　聡志	山口県立柳井商工高等学校
		澄川　考志	山口県立柳井商工高等学校
高知県	監督	岩本　正和	高知市消防局
	選手	岩本　雄太	土佐高等学校
		本田　竜也	土佐高等学校
		川窪　豪人	高知南高等学校
長崎県	監督	林　貴昭	瓊浦高等学校(教)
	選手	原口　翔多	瓊浦高等学校
		村本　竜馬	瓊浦高等学校
		辻　凌也	瓊浦高等学校
熊本県	監督	権藤　浩二	熊本県立八代東高等学校(教)
	選手	平川　透	熊本県立八代東高等学校
		山元　拓摩	熊本県立八代東高等学校
		小本　大佑	熊本県立八代東高等学校

競技成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に第１位から第８位までを決定する。

ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

1　競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競　技　得　点
成年男子 成年女子 少年男子 少年女子	成年女子 少年女子	各種別とも１位 24 点、２位 21 点、３位 18 点、４位 15 点、５位（４チーム）各 7.5 点の競技得点を与える。

2　参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に 10 点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

総合成績（天皇杯・皇后杯）一覧表

都道府県名		成年男子		成年女子		少年男子		少年女子		男女総合成績（天皇杯）				女子総合成績（皇后杯）			
		順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	順位	競技得点	競技得点	参加得点	合計	総合順位	競技得点	参加得点	合計	総合順位
1	北海道																
2	青森																
3	岩手																
4	宮城																
5	秋田																
6	山形																
7	福島																
8	茨城																
9	栃木																
10	群馬																
11	埼玉																
12	千葉																
13	東京																
14	神奈川																
15	山梨																
16	新潟																
17	長野																
18	富山																
19	石川																
20	福井																
21	静岡																
22	愛知																
23	三重																
24	岐阜																
25	滋賀																
26	京都																
27	大阪																
28	兵庫																
29	奈良																
30	和歌山																
31	鳥取																
32	島根																
33	岡山																
34	広島																
35	山口																
36	香川																
37	徳島																
38	愛媛																
39	高知																
40	福岡																
41	佐賀																
42	長崎																
43	熊本																
44	大分																
45	宮崎																
46	鹿児島																
47	沖縄																

過去の成績一覧表

第４回　昭和２４年　東京都ＹＭＣＡ（個人戦オープン）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子　単	東京	広田敏秀	北海道	佐藤保	東京	藤井光男
一般男子　複	東京	広田敏秀 藤井光男	神奈川	岡淳一 相馬万吉	北海道	佐藤保 村上三郎
一般女子　単	神奈川	吉田とよ子	愛知	吉沢千里	神奈川	遠藤文子
一般女子　複	神奈川	吉田とよ子 遠藤文子	神奈川	小林歌子 中村多喜	愛知	吉沢千里 後藤範子

第５回　昭和２５年　愛知県　白鷗小学校・東桜小学校（総合優勝　神奈川県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	広田敏秀 藤井光男 小宮淳宏 山田康久	神奈川	岡淳一 相馬万吉 大谷直次 松本武道	北海道	佐藤保 村上三郎 葛西英俊 若林守
一般女子	神奈川	吉田とよ子 遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子	愛知	水谷鈴子 堀江綾子 保田久子 伊与田照子	北海道	伊藤絹代 安藤栄 佐賀信子 片岡京子
高校男子	北海道	石田裕 神山周二 大塚健一 島中貞夫	愛知	石川光男 渡辺成雄 大竹健司 野口勇	神奈川	岡道明 村松弘喬 江井実 藤井昂一

第６回　昭和２６年　広島県　広大東雲分校・同大附属小学校（総合優勝　愛知県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	広田敏秀 岡道明 山田康久	岐阜	玉越忠治 大竹健司 下野和彦	愛知	藤井光男 渡辺成雄 蟹和男
一般女子	愛知	堀江綾子 保田久子 伊与田照子	石川	登悦子 貝原まさえ 高田八重子	北海道	伊藤絹代 片岡京子 栗原澄子
高校男子	愛知	服部興治 野口勇 立松健市	石川	東正直 西貞夫 諸江秀一	岐阜	後藤裕八郎 林金太郎 田中正則

第７回　昭和２７年　宮城県　東北大学体育館（総合優勝　神奈川県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 岡道明 藤井昂一 吉原秀雄	北海道	石田裕 神山周二 葛西英俊 野坂豊三郎	東京	江井実 小宮章敬 山崎茂 佐藤芳朗
一般女子	石川	貝原まさえ 登悦子 高田八重子 岩倉衣絵	東京	田中知江子 中谷成子 佐之瀬教子 小野寺京子	愛知	堀江綾子 保田久子 伊与田照子 水野美根子
高校男子	東京	望月文雄 倉田一彦 力石潔 鈴木隆治	神奈川	新倉利男 関根秀司 内藤広明 伏島光則	石川	諸江秀一 井上晴夫 山本圭三 上田稔
高校女子	兵庫	広瀬延子 西尾貞子 小笠原美津子 関一子	山形	佐藤照子 五十嵐弘子 斎藤久美子 佐藤明	神奈川	大川良子 竜野美代子 藤田光子 中島緑

第８回　昭和２８年　香川県　善通寺体育館（総合優勝　神奈川県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 佐治豊 川崎順久 杉田博	東京	藤井光男 諸江秀一 相川十一郎 萩原誠	岐阜	大竹健司 松岡龍三 丹波哲昭 林金太郎
一般女子	神奈川	遠藤文子 小林歌子 荒川とみ子 小野智子	北海道	岡元弘子 梅津貴久江 阿部悦子 荒井重子	石川	貝原まさえ 登悦子 島谷須磨子 町駒ヤス子
高校男子	北海道	片石兼敏 加藤正則 長谷川龍男 井桁啓充	石川	江尻桂三 辻貞三 半田外喜男 岡崎健一	神奈川	越川啓 花岡牧夫 折井利彦 内藤弘明
高校女子	宮城	西堀富美子 谷津京子 佐藤範子 松本幸子	香川	大西誉子 秋山武子 真鍋寿子	神奈川	大川良子 藤田光子 竜野美代子 波多野澄子

第９回　昭和２９年　北海道　札幌市（総合優勝　愛知県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	岐阜	玉越忠治 大竹健司 松岡龍三	愛知	野口勇 服部興治 稲熊貞夫	富山	清水正 釣谷友一 荒木亥久男
一般女子	宮城	西堀富美子 佐藤範子 谷津京子	石川	登悦子 貝原まさえ 澁谷信	愛知	保田久子 伊与田照子 堀江綾子
高校男子	愛知	豊場建 御友昿正 伊藤雅昭	石川	西村嘉彦 江尻桂三 島谷昇	神奈川	宮沢健一 伊豆内宏 渡辺潔
高校女子	福島	武田信子 伊藤桂子 尾形亨子	岡山	大森嘉美 友野文子 三宅基子	愛知	大沢節子 大室久美子 大竹泰子

第１０回　昭和３０年　神奈川県　神奈川県体育館・鶴見女高校体育館（総合優勝　神奈川県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	広田敏秀 杉田博 岡道明	岐阜	大竹健司 松岡龍三 酒井弘	富山	釣谷友一 荒木亥久男 高木満
一般女子	福島	武田信子 伊藤桂子	神奈川	荒川とみ子 小林歌子 大川良子	北海道	梅津貴久江 阿部悦子 下山重子
高校男子	東京	永井栄一 北島克英 小野岡順一	石川	北方匡 関功 米谷外喜彦	山形	生田仁紀 板垣隆房 羽角至
高校女子	岡山	友野文子 権田節子 三宅基子	宮城	佐々木功子 三津節 菅井静子	香川	永田豊子 藤田純代 藤村怜子

第１１回　昭和３１年　兵庫県　神戸ＹＭＣＡ・生田中学校（総合優勝　岡山県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	上田益弘 増木節男 武村俊平	岡山	毛利清志 前田俊一 石原利道
一般女子	宮城	西堀冨美子 小野寺静江 佐藤範子	岡山	友野文子 権田節子 光本政子	兵庫	西尾貞子 加藤洋子 金森奎子
高校男子	神奈川	小宮好雄 中村智 齊藤裕之	北海道	四ツ柳邦夫 小田桐正徳 岩本竜一	山形	板垣隆房 山岸重孝 鑓水勝志
高校女子	香川	横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山	小林桂子 戸田寿子 根岸純	宮城	三浦節 沼倉英子 三浦与志子

第１２回　昭和３２年　静岡県　富士市体育館・富士高講堂（総合優勝　神奈川県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 杉田博 新倉和男	東京	望月文雄 力石潔 鈴木峻三	北海道	島中貞夫 星野嘉雄 神山周二
一般女子	香川	横井キヌエ 井上桂子 山下衣子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子	神奈川	大川良子 小林歌子 石川英子
高校男子	神奈川	小宮好雄 中村智 鈴木敏勝	石川	酒井明夫 村田和男 堀知章	島根	平野隆 森脇英裕 富田豊
高校女子	香川	田島外茂子 山下久子 宮川ツヤ子	静岡	掛橋良子 西村弘子 佐野禎子	石川	有田順子 長田悠喜子 松田富美子

第１３回　昭和３３年　富山県　高岡女子高校体育館・南星中学校体育館（総合優勝　東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 越川啓 花岡牧夫	神奈川	杉田博 佐藤芳朗 佐藤昌久	大阪	高谷芳弘 上田益弘 松王清志
一般女子	香川	横井キヌエ 山下久子 田島外茂子	神奈川	小林歌子 大川良子 二見文子	岡山	権田節子 光本政子 小林桂子
高校男子	山形	金森義弘 板垣義憲 小林賢	東京	鈴木幸春 宮永武司 貝戸肇	奈良	森晃一 榎高嗣 中川安正
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	石川	山崎紀久子 川節子 竹多光子

第１４回　昭和３４年　東京都　足立区体育館（総合優勝　神奈川県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	佐藤芳朗 佐藤昌久 関口潔	石川	新田正治 酒井明夫 村田和男	大阪	松王清志 小松康博 小松貢
一般女子	神奈川	大川良子 二見文子 椎野みや子	香川	横井キヌエ 山下久子 宮川ツヤ子	富山	大坪愛子 高島洋子 中島玲子
教員男子	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	大阪	佐藤茂雄 宝来敏夫 北野敬四郎	東京	平田登志郎 市川和司 柳田直規
高校男子	宮城	渡部紘一 後藤忠広 甲斐昭宏	北海道	龍瀬康彦 竹中将晃 梅木聡	神奈川	山本洋彦 岡崎恵三 小坂拓充
高校女子	香川	藤本文子 有木とみ子 福本和子	静岡	伊沢利子 志村セツ子 石原待子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子

第１５回　昭和３５年　熊本県　菊池市体育館（総合優勝　富山県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	永井栄一 北島克英 貝戸肇	神奈川	佐藤芳朗 遠藤啓治 砥石勤	富山	荒木亥久男 扇沢三徳 大野幸雄
一般女子	富山	高島洋子 中島玲子 栂野尾桂子	秋田	脇坂チエ 木村政子 横山満子	静岡	野村志津江 伊沢利子 志村セツ子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 茂藤寛	神奈川	杉田博 山本剛 石塚義治	秋田	宮越竜三 脇坂安隆 鈴木裕司
高校男子	神奈川	岡崎恵三 小坂拓充 長谷川敏彦	山形	佐藤勝彦 出沢勇男 高橋清一	新潟	阿部孚 笠原淳 伊藤洋祐
高校女子	富山	橘美智子 酒井美智子 平田敦子	香川	横井文子 林信子 森久子	秋田	高橋奉子 石沢七子 長崎文子

第１６回　昭和３６年　秋田県　象潟町中学校体育館（総合優勝　秋田県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	片石兼敏 永井栄一 星野忠男	神奈川	佐藤芳朗 岡崎恵三 遠藤啓治	山形	板垣隆房 出沢勇男 北村任
一般女子	富山	栂野尾桂子 橘美智子 酒井美智子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子	香川	宮川ツヤ子 福本和子 横井文子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 高橋弘喜
高校男子	新潟	大竹紘一 安沢武司 星野義昭	北海道	中村富光 松浦潔 松本直治	山梨	平田勲 秋山真男 早川博
高校女子	山形	佐藤弘子 小笠原詔子 矢口淳子	静岡	高木紀子 天野博江 影山昭子	秋田	伊藤美津子 横山綾子 大門モモ子

第１７回　昭和３７年　岡山県　県立倉敷青陵高校体育館（総合優勝　東京都、富山県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	星野忠男 富田豊 井門鎮雄	神奈川	遠藤啓治 鈴木敏勝 岡崎恵三	愛知	北島克英 小宮好雄 長谷川陽一
一般女子	香川	福本和子 横井文子 森久子	富山	橘美智子 酒井美智子 栂野尾桂子	秋田	木村政子 横山満子 高橋奉子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 秋山捷彦 岡田敬三郎	秋田	脇坂安隆 鈴木裕司 真崎俊光
高校男子	新潟	本田務 荒川治男 阿野善紀	東京	西野一征 須田孝夫 関一誠	青森	奥谷国昭 長谷川勇 三上義明
高校女子	富山	橘妙子 室崎光子 河村和子	秋田	大塚トシ 大門サヨ子 間瀬幸子	岡山	高塚淳子 重政百代 七村泰子

第１８回　昭和３８年　山口県　下関市体育館（総合優勝　新潟県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 稲熊文隆	東京	井門鎮雄 宮永武司 堺栄一	島根	星野忠男 富田豊 山崎春茂
一般女子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	香川	田島外茂子 横井文子 森久子	富山	栂野尾桂子 酒井美智子 室崎光子
教員男子	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦	大阪	大世古吉弘 北野敬四郎 片岡輝明
高校男子	新潟	星野義夫 裏田光男 樋口一春	東京	関一誠 中村安 古屋和正	北海道	福島智徳 林守 久保田和男
高校女子	栃木	前沢和子 松本昭子 小出千代子	新潟	後藤和子 茂沢純子 竹内泰子	北海道	高森幸子 高田裕子 村田泰子

第１９回　昭和３９年　新潟県　県立三条高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 岩后隆昭	東京	永井栄一 宮永武司 堺栄一	石川	新田正治 村田和男 松下力
一般女子	香川	横井文子 田島外茂子 森久子	秋田	横山満子 高橋奉子 長崎文子	岐阜	高木紀子 天野博江 岩后蛍子
教員男子	新潟	渡部紘一 永井司 佐藤俊夫	石川	北方匡 河原山晴夫 江尻桂三	神奈川	杉田博 岡田敬三郎 秋山捷彦
高校男子	新潟	鈴木正浩 神田和夫 片山毅	奈良	森芳夫 橋本修 真壁年一	富山	立野正昭 盛野博之 高林弘則
高校女子	栃木	植木タカ子 大島コヨ 武田初枝	新潟	竹内泰子 石本恵美子 高野八重子	秋田	佐々木フミ 中川美枝子 加賀谷ユミ子

第２０回　昭和４０年　岐阜県　富田学園体育館（総合優勝　岐阜県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	小宮好雄 板垣善憲 長谷川敏彦	東京	堺栄一 宮永武司 田上十六	香川	東条義昭 山口立朗 牟礼顕
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	香川	横井文子 森久子 加藤和子	新潟	後藤和子 石崎妙子 竹内泰子
教員男子	石川	河原山晴夫 北方匡 村西一	北海道	杉田茂良 笹森剛 中嶋弘志	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	栂野尾昌一 寺前信之 中坪邦雄	岐阜	堀幸矩 杉山修 尾関美智則	奈良	真壁年一 河村憲一 滝野公一
高校女子	大阪	近藤光枝 才脇妙子 池田栄子	岐阜	高橋葉子 稲葉良子 川本美代子	栃木	上野明美 石崎喜代子 吉田サト子

第２１回　昭和４１年　大分県　日田林工高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	長谷川敏彦 板垣善憲 安沢武司	山梨	岡崎恵三 秋山真男 三上勇	大分	宮永武司 田中大也 春武俊一
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高田康子	新潟	後藤和子 石崎妙子 加藤操	秋田	横山満子 高橋奉子 加賀谷ユミ子
教員男子	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	石川	河原山晴夫 北方匡 原栄一	岡山	三宅勝 毛利清志 柳本堯敏
高校男子	新潟	本間順次 高橋宣 奥田良秋	宮城	我妻一郎 市川清 寒河江一利	香川	西辻和一 西崎健弘 小田忠庸
高校女子	山形	小山登茂子 遠藤幹子 伊藤シゲ子	新潟	本間恵美子 日下悦子 高坂薫	岡山	湯木博江 浦口恵子 佐藤民子

第２２回　昭和４２年　埼玉県　越ヶ谷市立体育館（総合優勝　香川県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	愛知	板垣善憲 安沢武司 小林一宏	神奈川	小島一平 山本洋彦 遠藤啓治	東京	堺栄一 田上十六 本橋平八
一般女子	香川	有木とみ子 横井文子 山本真江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 加藤操	岐阜	高木紀子 天野博江 虫賀雅子
教員男子	富山	清水芳隆 正木史郎 松山信之	北海道	杉田茂良 安達憔彦 上山功夫	宮城	加茂和夫 渡部紘一 菊地功
高校男子	富山	米田実 松島保 谷口寛	奈良	滝野公一 小林正昭 葛輪博一	宮城	門間幹夫 山田哲夫 木戸純一
高校女子	新潟	相沢マチ子 金子美和子 高坂薫	香川	小片千恵子 竹森経子 山下清美	栃木	田仲美津江 枝加代子 印波和子

第２３回　昭和４３年　福井県　県立勝山合同体育館（総合優勝　岐阜県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	岡崎恵三 秋山真男 田中登	神奈川	小島一平 吉良悠一 渡辺直人	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 安藤久美子	東京	高橋とも子 水野小夜子 田仲美津江	新潟	五十嵐明美 後藤和子 小林邦子
教員男子	熊本	南直治 工藤勇参 芦原健身	石川	北方匡 村西一 原栄一	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏
高校男子	富山	二上敏博 草島正治 布目茂	山形	遠藤好男 田所光男 伊藤政臣	岐阜	岩田昇 後藤路宏 足立守男
高校女子	大阪	平山泰子 柴山きよ子 高崎弘子	香川	宮武泰子 福本幸子 赤沢ひろ子	新潟	堀川栄美子 竹中礼子 大竹由里子

第２４回　昭和４４年　長崎県　諫早市体育館、県立諫早高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二	東京	堺栄一 西野一征 関一誠
一般女子	岐阜	高木紀子 天野博江 高橋千代美	東京	高橋とも子 田仲美津江 水野小夜子	京都	永井かおり 山下三枝子 岡崎繁子
教員男子	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身	岡山	毛利清志 三宅勝 柳本堯敏	石川	北方匡 原栄一 村西一
高校男子	新潟	本間享 小泉司 九原正敏	群馬	内田通夫 桐生台次郎 渡辺稔	奈良	菅原弘貴 岡田昇久 山本繁幸
高校女子	大阪	柴山きよ子 高崎弘子 大場照美	岐阜	及川恵子 脇田和子 紅谷島子	栃木	望月しずか 石崎茂子 阿久津まさ子

第２５回　昭和４５年　岩手県　釜石製鉄所健康保険組合体育館（総合優勝　岩手県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	山梨	窪田恵三 秋山真男 野田秀応	東京	池田信孝 栂野尾昌一 鈴木健二	神奈川	小島一平 渡辺直人 坂本聖二
一般女子	新潟	竹中悦子 相沢マチ子 後藤和子	岐阜	高木紀子 天野博江 桑原富士子	栃木	松本昭子 石崎喜代子 望月しずか
教員男子	岩手	佐々木彦士 佐々木邦夫 永沢和彦	石川	北方匡 原栄一 松本忠之	熊本	西田壽明 工藤勇参 芦原健身
高校男子	奈良	巽康司 竹内真 西川繁美	石川	銭谷欽治 竹村勇治 青山信吾	岩手	高橋信夫 佐藤壮 佐藤吉雄
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	栃木	小林敏枝 藤井幸子 池田静江	香川	川東秀美 森清美 田所静子

第２６回　昭和４６年　和歌山県　湯浅中学校、耐久高校体育館（総合優勝　新潟県）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	渡辺直人 小島一平 宮川秀樹	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄	岐阜	森芳夫 河田満 安藤義治
一般女子	新潟	鈴木明美 後藤和子 本間恵美子	神奈川	杉田良子 味蓼とも子 秋山陽子	北海道	田村静子 高野美千子 今川喜佐子
教員男子	滋賀	久保田良昌 藤原健二 藤上良信	和歌山	森隆 中西詳味 佐藤光伸	熊本	本郷節生 南直治 工藤勇参
高校男子	新潟	土田征雄 鈴木裕 佐野直行	和歌山	山本茂樹 倉内徹 岡忠成	奈良	西川繁美 佐野弘 中井基夫
高校女子	大阪	西尾真理子 秋本八代美 秋本幸子	福島	千葉陽子 宮内すみ子 木村瑞江	岡山	林寿美子 平田喜久江 三宅一美

第２７回　昭和４７年　太陽国体　鹿児島県　南高校体育館（総合優勝　東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 渡辺直人 宮川秀樹	東京	鈴木健二 池田信孝 栂野尾昌一	山梨	窪田恵三 秋山真男 岩下一雄
一般女子	東京	湯木博江 竹中悦子 石崎茂子	愛知	橋本香代 池田静江 富居康子	香川	小片千恵子 小西幸代 森清美
教員男子	和歌山	森隆 中西詳味 門間幹夫	栃木	別井晃 斉藤佶 森田昇	石川	北方匡 原栄一 長谷川進
高校男子	奈良	中井基夫 南田義正 辻敏弘	石川	原敏夫 山下敏行 谷島助男	岐阜	古西悟 角田勝 後藤純一
高校女子	大阪	秋本幸子 高田幹子 徳田敦子	山形	矢口洋子 本間浩子 今田真知子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美

第２８回　昭和４８年　若潮国体　千葉県　県立茂原高校体育館（総合優勝　東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京	関一誠 栂野尾昌一 池田信孝	愛知	本間順次 松島保 谷口寛
一般女子	東京	湯木博江 相沢マチ子 竹中悦子	香川	森清美 川東秀美 長尾弥生	岐阜	天野博江 広沢功子 日比野悦子
教員男子	滋賀	藤上良英 藤上良信 藤原健二	石川	原栄一 長谷川進 和田修	山形	永井司 高山昌三 斉藤和夫
高校男子	富山	西村正美 梶川博之 上治雄	福島	寺田繁 矢部芳光 五十嵐弘之	奈良	池田文昭 松重恵三 坪内利夫
高校女子	大阪	高田幹子 徳田敦子 植野恵美子	千葉	山田尚子 平野美千代 瀬野清美	山形	堀田正子 清水礼子 福原友子

第２９回　昭和４９年　水と緑のまごころ国体　茨城県　石岡小学校体育館、石岡二高校体育館（総合優勝　東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
一般男子	東京	池田信孝 栂野尾昌一 今井茂満	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	愛知	松島保 本間順次 谷口寛
一般女子	東京	石崎茂子 今田眞知子 柴山きよ子	香川	田所静子 山口豊子 川東秀美	北海道	田村静子 高野美千子 藤島百子
教員男子	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 森隆	石川	原栄一 長谷川進 高来秀夫	茨城	佐藤利昭 関本昌和 大川健太郎
高校男子	山形	米山孝二 中島俊彦 加藤信之	奈良	塚本良一 小倉久和 村田信博	福井	長谷川博幸 諏訪芳博 中村幸平
高校女子	新潟	関根和子 大塚ソノエ 佐藤由喜子	香川	牛田真由美 片山千英子 渡辺幸子	大阪	植野恵美子 石川好子 北村寿弥子

第３０回　昭和５０年　たくましくあすをひらこう　みえ国体　三重県　県立松阪高校体育館（総合優勝　石川県）

順位／種別		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	東京	池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	富山	河村博之 今泉勉 米沢和男
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	今井勇司 関俊夫 桐生台次郎	宮城	渡部紘一 木戸純一 白岩良治
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 柴山きよ子	香川	川東秀美 田所静子 山口豊子	岡山	石田雅子 三田明美 藤原敦子
少年男子		奈良	吉岡伸浩 冨田章夫 田島裕司	石川	宮森庄吉 酒井直人 坂本宏志	宮城	橋川光孝 沼沢隆 宍戸隆夫
少年女子		大阪	植野恵美子 北村寿弥子 石川好子	三重	谷口元美 槇野いく子 野崎知花	香川	前川加代子 渋谷茂子 金崎美保

第３１回　昭和５１年　若楠国体　佐賀県　県立牛津高校体育館、町立牛津中学校体育館（総合優勝　石川県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	神奈川	小島一平 宮川秀樹 笠井教行	富山	今泉勉 河村博之 米沢和男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 和田修	群馬	関俊夫 今井勇司 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 武藤隆志 山本茂樹
成年女子		東京	湯木博恵 石崎茂子 今田眞知子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子
少年男子		石川	重山成生 森田均 坂本昌嗣	滋賀	北橋進 西山博司 西堀武	香川	平野勝彦 上原明 木田敬二
少年女子		大阪	石川好子 平久美子 河村茂美	新潟	青木恵子 藤井良子 佐藤友子	東京	徳永順子 松枝睦子 永野ふみ子

第３２回　昭和５２年　あすなろ国体　青森県　浪岡町民体育館（総合優勝　青森県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	埼玉	尾崎幹雄 飯野佳孝 土田証雄	東京	池田信孝 栂野尾昌一 銭谷欽治	神奈川	小島一平 笠井教行 辻敏弘
成年男子	教員	石川	原栄一 長谷川進 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 桐生台次郎	和歌山	門間幹夫 山本茂樹 米山正和
成年女子		東京	湯木博恵 池田美加 池田茂子	大阪	西尾真理子 谷美津代 秋本幸子	香川	石原英子 田所静子 牛田真由美
少年男子		滋賀	西山博司 矢部忠司 山田和樹	栃木	角田光永 久郷俊明 関根忠	青森	丹藤勇一 楠美誠悦 島内俊二
少年女子		大阪	平久美子 河村茂美 原口恵子	高知	浜田由理 田村圭香 寺田史枝	青森	葛西明子 山下奈々子 柳沼端代

第３３回　昭和５３年　やまびこ国体　長野県　塩尻市立体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 西村龍夫	新潟	棒勇 鈴木裕 丸山法男	石川	相川進 米正隆 堂谷内均
成年男子	教員	石川	長谷川進 舛田吉光 和田修	群馬	今井勇司 栗原恒夫 岩崎盛和	熊本	工藤勇参 稲津悟 田中芳文
成年女子		大阪	谷美津代 秋本幸子 東海林文子	福岡	桶本百合子 丸山富江 山口峰子	栃木	沼能久子 日山裕子 日向野藤枝
少年男子		熊本	本石俊憲 権藤浩二 井上哲章	山形	桜井雅人 五十嵐正弘 須貝英徳	滋賀	保科正浩 横田悟司 川嶋栄司
少年女子		新潟	月岡広美 中沢一枝 斎藤優子	栃木	上野加代子 高田康子 海賀里美	大阪	合川裕子 原口恵子 北田スミ子

第３４回　昭和５４年　日本のふるさと宮崎国体　宮崎西都市民体育館（総合優勝　熊本県）

種別＼順位		1位		2位		3位	
成年男子	一般	千葉	田所光男 大場和博 織本富之	神奈川	小島一平 高橋清 菅敏明	北海道	遠藤好男 木村敏男 久原正敏
	教員	石川	長谷川進 和田修 舛田吉光	群馬	今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	滋賀	藤原健二 藤上良信 脇坂重之
成年女子		栃木	日山裕子 日向野藤枝 大嶌和代	大阪	東海林文子 葛西明子 原口恵子	香川	平井佐代子 山田高子 前川加代子
少年男子		熊本	権藤浩二 村上英介 井上哲章	香川	岡野佳浩 小西太 竹田佳史	栃木	馬場良浩 小野口正 大島正志
少年女子		大阪	北田スミ子 植田日出子 冨田美千代	新潟	藤井直子 遠藤えり子 冨岡栄子	熊本	川添安代 高峯和子 陣内貴美子

第３５回　昭和５５年　栃の葉国体　栃木県　真岡市総合体育館（総合優勝　富山県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉 米正隆 二上敏博	石川	長谷川進 舛田吉光 堂谷内均	神奈川	小島一平 池田隆治 菅敏明
成年女子	東京	端洋護 渡辺多喜子 高岸陽子	滋賀	谷美津代 若村弥生 阪口典子	愛知	小松澄子 渡辺喜美 柳田智佳子
少年男子	滋賀	山本裕幸 竹端英夫 松浦進二	栃木	大島正志 大堀円 戸村正樹	熊本	井上哲章 伊東幸男 福田和幸
少年女子	熊本	高峯和子 陣内貴美子 森山弘美	大阪	松田全代 新木千織 尾崎升美	新潟	野上満子 山内美子 山田登美子

第３６回　昭和５６年　びわこ国体　滋賀県　大津市皇子が丘公園体育館（総合優勝　滋賀県）

種別＼順位	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉勉 米正隆 林加永	青森	佐藤光伸 須藤茂 村元英美	群馬	今井勇司 秋庭克行 鏑木智博
成年女子	東京	湯木博恵 高岸陽子 月岡広美	滋賀	谷美津代 西村美千代 磯野恵理子	大阪	河村茂美 平久美子 葛西明子
少年男子	滋賀	松浦進二 片岡泰 辻田泰昌	山梨	松野修二 宮健次 宮康二	石川	羽田義仁 村松博 宮本照啓
少年女子	熊本	陣内貴美子 高峯尚子 森山弘美	香川	山内佳子 佃貴子 永井明美	新潟	山内美子 石崎咲知子 本田佳代子

第３７回　昭和５７年　くにびき国体　島根県　大東町立体育館（総合優勝　滋賀県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	群馬	今井勇司 鏑木智博 秋庭克行	富山	今泉勉 米沢和男 米正隆	北海道	遠藤好男 米山孝二 千葉昌弘
成年女子	岡山	河本小織 高田幹子 小寺裕美	大阪	河村茂美 平久美子 国奥美智子	静岡	山本美津子 川島直子 原田純子
少年男子	滋賀	西川勉 辻田泰昌 杉本吉男	石川	山尾克則 岡島浩一 羽田憲治	埼玉	長内征美 新井利幸 大割誠一郎
少年女子	大阪	松田太嘉子 石井香澄 鴻原春美	熊本	森山弘美 高峯尚子 青木きよみ	栃木	三沢真奈美 岡崎仁子 小貫早苗

第３８回　昭和５８年　あかぎ国体　群馬県　桐生市民体育館（総合優勝　群馬県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	群馬	今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	新潟	鈴木裕 山下圭一 飯塚芳英	静岡	後藤和之 飯野佳孝 井出裕雄
成年女子	岡山	河本小織 高田幹子 中原裕美	静岡	川島直子 白松千加子 原田純子	東京	枝美代子 月岡広美 高峯尚子
少年男子	熊本	川本英明 林謙一 三次英昭	兵庫	佐藤浩 松本泰典 村山喜洋	奈良	見市昌弘 小野満哲 村山友二
少年女子	大阪	鴻原春美 新木貴子 宮崎正美	熊本	上村美香 平井真由美 青木きよみ	新潟	原田真理恵 本田みどり 川野名智美

第３９回　昭和５９年　わかくさ国体　奈良県　田原本町中央体育館（総合優勝　大阪府）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	工士恭司 江藤正治 権藤浩二	群馬	今井勇司 栗原恒夫 鏑木智博	奈良	辻敏弘 中井基夫 吉岡伸浩
成年女子	大阪	葛西明子 星和枝 平山美恵子	石川	伊東ひとみ 小野順子 小路和代	東京	枝美代子 森山弘美 三田知佳子
少年男子	滋賀	江藤裕樹 中川健 中川康	富山	平井保光 中嶋正男 室田繁行	埼玉	松元功一 生井沢勝美 石橋隆
少年女子	大阪	新木貴子 今村薫 山田陽子	新潟	若井郁子 小池由扶子 青戸香織	青森	徳光由美子 谷地春子 西田美知子

第４０回　昭和６０年　わかとり国体　鳥取県　県立由良育英高校体育館（総合優勝　熊本県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一	群馬	今井勇司 栗原恒夫 竹内康夫	愛知	坂本宏志 古賀勝志 坂井外喜男
成年女子	新潟	月岡広美 野上満子 山内美子	大阪	高峯和子 星　和枝 平山美恵子	山形	東海林文子 佐藤栄美子 田口真由美
少年男子	埼玉	生井沢勝美 菊地　修 石橋　隆	石川	気谷篤人 山本明彦 中川　守	熊本	浜北和彦 中村徳祐 小本義久
少年女子	熊本	田島志乃 田代美智世 松尾知美	新潟	小池由扶子 青戸香織 棒　匡子	青森	横手智江美 平間由紀 乳井智秋

第４１回　昭和６１年　かいじ国体　山梨県　勝沼町民体育館（総合優勝　山梨県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	山梨	山本裕幸 松野修二 宮　健次	大阪	森下一夫 谷田尚嗣 保科正浩	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一
成年女子	新潟	月岡広美 野上満子 山内美子	富山	今川真理子 大谷鶴美 田向和子	山梨	高田幹子 野口英代 清藤　和
少年男子	熊本	久住　猛 畑野宏幸 本山秀昭	山梨	内田高史 輿石　努 岩佐延寿	富山	吉田直樹 越田芳成 城木夢高
少年女子	福岡	田村富士美 田島由美 間庭由美	熊本	松尾知美 毛利千秋 渡辺喜美子	埼玉	秋元美佐緒 太田悦子 清水由紀子

第４２回　昭和６２年　海邦国体　沖縄県　糸満市西崎総合体育館（総合優勝　熊本県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	岐阜	蘭　和真 木内広史 横尾宣幸	群馬	栗原恒夫 竹内康夫 片桐哲也	熊本	工士恭司 権藤浩二 堺　圭一
成年女子	富山	今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	愛知	宮本美津子 大屋幸恵 松本清美	石川	彼島佳子 小路和代 水本幸代
少年男子	滋賀	鈴木草麻生 平井　肇 小河原　崇	熊本	本山秀昭 高村誠也 廣龍宗美	埼玉	関根英勝 石井　隆 鈴木秀二
少年女子	熊本	中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	大阪	南里高子 岩田良子 水井妃佐子	新潟	棒　匡子 高橋朱美 加賀ゆかり

第４３回　昭和６３年　京都国体　京都府　長岡京市西山公園体育館（総合優勝　大阪府）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男	群馬 鏑木智博 竹内康夫 片桐哲也
成年女子	富山 今川真理子 大谷鶴美 伏喜由美子	大阪 今村薫 田代美智世 磯崎照枝	愛知 大屋幸恵 丑田明子 佐々恵理
少年男子	埼玉 大谷知昌 内村剛 須賀隆弘	北海道 工藤忠和 藤本謙治 村井秀樹	滋賀 平井肇 小河原崇 中橋一晃
少年女子	大阪 岩田良子 水井妃佐子 新木美志子	熊本 中原敬子 甲斐美和 宮村愛子	宮城 立花久枝 矢野直子 伏見亜古

第４４回　平成元年　はまなす国体　北海道　日本工学院北海道専門体育館（総合優勝　熊本県）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	神奈川 長谷川博幸 石場隆雄 細谷昇	北海道 伊藤雅弘 山尾克則 角谷淳一	京都 村尾勉 山本裕幸 杉本吉男
成年女子	群馬 野口英代 中島真美 藤岡美智子	大阪 今村薫 奥山保子 秋元美佐緒	東京 都木弘美 毛利千秋 星野実智代
少年男子	北海道 佐藤嘉伸 郷路一郎 古川英樹	埼玉 片山卓哉 久保田雄三 関根靖則	熊本 田上厚志 本田和裕 霜上和宏
少年女子	熊本 宮村愛子 松田治子 阪本雅子	大阪 水井妃佐子 利川三貴 坂田美佐	佐賀 庄島由美子 寺尾美紀 篠原久子

第４５回　平成２年　とびうめ国体　福岡県　筑紫野市農業者ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞｾﾝﾀｰ（総合優勝　大阪府）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	三重 福田実 中川健 常山兼二	大阪 辻田泰昌 奥野勉 早戸敬雄	福岡 荒木秀文 中村正巳 石井正行
成年女子	福岡 清水尚美 田村富士美 田頭美奈子	静岡 金丸陽子 横手智江美 山田美紀	大阪 今村薫 奥山保子 三ツ川貴子
少年男子	大阪 岸田明宏 上瀧賢二 片岡詔市郎	熊本 本田和裕 岡部英朗 前田尚文	埼玉 関根靖則 高橋真 増田直樹
少年女子	埼玉 井田貴子 青木由美子 浜崎忍	大阪 松田洋子 杉田暢子 大田貴子	佐賀 寺尾美紀 篠原久子 鬼塚知美

第４６回　平成３年　石川国体　石川県　美川町総合スポーツセンター（総合優勝　石川県）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	三重 中川 健 常山兼二 山内一志	大阪 辻田泰昌 奥野 勉 早戸敬雄	石川 毛利達彦 羽田義仁 崎田健一
成年女子	東京 田児よし子 都木弘美 立花久枝	神奈川 青戸香織 森 真由美 加賀ゆかり	石川 小泉陽子 上浜陽子 中尾仁美
少年男子	千葉 太田慎二 石橋秀法 佐藤裕二	埼玉 増田直樹 高橋 真 加賀谷 洋	石川 青木 康 竹鼻拓也 石本明男
少年女子	宮城 橋本淳子 山田裕美 貴田 泉	群馬 高野八重 丹野恭子 田部井美奈	石川 津田藍子 安田香奈 丸山実支子

第４７回　平成４年　べにばな国体　山形県　新庄市体育館（総合優勝　熊本県）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	大阪 辻田泰昌 今井彰宏 鈴木草麻生	山形 西山博司 渡邉清一 寺島剛志	北海道 角谷淳一 工藤忠和 古川英樹
成年女子	富山 大堀麻紀 佐々木 忍 野々村美春	熊本 林 美希 田畑美香 上田純子	東京 田児よし子 岡山登紀子 立花久枝
少年男子	群馬 高橋幸治 横山秀之 坂入秀貴	茨城 成島瑞穂 樋渡順也 矢部正博	熊本 片岡直茂 花田政文 野田亮介
少年女子	大阪 大田貴子 水井泰子 川口桐香	埼玉 小室恭子 伊藤さおり 浅井康代	熊本 宮村亜貴子 村上直美 伊藤真由美

第４８回　平成５年　東四国国体　香川県　坂出市立体育館（総合優勝　大阪府）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	東京 高橋英治 峯岸康史 須賀隆弘	大阪 谷田尚嗣 植村昭彦 常山兼二	三重 中川 健 磯部昌弘 吉田義利
成年女子	大阪 西田美由紀 村上直美 大田貴子	熊本 林 美希 田畑美香 上田純子	香川 中尾仁美 川本光佐子 磯崎照枝
少年男子	茨城 樋渡順也 矢部正博 大橋雅道	千葉 田中肇一 池田哲徳 小倉伸彦	北海道 井野嘉久 一宮孝一 馬木智一
少年女子	大阪 水井泰子 川口桐香 鬼池めぐみ	北海道 増茂孝枝 中山智香子 田村裕美	富山 山田潤子 進藤範子 山田青子

第４９回　平成６年　わかしゃち国体　愛知県　大府市民体育館（総合優勝　大阪府）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	東京 須賀隆弘 片山卓哉 久保田雄三	大阪 辻田泰昌 今井彰宏 植村昭彦	富山 気谷篤人 岩渕公一 本山秀昭
成年女子	東京 松尾知美 道上彰子 阪本雅子	富山 佐々木忍 渡辺真由美 高野八重	新潟 竹野景子 遠藤みゆき 亀田幸恵
少年男子	滋賀 酒井将之 諏訪良人 松本徹	北海道 一宮孝一 馬木智一 今西隆浩	石川 津田光一郎 奥森正志 舛田圭太
少年女子	大阪 福島由佳 鬼池めぐみ 市橋美紀	福岡 長谷部裕子 吉富明子 吉武由加里	群馬 中麻依子 岡田真紀 亀山貴代

第５０回　平成７年　ふくしま国体　福島県　白河市中央体育館（総合優勝　福島県）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	福島 柳谷辰哉 大堀均 平野泰宏	富山 気谷篤人 本山秀昭 本田和裕	大阪 常山兼二 渡辺哲義 岸田明宏
成年女子	福島 棒匡子 大堀麻紀 寺尾美紀	大阪 中山智香子 増茂孝枝 田中美保	富山 佐々木忍 松田治子 高野八重
少年男子	滋賀 松本徹 向裕樹 川口馨士	福島 渡部訓生 沈逸文 竹俣洋平	石川 徳坂渉 栄代正男 舛田圭太
少年女子	石川 中島珠美 片糸由希子 堀哲子	富山 山田青子 石橋陽子 加藤真知子	福岡 吉富明子 大石瞳 稗田華子

第５１回　平成８年　ひろしま国体　広島県　三原リージョンプラザ（総合優勝　熊本県）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子	富山 今井彰宏 谷内貴昭 本田和裕	熊本 霜上和宏 花田政文 福田茂	北海道 村井秀樹 佐藤嘉伸 水澤直哉
成年女子	富山 河口奈緒美 明石由美 市橋理恵	新潟 竹野景子 斎藤かおり 住矢直美	広島 福井奈美 吉川愛 渡辺夕子
少年男子	石川 舛田圭太 車浩明 酒井忠相	埼玉 小吹公彦 中西洋介 長嶺宙	熊本 大東忠司 木下伸介 二瓶良
少年女子	埼玉 井川里美 岩脇史 李荔	熊本 杉浦美幸 永峰弘子 橋本純子	大阪 吉岡知香 鄭有琁 安城美華

第５２回　平成９年　なみはや国体　大阪府　大東市立体育館（総合優勝　大阪府）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	東京	兒嶋　昇 町田　文彦 須賀　隆弘 久保田　雄三	大阪	松井　峰生 常山　兼二 植村　昭彦 岸田　明宏	福岡	森　裁美 清水　文武 棟居　秀行 五十嵐　一智
成年女子	大阪	宮崎　克巳 井田　貴子 中山　智香子 増茂　孝枝	奈良	谷口　章 水井　妃佐子 水井　泰子 渡辺　未奈子	富山	河合　昭博 高野　八重 河口　奈緒美 市橋　美紀
少年男子	大阪	和田　泰寛 仲尾　修一 永谷　和也 福川　和也	熊本	権藤　浩二 二瓶　良 大東　真也 中村　寿史	石川	彼島　重範 車　浩明 酒井　忠相 茶谷　徳靖
少年女子	福岡	樽野　智子 森　かおり 中内　景子 三好　奈緒	石川	和田　修 田井　美幸 舛田　恵 田村　恵理	大阪	西上　正一 福永　麻美 安城　美華 速水　永子

第５３回　平成１０年　かながわ・ゆめ国体　神奈川県　大和市ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ体育会館（総合優勝　大阪府）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 鈴木　草麻生 今井　紀夫 大山　宏司	東京	兒嶋　昇 町田　文彦 須賀　隆弘 渡邉　清一	大阪	松井　峰生 岸田　明宏 松井　充 川口　馨士
成年女子	奈良	谷口　章 水井　泰子 松田　治子 市橋　理恵	茨城	磯部　和弘 米倉　加奈子 大坂　千尋 岩松　絵理子	富山	河合　昭博 高野　八重 河口　奈緒美 明石　由美
少年男子	熊本	権藤　浩二 大東　真也 中村　寿史 茂見　祥平	埼玉	関根　務 橋村　竜彦 平山　政史 川崎　和宗	石川	彼島　重範 酒井　忠相 茶谷　徳靖 山下　淳
少年女子	福岡	樽野　智子 中内　景子 藤本　乃恵 松尾　美穂子	大分	吉田　信之 末綱　聡子 赤尾　美代 赤尾　亜希	埼玉	加藤　勝 大熊　倫子 山口　絵美 謝　婷婷

第５４回　平成１１年　くまもと未来国体　熊本県　八代市総合体育館（総合優勝　熊本県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	熊本	石黒　之武久 霜上　和宏 花田　政文 大東　忠司	富山	今泉　勉 今井　紀夫 大山　宏司 吉川　大助	神奈川	石場　隆雄 舛田　圭太 清水　隆志 古川　裕輔
成年女子	大阪	宮崎　克巳 鬼池　めぐみ 森　かおり 関本　祥子	茨城	大塚　三佳 米倉　加奈子 中島　暁子 大坂　千尋	富山	河合　昭博 山本　静香 山田　潤子 山田　青子
少年男子	東京	渋谷　実 安村　康介 佐藤　翔治 佐々木　翔	熊本	権藤　浩二 茂見　祥平 池田　礼緒奈 土田　真義	香川	岡野　佳浩 二宮　和敬 前田　丈博 木場　喬
少年女子	福岡	明神　憲一 松尾　美穂子 藤本　乃恵 脇坂　郁	熊本	伊東　幸男 田上　千晴 松本　舞子 野口　理加	埼玉	中島　正敏 陳　暁娜 大下　詩織 広岡　まり香

第５５回　平成１２年　２０００年とやま国体　富山県　高岡市民体育館（総合優勝　富山県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 今井紀夫 谷内貴昭 大山宏司	熊本	村中陽介 花田政文 田上良治 古井博高	神奈川	石場隆雄 舛田圭太 清水隆志 古川裕輔
成年女子	茨城	下鳥洋樹 米倉加奈子 長縄美佳子 岩松絵理子	大阪	喜多　努 関本祥子 田上千晴 西　宏予	富山	河合昭博 山本静香 山田潤子 山田青子
少年男子	東京	渋谷　実 佐藤翔治 佐々木翔 池田雄一	富山	山形英明 川口佳介 米　隆夫 劉　志遠	北海道	井口一司 早坂幸平 石田圭大 竹村　純
少年女子	青森	髙屋　仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 楊　藹琳	富山	麦谷正二 田村美幸 今井幸代 劉　晶	長崎	春野良三 松田友美 西山真鯉子 宇津早也香

第５６回　平成１３年　新世界・みやぎ国体　宮城県　塩竈市体育館（総合優勝　富山県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 吉川大助 舛田圭太 大東忠司	熊本	村中陽介 古井博高 花田政文 田上良治	埼玉	中條　彪 中村憲尚 福井剛士 加賀谷　洋
成年女子	千葉	中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	茨城	小島一夫 松浦裕子 正木真澄 梅津知恵	富山	河合昭博 山田潤子 田村美幸 佐伯知佳
少年男子	東京	渋谷　実 山浦尚仁 池田雄一 新開慎士	埼玉	大屋貴司 斉藤元伸 堤　敦史 井上知也	青森	戸祭　潤 岩脇峰生 長原克博 鈕　佳平
少年女子	青森	髙屋　仁 楊　藹琳 廣瀬栄理子 今別府靖代	富山	中田庄二 佐伯美沙都 劉　晶 今井幸代	大分	吉田信之 服部麻衣 倉満一美 橋本麻衣子

第５７回　平成１４年　よさこい高知国体　高知県　南国市立ｽﾎﾟｰﾂｾﾝﾀｰ（総合優勝　東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 今井紀夫 舛田圭太 大東忠司	北海道	古川英樹 水澤直哉 三上裕司 長原正博	大阪	渡辺哲義 川口馨士 一宮孝一 谷内貴昭
成年女子	千葉	中村新一 山本静香 松田友美 赤尾亜希	宮城	山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	東京	落合久夫 岩田良子 米倉加奈子 田井美幸
少年男子	東京	渋谷　実 池田雄一 新開慎士 高木洋平	埼玉	大屋貴司 井上知也 秋山駿祐 新井克巳	滋賀	藤上良信 山口公洋 数野健太 早川賢一
少年女子	青森	髙屋　仁 廣瀬栄理子 今別府靖代 小柳知子	岐阜	尾藤伸治 脇田　侑 後藤　舞 林　裕佳	宮城	常田貴裕 田嶋朝美 平山　優 松村咲希

第５８回　平成１５年　ＮＥＷ!!わかふじ国体　静岡県　富士宮市民体育館（総合優勝　東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	東京	兒嶋　昇 久保田雄三 片山卓哉 清水　裕	岡山	藤原道弘 松川大記 尾崎勝久 佐伯浩一	宮城	原田利雄 草井　篤 山下洋平 鈴木知道
成年女子	千葉	中村新一 寺本悦子 松田友美 赤尾亜希	宮城	山並正人 小川尚子 長縄美佳子 徳永幸子	熊本	今井彰宏 末綱聡子 中内景子 今井幸代
少年男子	滋賀	藤上良信 数野健太 早川賢一 早崎修平	東京	小林重徳 高木洋平 堀川善生 林　森	埼玉	大屋貴司 中尾祐介 黒田俊明 宗形俊克
少年女子	宮城	常田貴裕 平山　優 松村咲希 麻植まさよ	青森	髙屋　仁 小柳知子 藤澤美佑紀 今別府香里	熊本	工藤勇参 吉村征美 前田美順 岡　ひとみ

第５９回　平成１６年　彩の国まごころ国体　埼玉県　久喜市総合体育館（総合優勝　埼玉県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉　勉 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉	中條　彪 山田英孝 福井剛士 中西洋介	北海道	小倉隆司 松本　章 竹村　純 長原正博
成年女子	熊本	今井彰宏 末綱聡子 幡谷好美 前田美順	宮城	山並正人 小川尚子 長縄美佳子 平山　優	東京	岩田良子 田井美幸 媚山映里 今別府靖代
少年男子	東京	渋谷　実 藤田真生 堀川善生 高階知也	埼玉	帰山好和 遠藤大由 山田和司 小松谷　輝	滋賀	藤上良信 早川賢一 早崎修平 川下剛士
少年女子	青森	髙屋　仁 今別府香里 本間ちさと 藤井瑞希	埼玉	名倉康弘 高橋沙織 井上春奈 李　舒静	宮城	常田貴裕 松村咲希 麻植まさよ 大阪あや

第６０回　平成１７年　晴れの国おかやま国体　岡山県　岡山市総合文化体育館（総合優勝　埼玉県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	荒木　純 舛田圭太 大東忠司 大東真也	埼玉	中條　彪 山田英孝 福井剛士 中西洋介	東京	町田文彦 松本　徹 川口馨士 清水　裕
成年女子	岐阜	尾藤伸治 後藤　愛 脇田　侑 吉村征美	熊本	今井彰宏 末綱聡子 今井幸代 前田美順	大阪	谷内貴昭 脇坂　郁 多谷郁恵 今別府香里
少年男子	埼玉	大屋貴司 林　純司 三橋智希 上田拓馬	岡山	西崎文貴 佐伯祐行 三宅達也 米元優樹	滋賀	藤上良信 早崎修平 田中昭太 川下剛士
少年女子	青森	髙屋　仁 本間ちさと 藤井瑞希 垣岩令佳	埼玉	田部井秀郎 井上春奈 富永翔子 作山智美	石川	車　浩明 浜中麻亜子 樽野　恵 南出なつき

第６１回　平成１８年　のじぎく兵庫国体　兵庫県　宝塚市立総合体育館（総合優勝　埼玉県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	今泉 勉 舛田 圭太 大東 忠司 劉 志遠	埼玉	中條 彪 仲尾 修一 井上 知也 山田 和司	秋田	鈴木 理之 佐々木 翔 西浦 和広 鈕 佳平
成年女子	埼玉	小室 恭子 岩脇 史 大熊 倫子 広岡 まり香	熊本	今井 彰宏 幡谷 好美 今井 幸代 岡 ひとみ	岐阜	尾藤 伸治 後藤 愛 脇田 侑 吉村 征美
少年男子	埼玉	大屋 貴司 上田 拓馬 田児 賢一 佐々木 啓	福井	木戸口 元 松川 直弘 笹木 里司 川村 勝平	熊本	権藤 浩二 武山 修三 嘉村 健士 園田 啓悟
少年女子	石川	車 浩明 樽野 恵 木村 唯菜 南出 さき	青森	藤田 真人 藤井 瑞希 佐々木 理恵 垣岩 令佳	埼玉	田部井 秀郎 大森 舞 三木 佑里子 中森 理紗

第６２回　平成１９年　秋田わか杉国体　秋田県　美郷総合体育館（総合優勝　秋田県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	秋田	鈴木 理之 佐々木 翔 菅野 俊助 鈕 佳平	富山	今泉 勉 平田 典靖 劉 志遠 菊田 健一	滋賀	酒井 良之 数野 健太 早川 賢一 早崎 修平
成年女子	石川	和田 修 田井 美幸 梅津 知恵 樽野 恵	秋田	鈴木 康修 三好 奈緒 金上 路子 下崎 彩	神奈川	鶴見 和彦 坂田 雅美 伊東 可奈 内藤 真実
少年男子	埼玉	大屋 貴司 松丸 一輝 田児 賢一 和田 周	熊本	権藤 浩二 嘉村 健士 園田 啓悟 今給黎 将之	福井	木戸口 元 松浦 正輝 千京 尚将 坂井 哲也
少年女子	青森	藤田 真人 垣岩 令佳 内井 快枝 橋本 由衣	石川	車 浩明 桜井 みどり 村上 彩 三谷 美菜津	福岡	明神 憲一 栗原 文音 植田 悠 古賀 さやみ

第６３回　平成２０年　チャレンジ！おおいた国体　大分県　日田市総合体育館
（総合優勝　東京都・熊本県・富山県・青森県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	荒木 純 平田 典靖 劉 志遠 古財 和輝	東京	笹林 義春 早坂 幸平 廣部 好輝 岩脇 峰生	埼玉	中西 洋介 井上 知也 上田 拓馬 松丸 一輝
成年女子	熊本	今井 彰宏 幡谷 好美 藤井 瑞希 垣岩 令佳	秋田	原田 利雄 三好 奈緒 金上 路子 楠瀬 由佳	東京	栂野尾 昌一 今別府 靖代 伊東 可奈 野尻野 匡世
少年男子	福岡	北島 義浩 末松 純 北野 拓二 原田 和憲	滋賀	藤上 良信 矢部 拓也 村上 俊 宇野 賢人	青森	戸祭 潤 北島 翼 吉田 尚弘 櫻庭 弘貴
少年女子	宮城	田所 光男 高橋 礼華 佐藤 冴香 松友 美佐紀	青森	藤田 真人 橋本 由衣 米元 小春 佐藤 楓	大阪	谷田 尚嗣 西 友理 久後 あすみ 福万 尚子

第６４回　平成２１年　トキめき新潟国体　新潟県　五泉市総合会館（総合優勝　東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	東京	笹林義春 廣部好輝 岩脇峰生 山田和司	熊本	村中陽介 武山修三 園田啓悟 嘉村健士	宮城	草井篤 菊田健一 佐藤黎 木戸道治
成年女子	岐阜	山田青子 後藤愛 脇田侑 江藤理恵	秋田	原田利雄 金上路子 三好奈緒 楠瀬由佳	大阪	谷内貴昭 森かおり 今別府香里 関谷真由
少年男子	埼玉	大屋貴司 星野翔平 小林晃 長谷川達也	熊本	権藤浩二 嘉村昌俊 坂中賢太 平山涼介	東京	小林重徳 間瀬俊介 高岡透平 鄭圭介
少年女子	青森	藤田真人 佐藤楓 田中志穂 市丸美里	石川	車浩明 三谷美菜津 平野華梨 三納英莉佳	富山	麦谷正二 古西佳那子 髙橋沙也加 中尾佳淑

第６５回　平成２２年　ゆめ半島千葉国体　千葉県　野田市関宿総合公園体育館、野田市総合公園体育館（総合優勝　埼玉県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	千葉	野村和弘 佐藤翔治 山口公洋 川内崇士	東京	坂本修一 廣部好輝 池田雄一 佐伯祐行	富山	荒木純 古財和輝 橋本博且 黒瀬尊敏
成年女子	岐阜	山田青子 後藤愛 脇田侑 江藤理恵	石川	和田修 田井美幸 樽野恵 伊東可奈	兵庫	酒井将之 木村早紀 小椋しのぶ 大迫晴加
少年男子	埼玉	大屋貴司 和田治久 竹内宏気 竹内義憲	福島	大堀均 桃田賢斗 松居圭一郎 小森洋佑	大阪	有田圭一 相和勇輝 小高拓也 佐野拓磨
少年女子	埼玉	大高史夫 中村梨沙 小橋霞 奥原希望	愛知	下込貞司 峰歩美 與猶くるみ 城口優里花	富山	麦谷正二 高橋沙也加 古西佳那子 中尾佳淑

第６６回　平成２３年　おいでませ！山口国体　山口県　光市総合体育館（総合優勝　埼玉県・東京都）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	東京	坂本修一 池田雄一 藤田真生 毟畑亮太	富山	荒木純 小財和樹 黒瀬尊敏 銭谷翔	山口	大東真也 山平直樹 松尾光平 米本優樹
成年女子	石川	毛利達彦 三谷美菜津 伊東可奈 樽野恵	岐阜	尾藤伸治 脇田侑 梅津知恵 江藤理恵	秋田	原田利雄 楠瀬由佳 馬上愛実 下﨑彩
少年男子	福島	大堀均 齋藤太一 桃田賢斗 松居圭一郎	埼玉	大屋貴司 古賀輝 井上拓斗 金子祐樹	東京	小林重徳 関口直挙 森田努 吉川英太郎
少年女子	青森	藤田真人 福島由紀 篠谷菜留 窓場由加奈	埼玉	大高史夫 小橋霞 奥原希望 渡邉あかね	石川	車浩明 芝野真由 木村百花 星千智

第６７回　平成２４年　ぎふ清流国体　岐阜県　池田町総合体育館（総合優勝　埼玉県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	埼玉	中條 彪 山田 和司 遠藤 大由 上田 拓馬	富山	荒木 純 園田 啓悟 嘉村 健士 武下 利一	千葉	野村 和弘 竹内 宏気 大越 泉 松丸 一輝
成年女子	岐阜	尾藤 伸治 後藤 愛 脇田 侑 江藤 理恵	東京	岩田 良子 今別府 靖代 田村 千秋 土井 杏奈	石川	毛利 達彦 伊東 可奈 樽野 恵 三谷 美菜津
少年男子	埼玉	大屋 貴司 井上 拓斗 金子 祐樹 西本 拳太	福島	大堀 均 桃田 賢斗 松居 圭一郎 保木 卓朗	滋賀	仲尾 修一 河崎 駿輔 三津川 剛史 宮 雄大
少年女子	埼玉	山田 秀樹 奥原 希望 渡邉 あかね 中西 貴映	青森	藤田 真人 永田 麗 中村 恭子 宮浦 玲奈	富山	松田 高幸 山口 ソヨカ 松田 蒼 野上 碧水

第６８回　平成２５年　スポーツ祭東京２０１３　東京都　町田市立総合体育館（総合優勝　埼玉県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	富山	荒木 純 佐々木 翔 園田 啓悟 嘉村 健士	埼玉	中西 洋介 遠藤 大由 山田 和司 和田 周	東京	坂本 修一 数野 健太 上田 拓馬 早川 賢一
成年女子	東京	清水 文武 髙橋 礼華 松友 美佐紀 土井 杏奈	熊本	吉冨 桂子 峰 歩美 福島 由紀 廣田 彩花	岐阜	山田 青子 脇田 侑 江藤 理恵 山本 紗梛
少年男子	埼玉	大屋 貴司 五十嵐 優 中里 裕貴 小野寺 裕介	大阪	有田 圭一 下農 走 常山 幹太 疋田 聖也	福岡	成富 勝彦 成富 勇太 原口 拓巳 馬場 湧生
少年女子	青森	藤田 真人 宮浦 玲奈 永田 麗 永原 和可那	埼玉	山田 秀樹 中西 貴映 清水 望 川島 里羅	富山	越田 芳成 松田 蒼 金浦 紗樹 中村 幸

第６９回　平成２６年　長崎がんばらんば国体　長崎県　長崎市民会館（総合優勝　埼玉県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	石川	長谷川 進 伊東 克範 坂井 一将 小林 晃	北海道	小倉 隆司 竹村 純 佐々木 翔 島田 大輝	東京	坂本 修一 数野 健太 垰畑 亮太 堀内 研人
成年女子	熊本	今井 彰宏 伊東 可奈 福島 由紀 廣田 彩花	兵庫	酒井 将之 大迫 晴加 平野 華梨 杉野 文保	東京	内藤 祐輔 土井 杏奈 鈴木 温子 板垣 有紀
少年男子	大阪	有田 圭一 下農 走 小倉 由嵩 常山 幹太	埼玉	大屋 貴司 玉手 勝輝 中田 政秀 渡邉 航貴	福島	大堀 均 古賀 穂 渡辺 勇大 三橋 健也
少年女子	福島	本多 裕樹 大堀 彩 東野 有紗 川上 紗恵奈	青森	藤田 真人 安田 美空 園田 絵里奈 荒木 茜羽	埼玉	堂下 智寛 川島 里羅 尾崎 沙織 西口 涼子

第７０回　平成２７年　紀の国わかやま国体　和歌山県　岩出市立市民総合体育館（総合優勝　福島県）

順位／種別	1位		2位		3位	
成年男子	福島	二瓶良 内藤浩司 齋藤太一 松居圭一郎	埼玉	田部井秀郎 松丸一輝 堀内研人 古雅輝	宮城	諸多大輔 堀川善生 鈴木大裕 大田圭祐
成年女子	熊本	今井彰宏 伊東可奈 福島由紀 廣田彩花	秋田	原田利雄 楠瀬由佳 米元小春 田中志穂	東京	内藤祐輔 土井杏奈 鈴木温子 仲井由紀乃
少年男子	福島	大堀均 渡辺勇大 三橋健也 山澤直貴	岡山	松川大記 奥山晃輔 山下恭平 坂本泰晟	埼玉	大屋貴司 小川佳汰 森岡秀斗 渡邉航貴
少年女子	福井	小林陽年 鈴木咲貴 山口茜 西江彩花	埼玉	上田敏之 齋藤栞 高畑祐紀子 川島美南	千葉	高瀬秀雄 小野菜保 大家夏稀 桃井伶実

第７１回　平成２８年　希望郷いわて国体　岩手県　北上総合体育館　（総合優勝　　）

順位／種別	1位	2位	3位
成年男子			
成年女子			
少年男子			
少年女子			

競技記録

種　　別：（　成年男子 / 成年女子 / 少年男子 / 少年女子　）
試合番号：

	都道府県		―		都道府県
種目	選　手　名		ス　コ　ア		選　手　名
複			― ― ―		
単1			― ― ―		
単2			― ― ―		

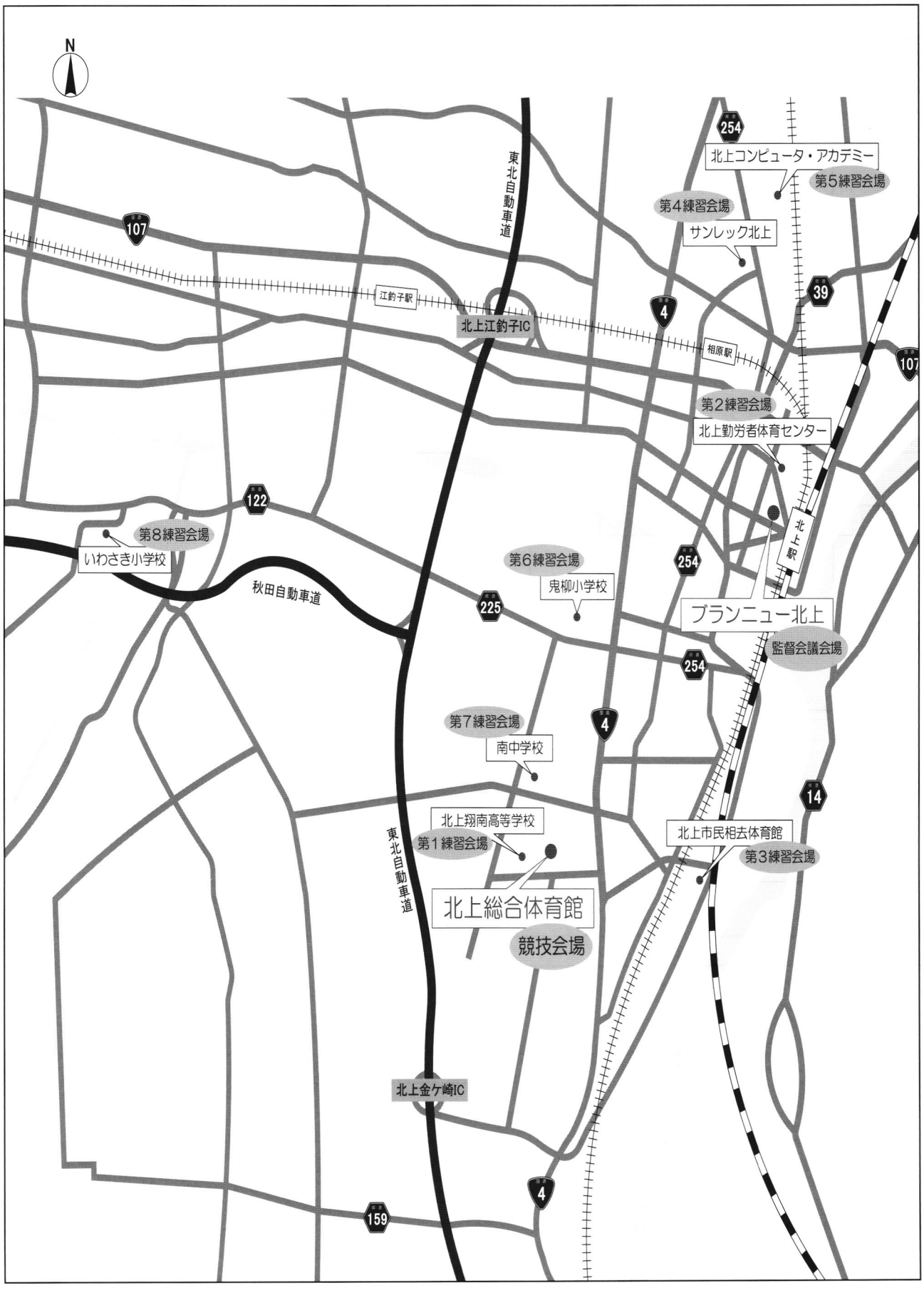
種　　別：（　成年男子 / 成年女子 / 少年男子 / 少年女子　）
試合番号：

	都道府県		―		都道府県
種目	選　手　名		ス　コ　ア		選　手　名
複			― ― ―		
単1			― ― ―		
単2			― ― ―		

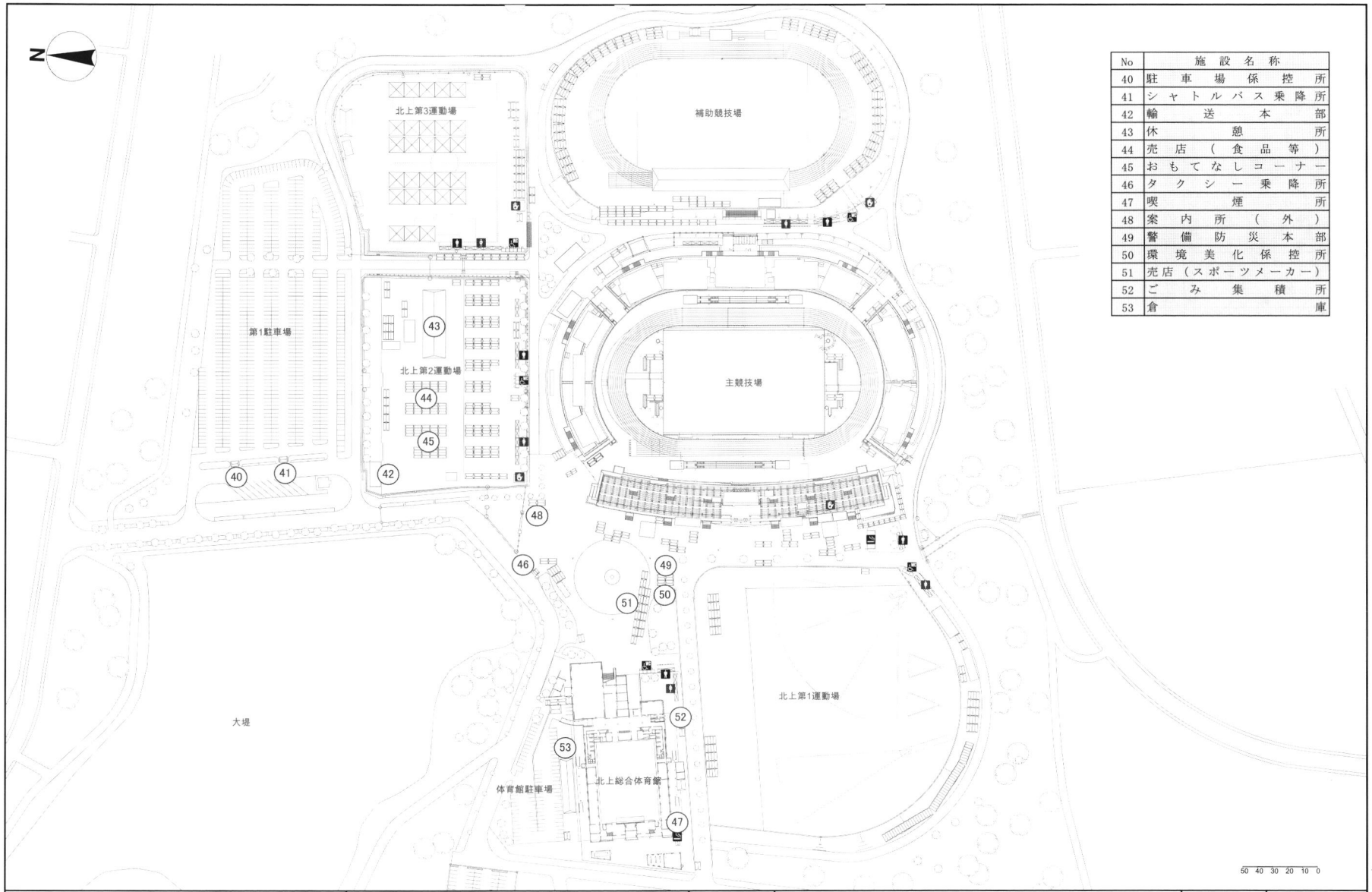
種　　別：（　成年男子 / 成年女子 / 少年男子 / 少年女子　）
試合番号：

	都道府県		―		都道府県
種目	選　手　名		ス　コ　ア		選　手　名
複			― ― ―		
単1			― ― ―		
単2			― ― ―		

競技会場・練習会場案内図



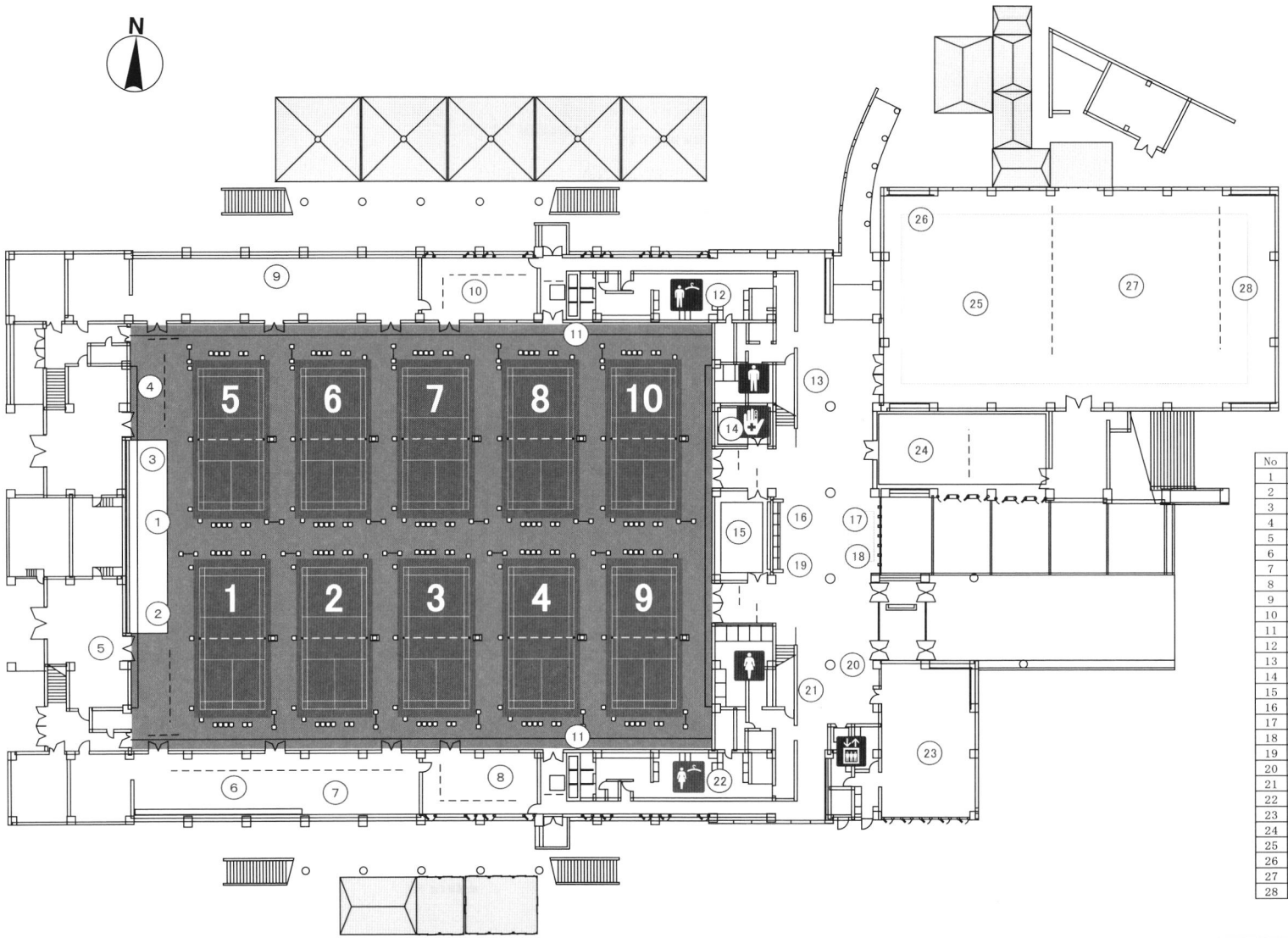
競技会場配置図



No	施設名称
40	駐車場係控所
41	シャトルバス乗降所
42	輸送本部
43	休憩所
44	売店（食品等）
45	おもてなしコーナー
46	タクシー乗降所
47	喫煙所
48	案内所（外）
49	警備防災本部
50	環境美化係控所
51	売店（スポーツメーカー）
52	ごみ集積所
53	倉庫

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会 北上市実行委員会	2016 希望郷 いわて国体 第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。	競技名	第71回国民体育大会 バドミントン競技	縮尺	1 / 2,200 (A3)
		図面名	競技会場全体図	更新日	2016/09/06

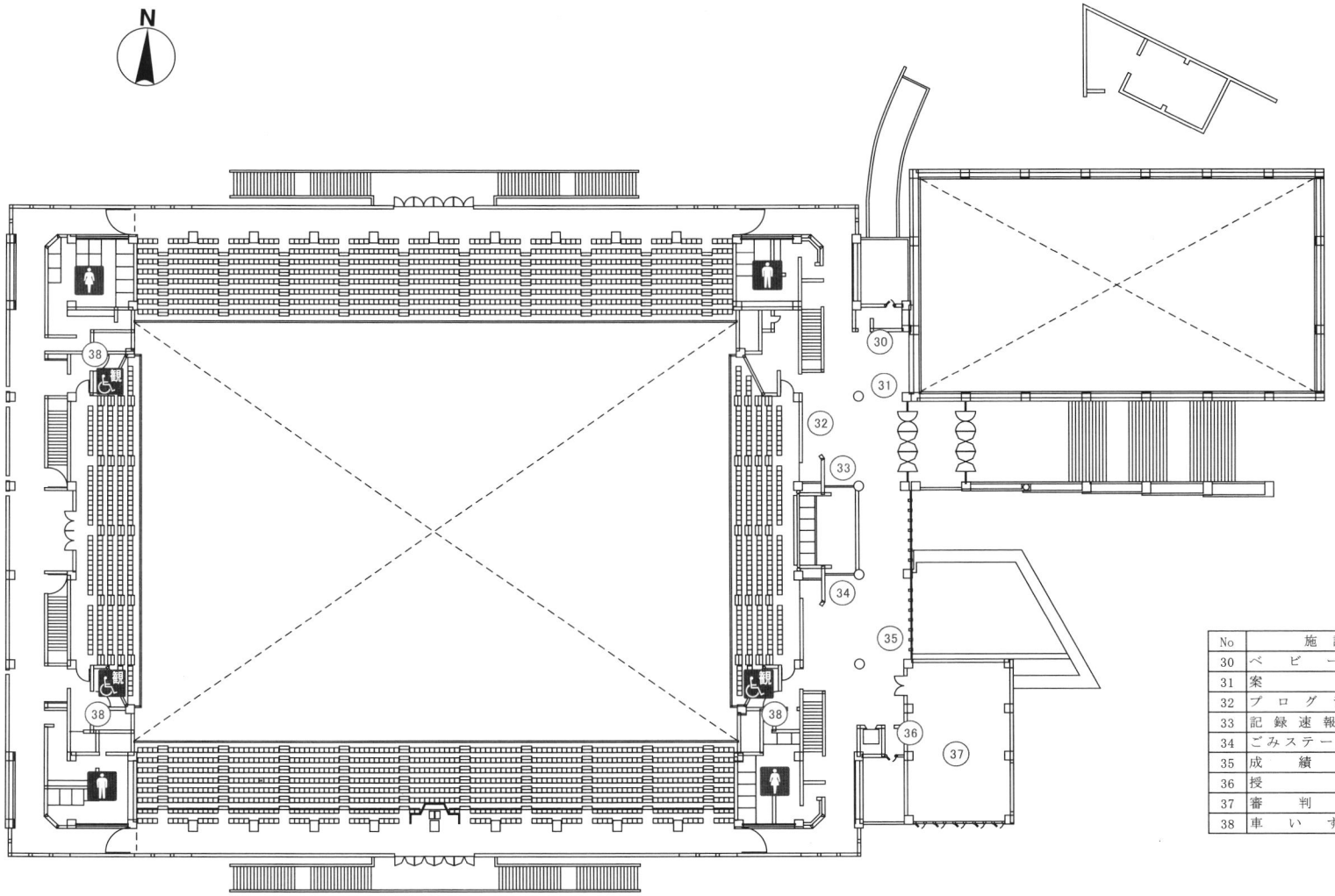
競技会場配置図（1F）



No	施設名称
1	競技会役員席
2	進行・放送席
3	救護席
4	審判待機所
5	競技本部・記録本部
6	ボランティア控所
7	実施本部
8	オーダー交換所
9	線審・競技補助員控室
10	競技役員控室
11	フィッティングルーム
12	男子更衣室
13	ごみステーション（1階）
14	救護室
15	来賓控室
16	記録速報所（1階）
17	ドリンクコーナー
18	弁当引換所
19	競技役員受付
20	関係者受付
21	インタビューコーナー
22	女子更衣室
23	施設管理者事務室
24	視察・報道員控室
25	選手集合所
26	競技用具引渡所
27	選手監督控所
28	トレーナーベッド

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会 北上市実行委員会	2016 希望郷 いわて国体 第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。	大会名	第71回国民体育大会　バドミントン競技	縮　尺	1 / 350 (A3)
		図面名	競技会場配置図　1F	更新日	2016/07/23

競技会場配置図（2F）



No	施設名称
30	ベビールーム
31	案内所
32	プログラム販売所
33	記録速報所（2階）
34	ごみステーション（2階）
35	成績表示板
36	授乳室
37	審判員控室
38	車いす観覧席

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会 北上市実行委員会	2016 希望郷 いわて国体 第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。	大会名	第71回国民体育大会 バドミントン競技	縮尺	1 / 350 (A3)
		図面名	競技会場配置図 2F	更新日	2016/07/23

練習会場の使用について

1　練習会場一覧

会場番号	練習会場名	コート数	会場住所
1	岩手県立北上翔南高等学校第1・第2体育館	6	北上市相去町高前檀13番地
2	北上勤労者体育センター	6	北上市幸町1番地30
3	北上市民相去体育館	3	北上市相去町小糠沢19番地
4	サンレック北上	3	北上市常盤台二丁目1番33号
5	北上コンピュータ・アカデミー体育館	3	北上市藤沢22地割123番地1
6	北上市立鬼柳小学校体育館	3	北上市鬼柳町都鳥35番地
7	北上市立南中学校体育館	3	北上市相去町滝の沢7番地2
8	北上市立いわさき小学校体育館	4	北上市和賀町岩崎18地割53番地3

2　練習会場使用方法

（1）練習会場の開設日時、チーム指定、予約練習、自由練習の詳細は、「練習会場使用日程表」をご確認ください。なお、電話による練習会場使用の事前予約は受付していません。大会期間中は、練習会場に行き受付をしてください。

（2）各練習会場には、受付を設けておりますので、受付後、係員の指示に従い練習を行ってください。

（3）練習時間は、チーム指定、予約練習、自由練習ともに原則として１チーム１コート１時間 30 分とします（早朝の時間帯のみ 7:30～8:30 の１時間。）。ただし、空きコートの待ちチームがない場合は、練習終了後、再受付により引き続き使用できます。

チーム指定	各試合毎に練習会場、コート、時間が指定されています。指定チーム以外は、コートが空いていても練習はできません。 （練習会場使用日程表表示例：Ｍ１→成年男子試合番号１）
予約練習	事前に予約申し込みをし、割り当てられたチームのみ練習ができます。ただし、コートに空きがあれば、当日受付により先着順で練習できます。 （練習会場使用日程表表示例：予約練習）
自由練習	コートに空きがあれば、当日受付により先着順で練習できます。 （練習会場使用日程表表示例：自由練習）

3　練習会場使用上の注意点

（1）各練習会場には、それぞれの会場の注意点がありますので、次ページ以降の概要図にあります「会場使用上の注意」をご確認の上、ご利用ください。練習会場は学校施設が多く、平日は通常通り授業が実施されておりますので、ご協力をお願いします。

（2）貴重品のほか個人及びチームの所有物は、各自及びチームで責任をもって保管してください。また、下足も各自で保管するようにお願いいたします。

（3）ゴミは各自でお持ち帰りください。

練習会場　使用日程表

			第1練習会場						第2練習会場						第3練習会場			第4練習会場			第5練習会場			第6練習会場			第7練習会場			第8練習会場			
			岩手県立北上翔南高等学校						北上勤労者体育センター						北上市民相去体育館			サンレック北上			北上コンピュータ・アカデミー体育館			北上市立鬼柳小学校体育館			北上市立南中学校体育館			北上市立いわさき小学校体育館			
			第1体育館			第2体育館																											
			1	2	3	4	5	6	1	2	3	4	5	6	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	4
9月29日	木	14:00～15:30	閉鎖						予約練習						閉鎖			予約練習			予約練習			予約練習			予約練習			予約練習			
		15:30～17:00																															
9月30日	金	9:30～11:00	閉鎖						予約練習						予約練習			予約練習			予約練習			予約練習			予約練習			予約練習			
		11:00～12:30																															
		12:30～14:00																															
		14:00～15:30																															
		15:30～17:00																															
10月1日	土	総合開会式	総合開会式のため練習会場閉鎖																														
10月2日	日	7:30～8:30	G1	G1	G2	G2	G3	G3	G4	G4	G5	G5	G6	G6	G7	G7	予約練習																
		8:30～10:00	G8	G8	G9	G9	G10	G10	G11	G11	G12	G12	G13	G13	G14	G14		G15	G15	予約練習	予約練習			予約練習			予約練習			予約練習			
		10:00～11:30	M1	M1	M2	M2	M3	M3	M4	M4	M5	M5	M6	M6	M7	M7		M8	M8														
		11:30～13:00	M9	M9	M10	M10	M11	M11	M12	M12	M13	M13	M14	M14	M15	M15		M16	M16														
		13:00～14:30	G16	G16	G17	G17	G18	G18	G19	G19	G20	G20	G21	G21	G22	G22		G23	G23														
		14:30～16:00	G24	G24	G25	G25	G26	G26	G27	G27	G28	G28	G29	G29	G30	G30		G31	G31														
10月3日	月	7:30～8:30	B1	B1	B2	B2	B3	B3	B4	B4	B5	B5	B6	B6	B7	B7	自由練習	B8	B8	自由練習							閉鎖			閉鎖			
		8:30～10:00	W1	W1	W2	W2	W3	W3	W4	W4	W5	W5	W6	W6	W7	W7		W8	W8		自由練習			自由練習									
		10:00～11:30	M17	M17	M18	M18	M19	M19	M20	M20	M21	M21	M22	M22	M23	M23		M24	M24														
		11:30～13:00	G32	G32	G33	G33	G34	G34	G35	G35	G36	G36	G37	G37	G38	G38		G39	G39														
		13:00～14:30	自由練習						自由練習						自由練習			自由練習															
10月4日	火	7:30～8:30	B9	B9	B10	B10	B11	B11	B12	B12	W9	W9	W10	W10	W11	W11	自由練習	W12	W12	自由練習	閉鎖			閉鎖			閉鎖			閉鎖			
		8:30～10:30	M25	M25	M26	M26	M27	M27	M28	M28	G40	G40	G41	G41	G42	G42		G43	G43														
		10:30～12:30	閉鎖						B13	B13	B14	B14	W13	W13	W14	W14		閉鎖															
		12:30～14:30							M29	M29	M30	M30	G44	G44	G45	G45																	
		14:30～16:00							自由練習						自由練習																		
10月5日	水	7:30～8:30	閉鎖						W15	W15	M31	M31	G46	G46	B15	B15	自由練習	閉鎖			閉鎖			閉鎖			閉鎖			閉鎖			
		8:30～10:00							W16	W16	M32	M32	G47	G47	B16	B16																	
		10:00～							閉鎖						閉鎖																		

※予約練習は事前申し込みしたチームが使用できるコートですが、空いていれば当日受付により自由練習コートとして使用可能です。

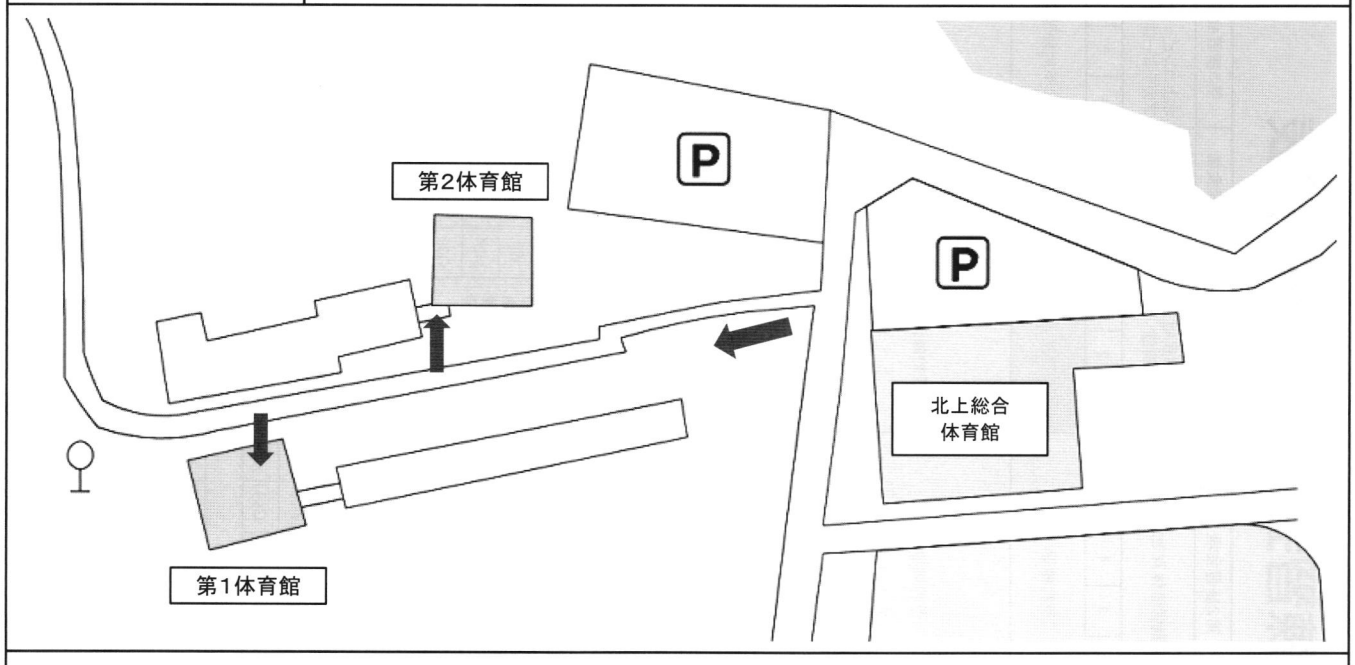
※G1～47、M1～32、B1～16、W1～16は練習チームを指定するコートです。(G:少年女子、M:成年男子、B:少年男子、W:成年女子)

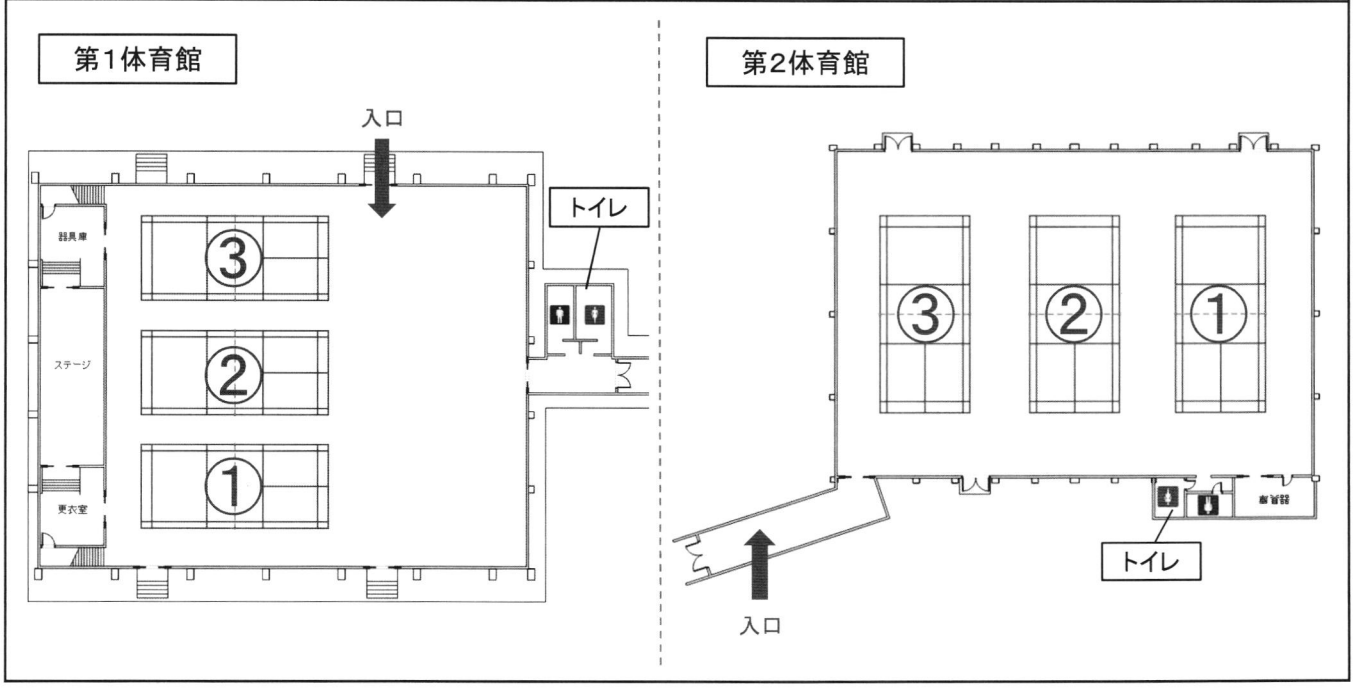
第１練習会場【岩手県立北上翔南高等学校第１・第２体育館】

練習会場所在地　　北上市相去町高前檀13番地

【会場使用上の注意】

駐　車　場	北上総合運動公園の駐車場に駐車し、徒歩で来場ください。（タクシーも運動公園で乗降のこと。）
喫 煙 場 所	敷地内は全面禁煙です。喫煙は敷地外でお願いいたします。 なお、敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	併設されたトイレを使用してください。 更衣室はありません。器具室を代用してください。
水分補給・食事	館内での食事は禁止です。 館内はフタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	授業の妨げとならないよう、私語は控えるようにご協力をお願いいたします。



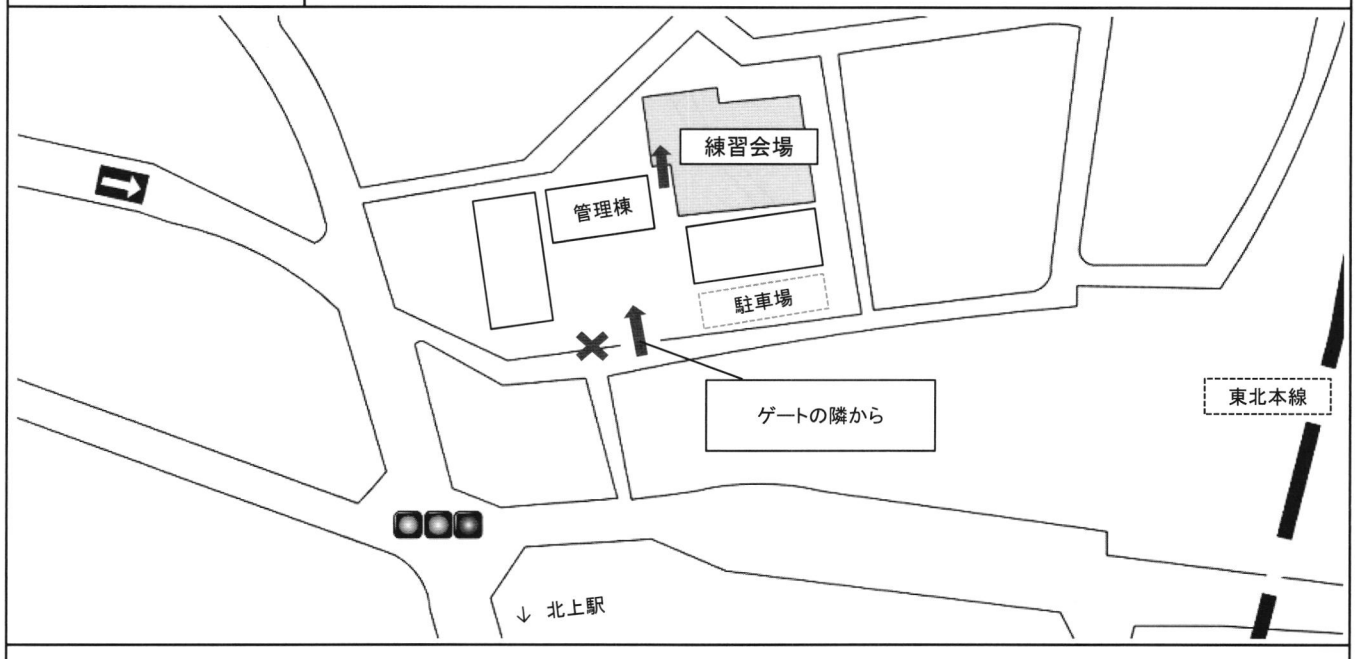


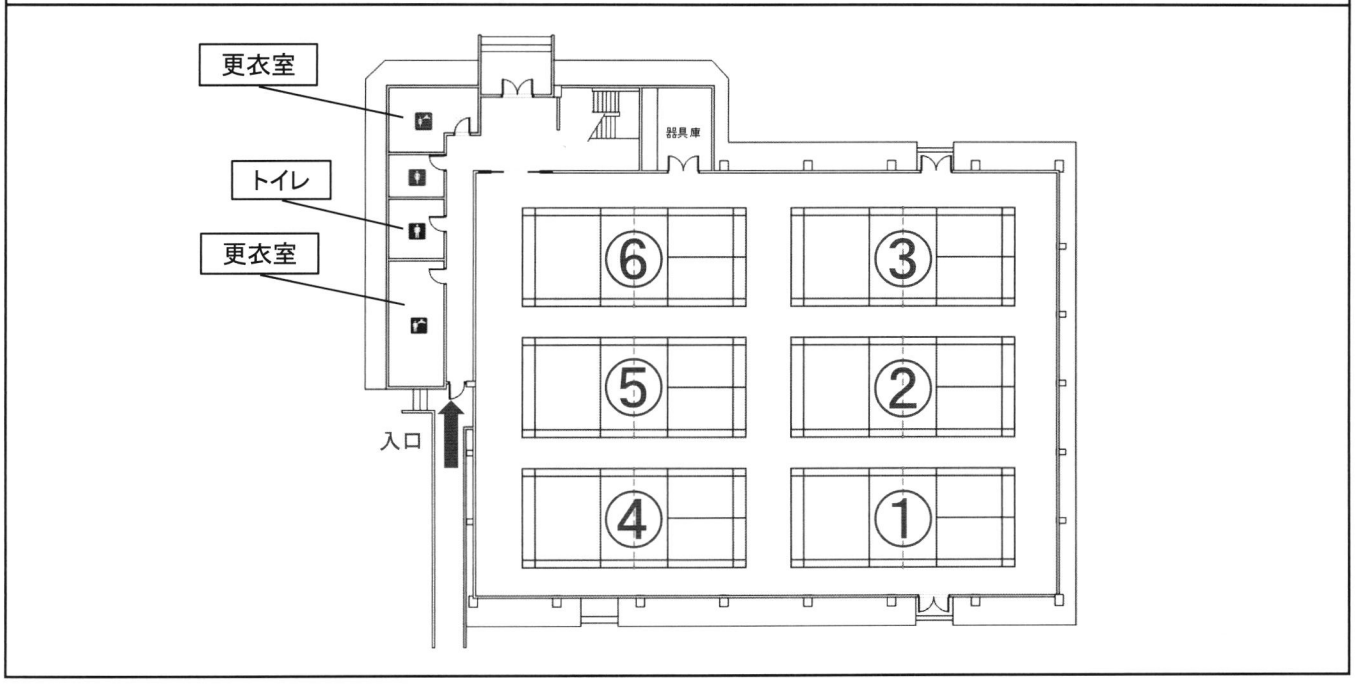
第２練習会場【北上勤労者体育センター】

練習会場所在地　　北上市幸町１番地30

【会場使用上の注意】

駐　車　場	駐車場をご利用ください。
喫 煙 場 所	敷地内は全面禁煙です。喫煙は敷地外でお願いいたします。 なお、敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	他の建物への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	併設されたトイレを使用してください。 併設された更衣室を使用してください。
水分補給・食事	館内での食事は禁止です。 館内はフタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	他の施設利用者の利用の妨げとならないようにご協力をお願いいたします。



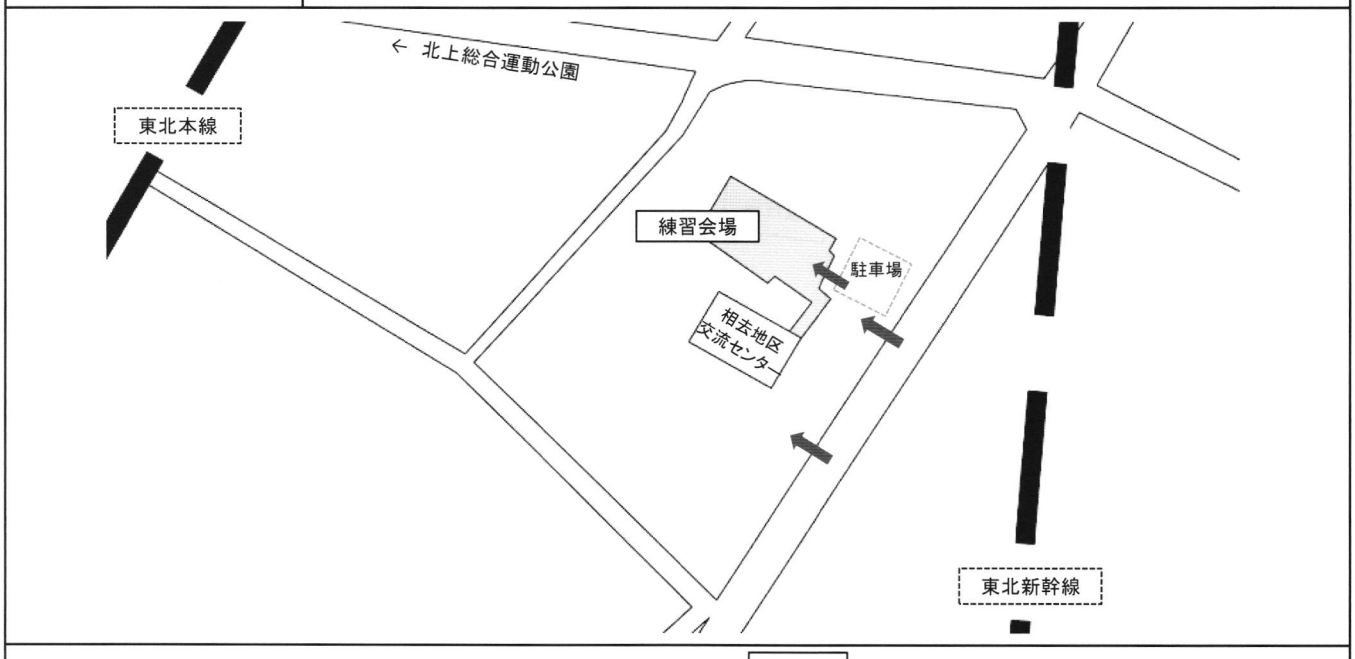


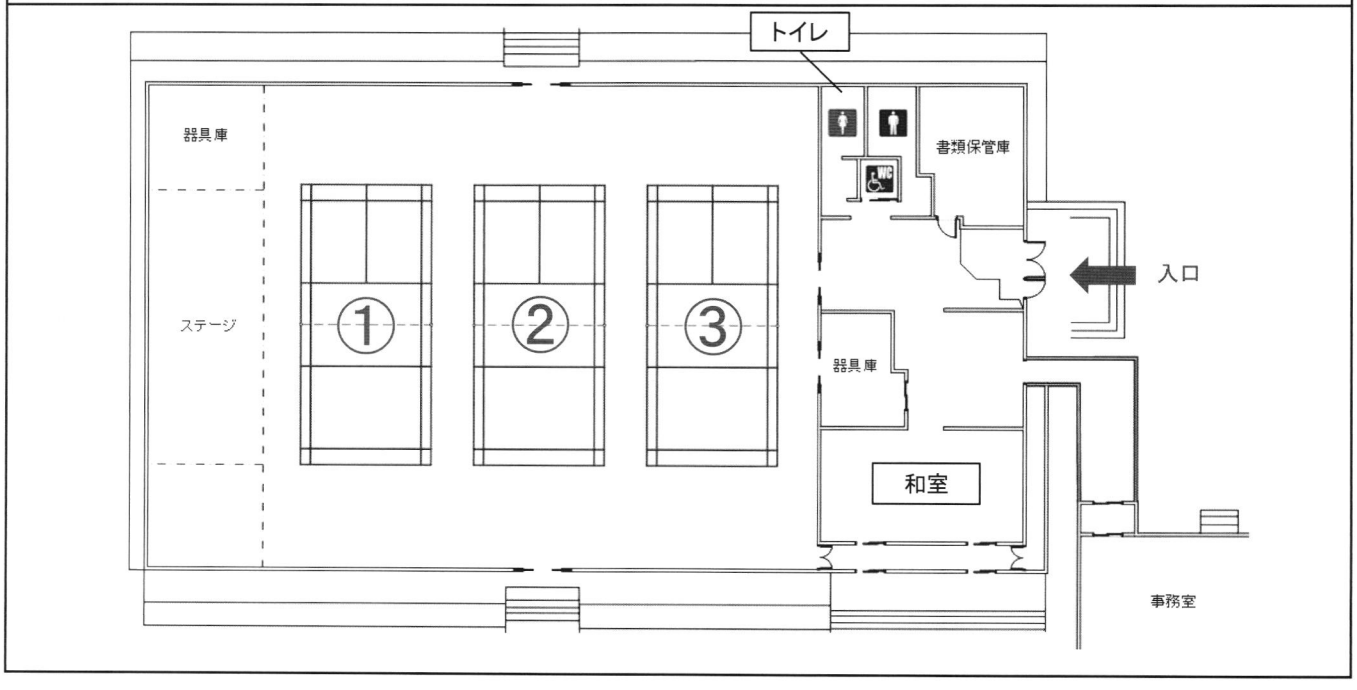
第３練習会場【北上市民相去体育館】

練習会場所在地　　北上市相去町小糠沢19番地

【会場使用上の注意】

駐　車　場	駐車場をご利用ください。
喫 煙 場 所	敷地内は全面禁煙です。喫煙は敷地外でお願いいたします。 なお、敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	併設されたトイレを使用してください。 更衣室はありません。和室を代用してください。
水分補給・食事	館内での食事は禁止です。 館内はフタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	他の施設利用者の利用の妨げとならないようにご協力をお願いいたします。



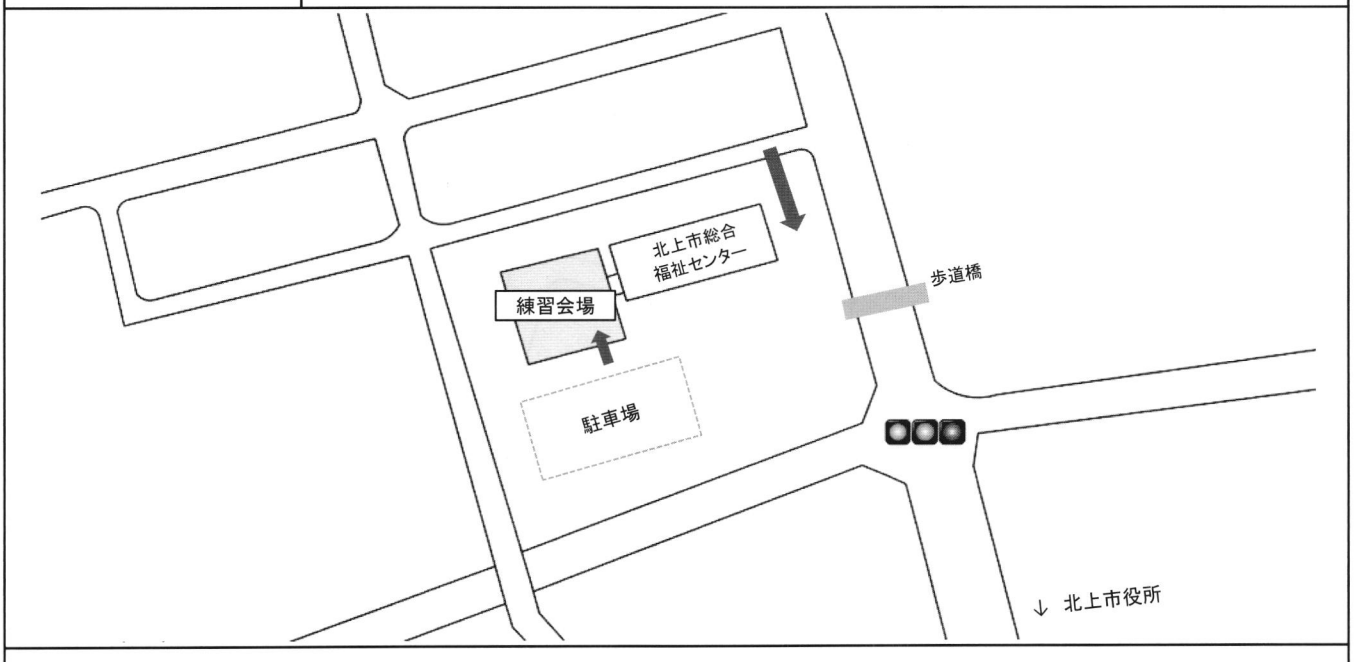


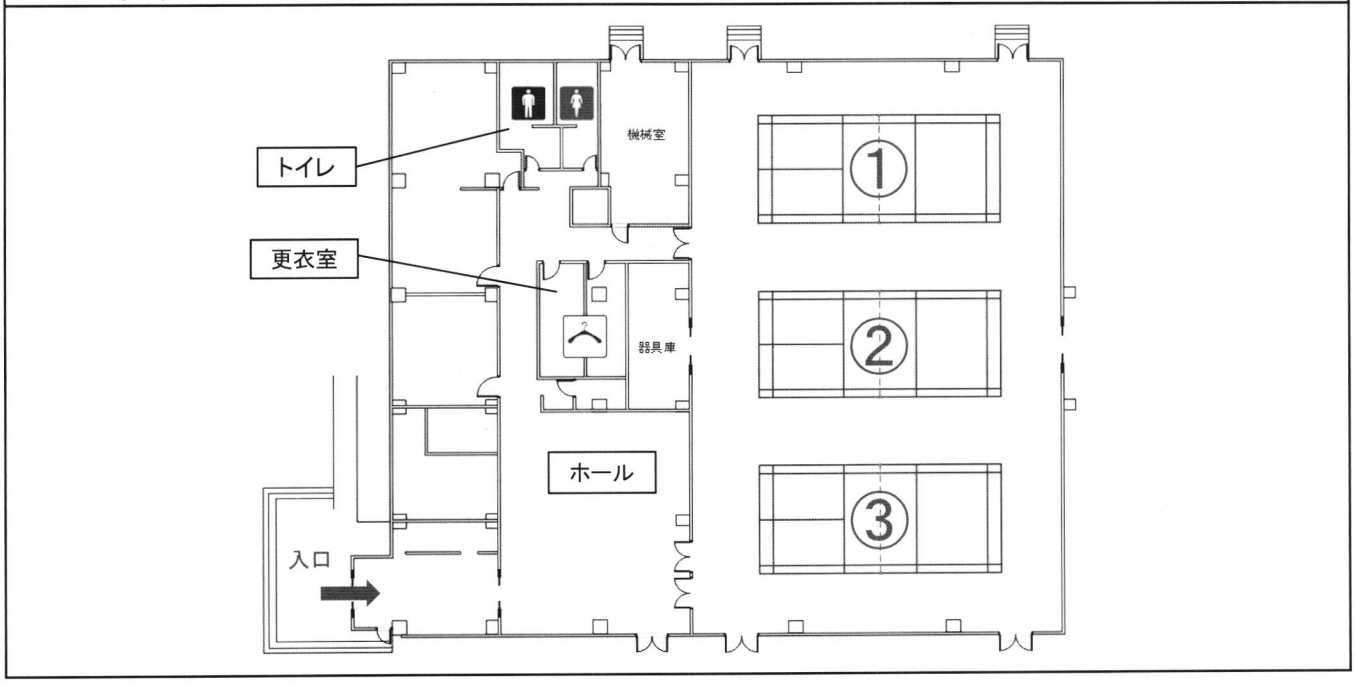
第４練習会場【サンレック北上】

練習会場所在地　　北上市常盤台二丁目１番33号

【会場使用上の注意】

駐　車　場	駐車場をご利用ください。
喫 煙 場 所	敷地内は全面禁煙です。喫煙は敷地外でお願いいたします。 なお、敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	併設されたトイレを使用してください。 併設された更衣室を使用してください。
水分補給・食事	館内での食事はホールでのみ可能です。 館内はフタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	他の施設利用者の利用の妨げとならないようにご協力をお願いいたします。



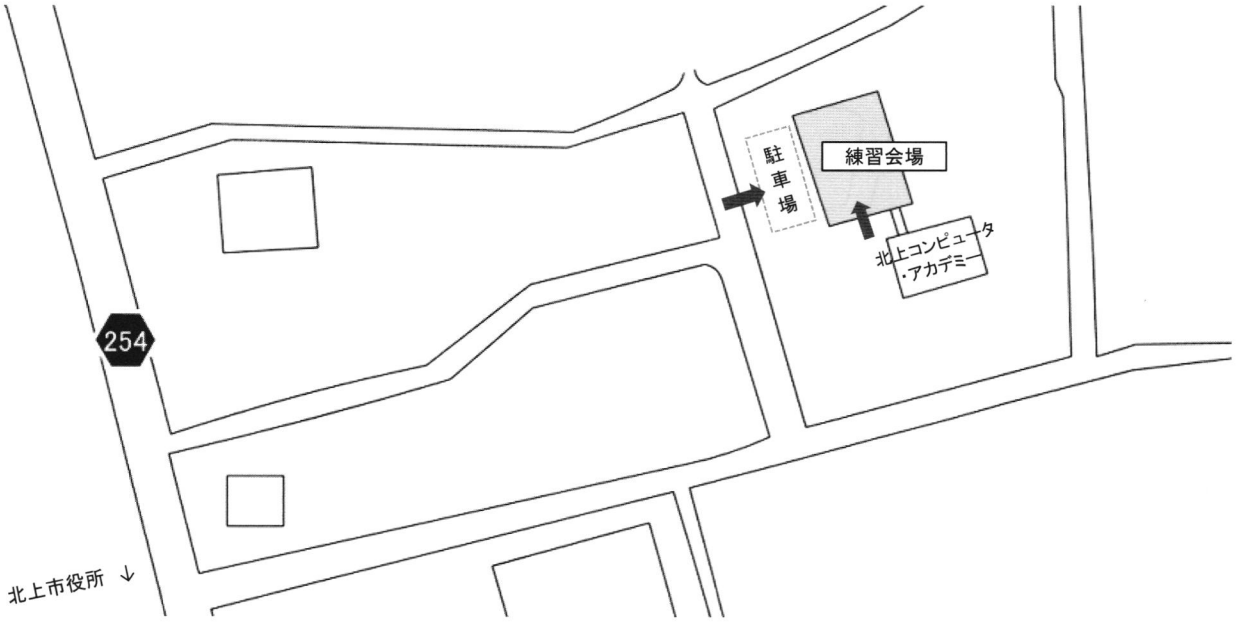


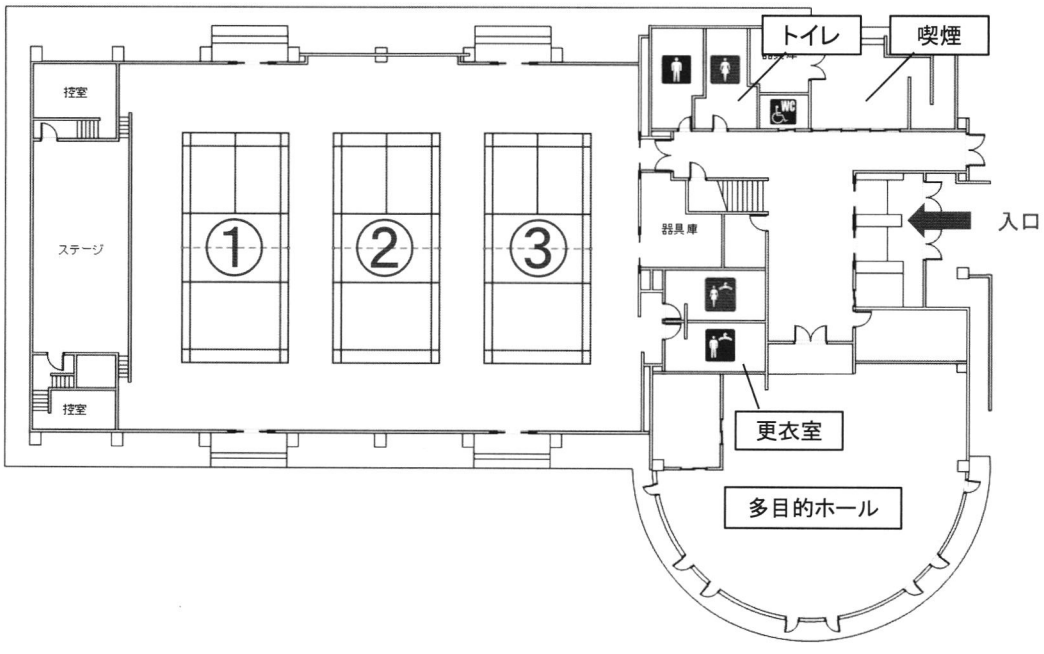
第5練習会場【北上コンピュータ・アカデミー体育館】

練習会場所在地　　北上市藤沢22地割123番地1

【会場使用上の注意】

駐　車　場	駐車場をご利用ください。
喫 煙 場 所	喫煙は指定の喫煙所でお願いいたします。 なお、吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	併設されたトイレを使用してください。 併設された更衣室を使用してください。
水分補給・食事	館内での食事は多目的ホールでのみ可能です。 館内はフタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	他の施設利用者の利用の妨げとならないようにご協力をお願いいたします。



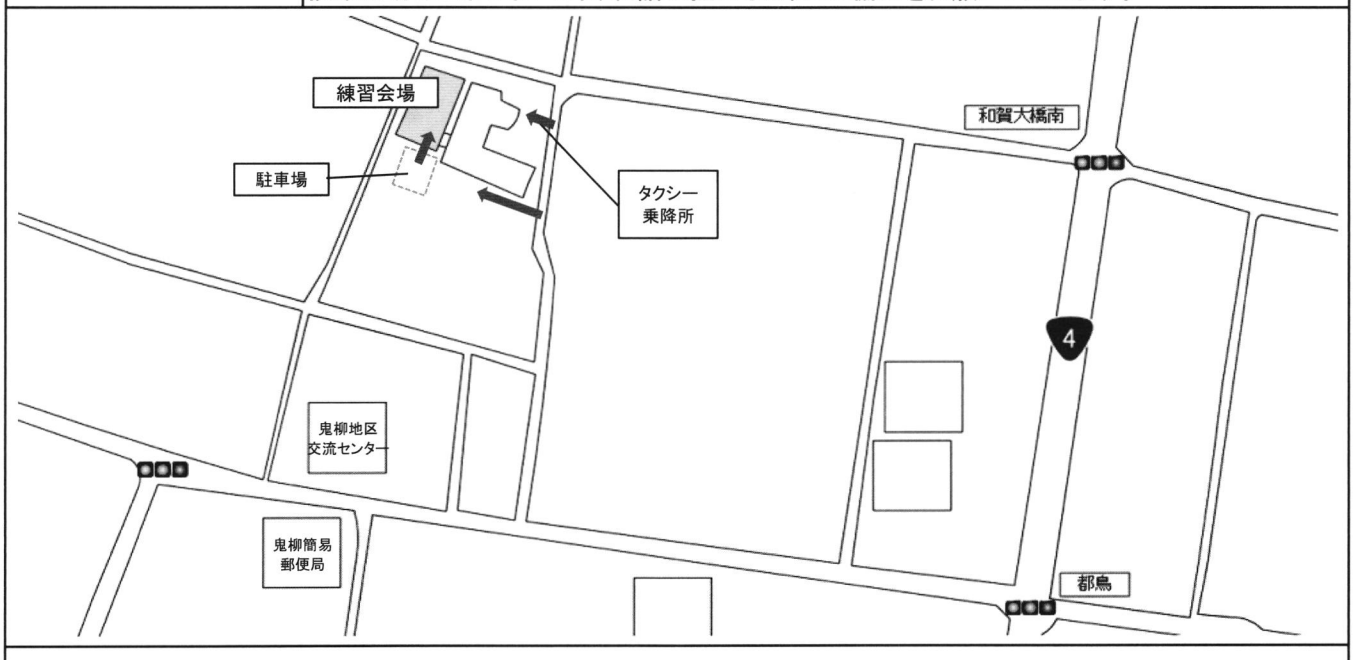


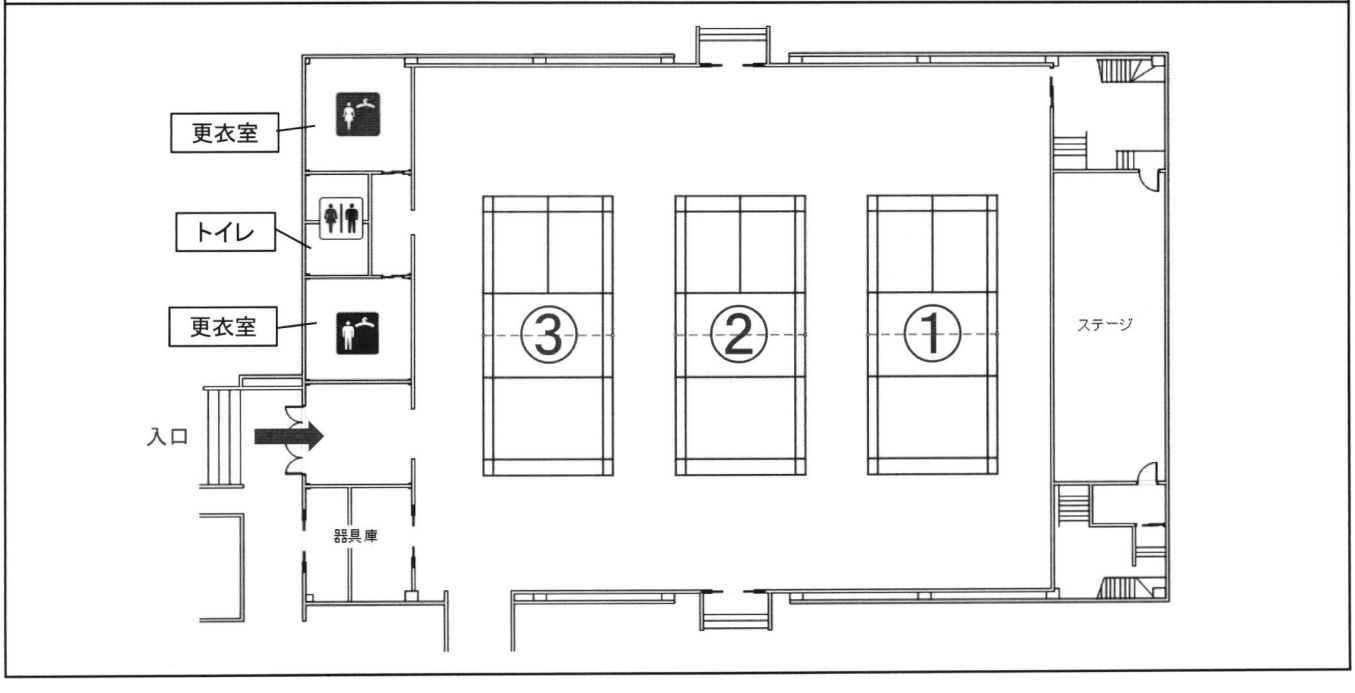
第６練習会場【北上市立鬼柳小学校体育館】

練習会場所在地　　北上市鬼柳町都鳥35番地

【会場使用上の注意】

駐　車　場	駐車場をご利用ください。
喫 煙 場 所	敷地内は全面禁煙です。喫煙は敷地外でお願いいたします。 なお、敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	併設されたトイレを使用してください。 併設された更衣室を使用してください。
水分補給・食事	館内での食事は禁止です。 館内はフタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	自動車で来場の際は、事故が無いよう徐行をお願いいたします。 授業の妨げとならないよう、私語は控えるようにご協力をお願いいたします。



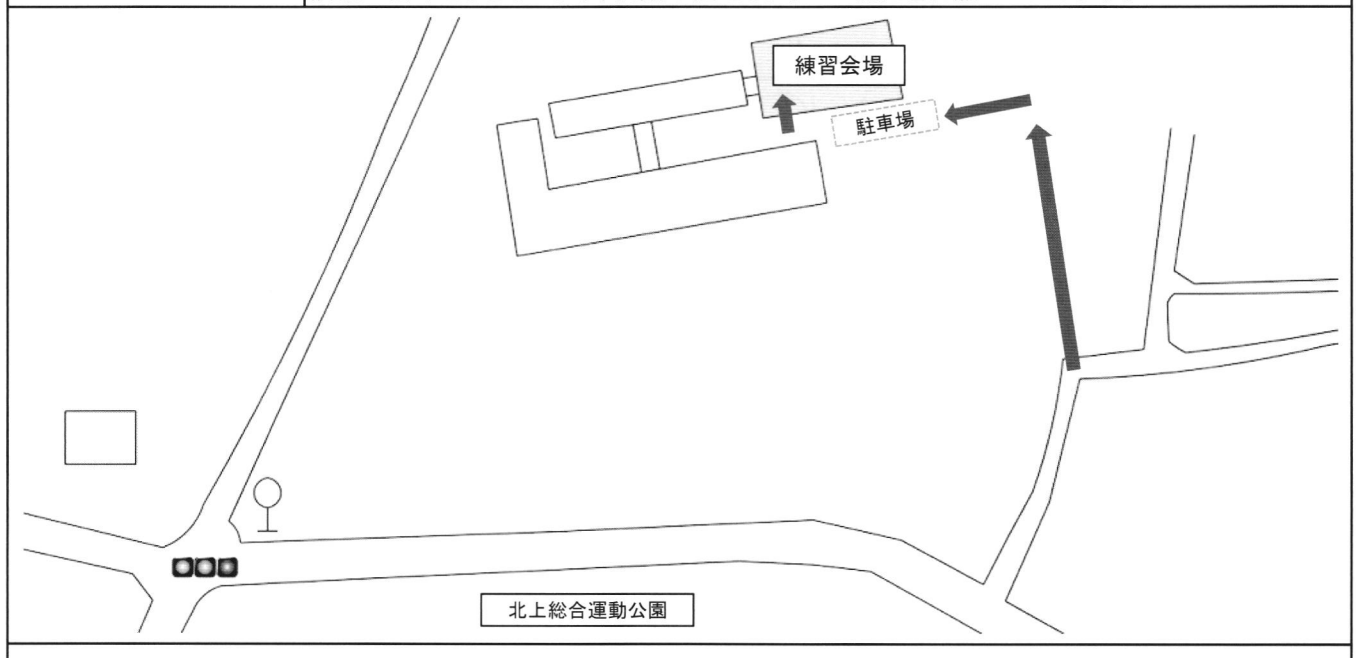


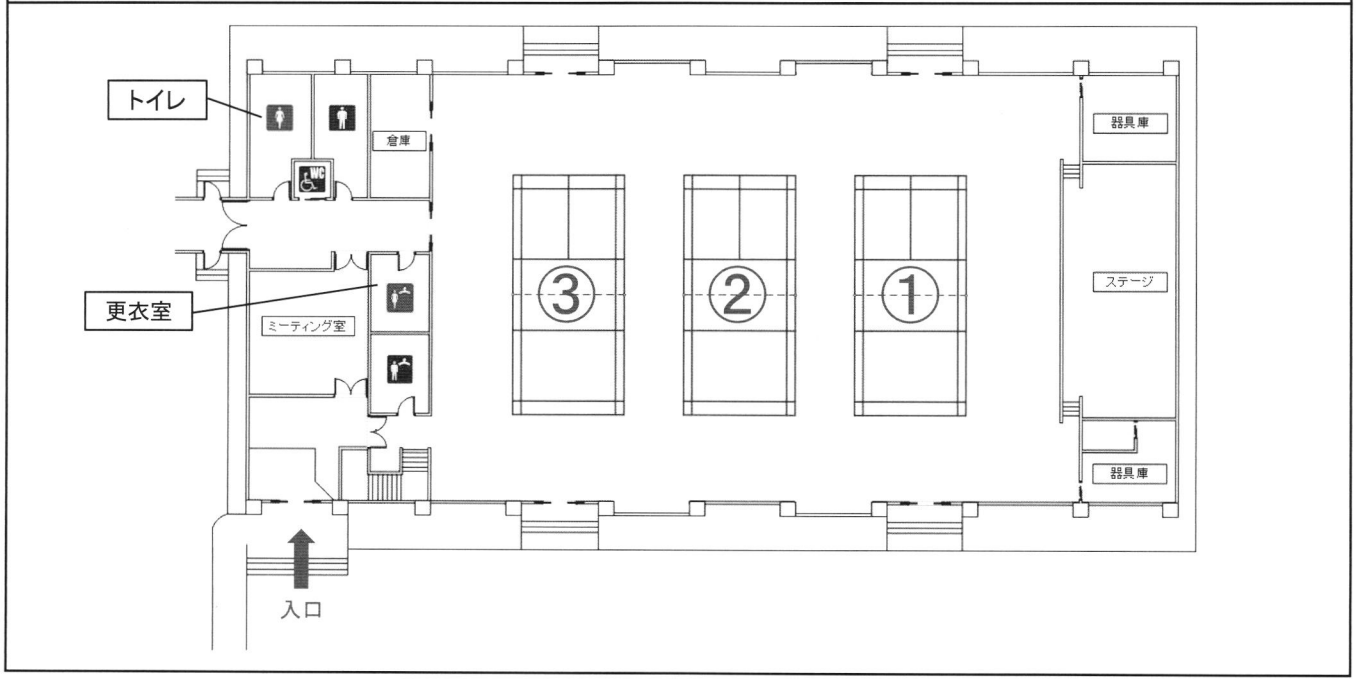
第7練習会場【北上市立南中学校体育館】

練習会場所在地　　北上市相去町滝の沢7番地2

【会場使用上の注意】

駐　車　場	駐車場をご利用ください。
喫 煙 場 所	敷地内は全面禁煙です。喫煙は敷地外でお願いいたします。 なお、敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	併設されたトイレを使用してください。 併設された更衣室を使用してください。
水分補給・食事	館内での食事はミーティング室内でのみ可能です。 館内はフタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	自動車で来場の際は、事故が無いよう徐行をお願いいたします。 授業の妨げとならないよう、私語は控えるようにご協力をお願いいたします。



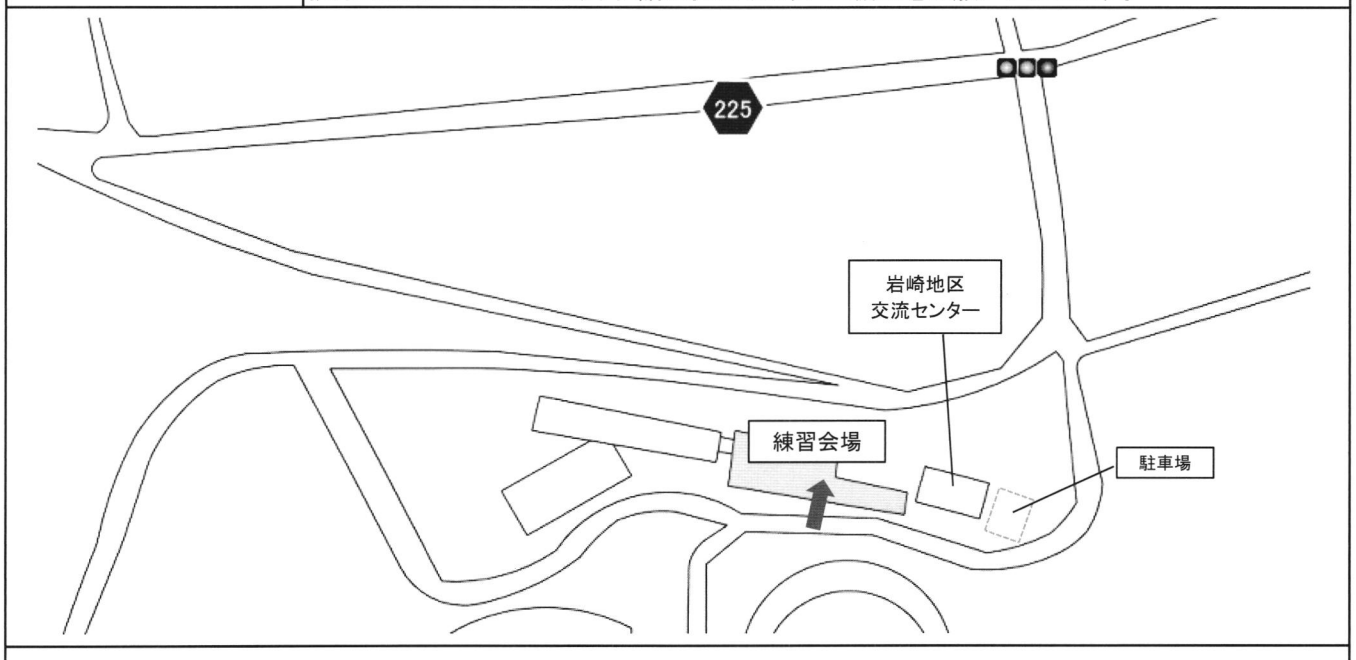


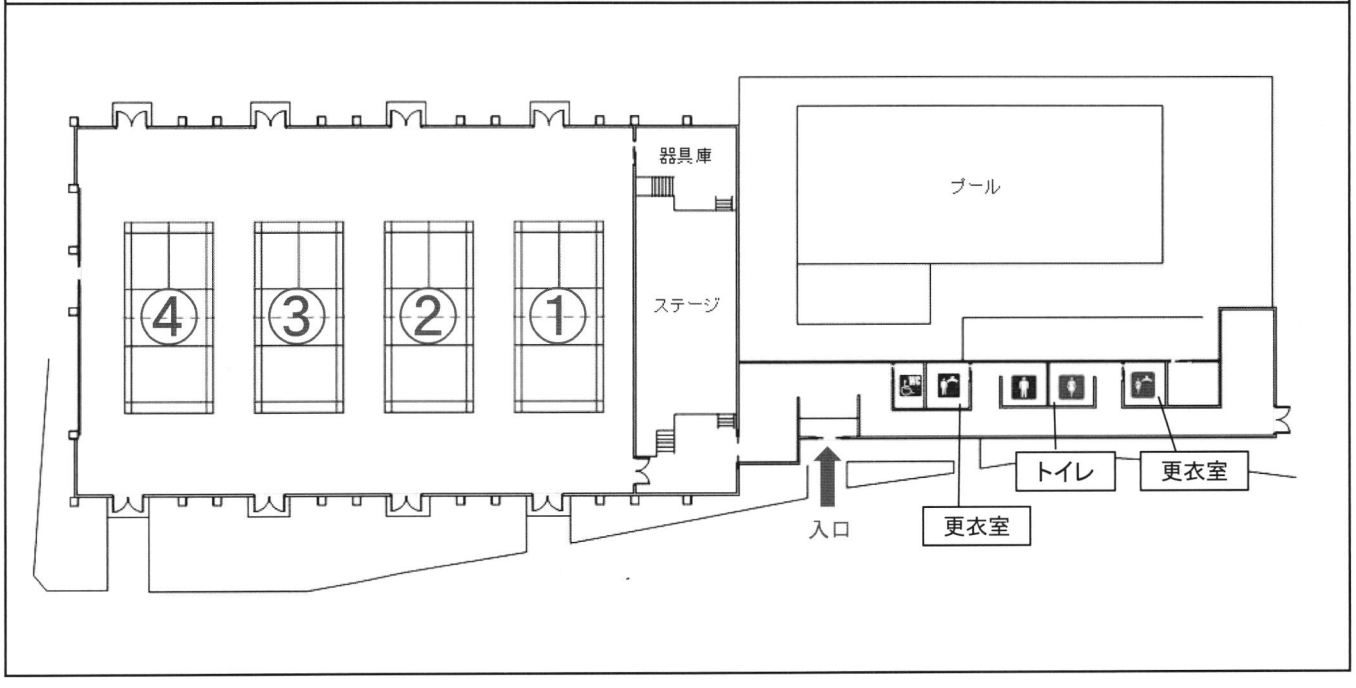
第8練習会場【北上市立いわさき小学校体育館】

練習会場所在地　　北上市和賀町岩崎18地割53番地3

【会場使用上の注意】

駐　車　場	体育館隣の岩崎地区交流センター駐車場をご利用ください。
喫 煙 場 所	敷地内は全面禁煙です。喫煙は敷地外でお願いいたします。 なお、敷地外での喫煙の際も吸殻等の投げ捨ては絶対にしないようにしてください。
立入禁止区域	体育館及び体育館への連絡通路以外への出入りは禁止です。
更衣室・トイレ	併設されたトイレを使用してください。 併設された更衣室を使用してください。
水分補給・食事	館内での食事は禁止です。 館内はフタが閉まる容器に入った飲み物のみ持ち込みができます。
その他注意事項	自動車で来場の際は、事故が無いよう徐行をお願いいたします。 授業の妨げとならないよう、私語は控えるようにご協力をお願いいたします。





競技上の注意

1　本競技会は、公益財団法人日本バドミントン協会「平成２８年度　競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程」により実施します。

2　オーダー用紙は、当該対抗戦開始時刻４５分前までに、監督がオーダー交換所へ提出し、交換すること。

しかし、４５分前の時点で前の対抗戦が継続している場合は、放送の指示により速やかに提出すること。指定時刻までに提出されない場合は「棄権」とみなされる場合があります。

（１）オーダー交換は、オーダー交換所で競技審判副部長の立ち合いのもと行います。

※予備のオーダー用紙は、オーダー交換所に用意してあります。

（２）オーダー用紙は、初戦対抗戦分を監督会議時に配布します。

（３）各対抗戦終了後、勝利チームに次試合用のオーダー用紙を主審から配布します。

3　勝敗は、２試合先取方式とし、勝敗決定後の残りの試合は打ち切ります。

4　監督・選手は、対抗戦開始予定時刻２０分前迄に選手集合所に集合完了して、招集委員の確認を受け、指示に従ってください。

ただし、その時点で前の対抗戦が継続している監督・選手は、放送により選手集合所に集合して、招集委員の確認を受け指示に従ってください。この場合、前の対抗戦が終了して２０分後に次の試合を開始する。

5　コートへの入退場については、主審の指示に従ってください。

6　コート入場後の公式練習は、試合ごとに、ダブルスはパートナー同士、シングルスは対戦者同士により、２分以内の練習を認めます。

7　シャトルは、公益財団法人日本バドミントン協会「第１種検定合格のシャトル」を使用します。また、シャトルは試打してありますので、銘柄等の選択変更には応じられません。

※使用中のシャトルの交換については、主審の許可を得てください。

8　インターバルは、競技規則第１６条第２項によります。

インターバル中、コートに入れるのは当該プレーヤーのほか、ベンチ入り出来る２名までとするが、「２０秒」のコールがなされたら、当該プレーヤー以外は速やかにコートから離れてください。

なお、第１ゲームと第２ゲームの間及び第２ゲームと第３ゲームの間並びに第３ゲームのインターバルでは、プレーヤーがエンドを替えた後に入るようにしてください。

9　同一選手による連続試合の場合は、ウエアの着替えのみを認めますが、その場合は必ず主審に申し出て、速やかにお願いします。

10　試合が遅れている場合は、コートを並行して試合を行うことがあります。
　※第２シングルス戦に同一選手が連続して試合を行う場合は、ダブルス戦の試合が終了して１０分後に開始します。

11　試合の進行状況により、コートを変更する場合があります。

12　試合中にコート内で事故が生じた場合、コートに入ることを許されるのは、競技役員長（レフェリー）または競技審判部長（デピュティレフェリー）が必要と認める医療役員・競技役員に限られています。

13　競技に際しては、上衣の背面中央（縦 15ｃｍ・横 30ｃｍ範囲以内）に、必ず都道府県名のみを明示（文字は、上衣の色と明確に区別できる文字色の漢字）してください。
　また、試合前の公式練習を含め、ベンチに控えている際にもチーム名の表示のある上衣を着用すること。監督も競技にふさわしい着装で臨むこと。〔公認審判員規程第３条第５項（6）②〕。

14　水分の補給については、主審の指示に従ってください。
（１）蓋付のボトルのみ使用を許可します。
（２）ベンチ内の給水ボトルは必ずバック等に保管して置いてください。
　※クーラーボックスの持ち込みはご遠慮ください。また、氷のうの使用はインターバル中のみ認めます。使用後は必ず保冷ソフトバッグ等に保管してください。

15　各試合（ダブルス又は、シングルス）終了時には、勝敗に関係なく、主審及びサービスジャッジと握手することを心掛けてください。

16　競技フロアでは、タブレット端末の使用及び携帯電話は使用を禁止いたします。携帯電話は電源を切るか、マナーモードにすること。

17　サブアリーナを選手集合所、選手控室、ウォームアップ場とします。試合開始に先立つ招集に関しては、十分に注意してください。

18　記録速報箱は１階と２階のロビー、記録本部に設置しています。

19　ベンチからの写真撮影は禁止します。

20　選手の荷物等は、各自持参で入退場してください。

21　温度環境維持のため、空気調整装置（エアーコンディショナー）を使用する場合があります。

22　本競技会では、特段に「会場ルール」は定めていません。

23　その他、国民体育大会競技実施要項を遵守してください。

審判上の注意

1　審判員は、公益財団法人日本バドミントン協会「平成２８年度　競技規則、大会運営規程及び公認審判員規程」にのっとり厳正に競技を運営する。

2　競技規則の第９条（サービス）、第１３条（フォルト）、第１６条（プレーの継続、不品行な振舞い、罰則）については、厳正に判定する。

3　すべてのゲーム中に、一方のサイドのスコアが１１点になったとき、６０秒を超えないインターバルを認める。また、第１ゲームと第２ゲームの間、第２ゲームと第３ゲームの間に１２０秒を超えないインターバルを認める。［競技規則第１６条第２項］

4　プレーヤーは、どんなことがあっても、体力や息切れを回復できるように、または、アドバイスを受けるためにプレーを遅らせてはならない。　［競技規則第１６条第４項］
　ラケットの破損、ストリングスの切断等のためラケットを交換する場合、あるいは、靴の紐を締め変える場合などは、インプレー中以外は主審の許可を得て指示に従わなければならない。

5　マッチ（試合）中のシャトルがインプレーでない場合に限り、プレーヤーはアドバイスを受けることができる。［競技規則第１６条第５項(1)］
　監督・選手などが、インプレー中に当該プレーヤーに対して、アドバイスをすることは認められない。

6　プレーヤーは、競技規則第１６条第２項のインターバルを除き、マッチ（試合）中、主審の許可なしにコートを離れてはならない。［競技規則第１６条第５項(2)］
　マッチ（試合）中、プレーヤーは汗拭きやそれに伴う水分補給などにより、プレーが遅延したり、コートを離れる場合は、主審の許可を得なければならない。

7　プレーヤーが競技規則第１６条第４項（１）（プレーの遅延）・第５項（２）（アドバイスとコートを離れる事に関して）・第６項（プレーヤーの禁止行為）に違反した場合、主審は違反したサイドのプレーヤーに「警告」（イエローカード）する。また、一度「警告」を受けた後、再び違反した場合は、そのサイドを「フォルト」（レッドカード）にする。一つのサイドによる警告後の同種の違反行為による「フォルト」は執拗な違反と見なす。目に余る不品行な振舞い、執拗な違反、競技規則第１６条第２項（インターバル）の違反には、その違反したサイドを「フォルト」とし、直ちに競技役員長（レフェリー）に報告する。競技役員長（レフェリー）は違反したサイドをそのマッチ（試合）から失格させる事ができる。［競技規則第１６条第７項］

8　主審は、もし線審が明らかに間違ったコールをしたと確信する場合には、線審の判定を変更することができる。［競技規則第１７条第５項］

9　審判員の判定に対して疑問がある場合は、当該プレーヤーと監督に限り、主審に対して「質問」することが認められる。ただし、「抗議」あるいは「異議」であってはならない。
［大会運営規程第３６条］

昼食弁当の斡旋について

希望郷いわて国体北上市開催競技に参加される選手・監督の皆さんの昼食弁当を斡旋(あっせん)します。

お申込みについては、下記をご覧いただき、指定の申込み方法でお申込みください。

1　弁当料金

1個　900円（消費税込/お茶、割り箸・爪楊枝、お手拭き付）

2　斡旋対象日

平成28年10月２日（日）～10月５日（水）

3　弁当の申込み

(1)　全日、インターネットによる事前申し込みとなります。

(2)　申込み後、変更・取り消しをする場合は、弁当引き換え日の前日17:00までにインターネットにより変更入力または取り消しをしてください。

(3)　申込み締切日以降は、新規の受付は行いません。

(4)　弁当代金の支払いは、大会終了後に請求書を送付しますので、指定の口座に振り込みをしてください。

(5)　領収書が必要なときは、振込確認後に領収書を送付します。

4　弁当の引換

(1)　弁当の引換は、各競技会場の弁当引換所のみで行います。

(2)　弁当引換所での引換時間は、11:00～13:30までです。

(3)　弁当は「弁当引換券」と交換します。再発行できませんので、紛失等にご注意ください。

(4)　13:30を過ぎての引換は行いません。

(5)　食後、弁当ガラは、14:30までに弁当引換所までご持参ください。

【お願い】

（１）弁当の消費期限は14:00ですが、引換後は消費期限にかかわらず、お早めにお召し上がりください。

（２）弁当の持ち帰りは、衛生上の問題のため、絶対にしないでください。

医療救護について

1　競技会場での対応

(1)　競技会場に救護所を設置します。救護所内には医薬品及びＡＥＤを配備します。

(2)　医師・看護師を配置し、応急処置を行います。症状により必要と認めたときは、医療機関に救急搬送しますので、必ずチームの関係者が同行してください。

(3)　医療機関に救急搬送されて治療を受ける場合は、救護所で交付する「処置記録兼診療依頼書」及び「健康保険証」を医療機関の受付に提示してください。

※　処置記録兼診療依頼書とは…傷病者の情報、症状や救護所での処置内容等を、北上市実行委員会から搬送先医療機関に的確に伝達し、診療をお願いする書類です。

2　練習会場での対応

医療機関での治療が必要な場合は、上記１と同様に、必ずチームの関係者が同行してください。この際には、「処置記録兼診療依頼書」の交付はありません。

3　宿舎での対応

(1)　直接宿舎に申し出て医療機関の紹介をしてもらうか、緊急な場合は、救急自動車の手配を依頼してください。なお、医療機関に搬送する場合、チーム関係者が必ず同行してください。

(2)　医療機関で治療を受ける場合は、「健康保険証」を提示してください。

4　医療費の負担について

救護所で行う応急処置及び救急自動車に要する費用は無料ですが、タクシー等を利用した場合の交通費は自己負担となります。

また、医療機関で治療を受けた費用は、受診者負担となりますので、必ず健康保険証を持参してください。

※「健康保険証」を提示しないで受診した場合の医療費は、全額が受診者の負担となりますのでご注意願います。

輸送について

1　輸送について

(1)　輸送方法

選手・監督の宿舎から競技会場及び練習会場への移動は持込車両もしくは計画タクシーでの移動となります。

(2)　輸送対象

選手・監督のみを対象とします。

(3)　輸送区間

「宿舎」→「練習会場」→「競技会場」→「宿舎」間の移動が計画輸送対象区間です。

(4)　タクシーチケットの配布及び留意事項

・９月30日(金)及び10月２日(日)～10月５日(水)のみ使用が可能です。(公式練習日を含む)

・来県初日、宿泊施設でチェックインの際に、宿舎フロントにて希望郷いわて国体・希望郷いわて大会北上市実行委員会発行のタクシーチケットを配布いたします。乗車時にタクシーチケットをお持ちでない場合は、自己負担となりますのでご注意ください。

・紛失した場合は、追加発行ができませんので、大切に保管ください。

・競技会場では係員がタクシーの手配を行いますが、宿舎や練習会場でのタクシーの予約は各チームでお願いいたします。

2　駐車場について

(1)　競技会場

来会調査時に持込車両を希望された選手・監督には「駐車許可証」を発行しています。指定の駐車場をご利用ください。

(2)　練習会場

練習会場への移動には持込車両がご利用になれます。

(3)　監督会議会場

監督会議会場の駐車場台数には限りがありますので、配宿先が遠方となる場合を除き、徒歩でお越しください。

(4)　宿舎

宿舎の駐車場の有無については、各宿舎によって異なりますので、宿泊先が決定後、必要に応じて宿泊先へお尋ねください。

3　注意事項

タクシーチケットは競技会場、練習会場など競技会に直接関係する場所への移動でのご利用に限ります。競技終了後の買い物や食事等、プライベートな移動にはご利用できません。不正利用が判明した場合、料金の請求をする場合がございますので、ご注意ください。

大会関係機関連絡先（北上市）

◎実行委員会事務局

名称	所在地	電話・FAX番号
希望郷いわて国体・希郷いわて大会北上市実行委員会	岩手県北上市上江釣子１７地割２０１番地2	（TEL）0197−72−8288 （国体推進課） （FAX）0197−77−3591

◎競技会場

名称	所在地	電話番号
北上総合運動公園北上総合体育館	岩手県北上市相去町高前檀２７番地３６	0197−67−6720

◎審判会議会場

名称	所在地	電話番号
北上市生涯学習センター	岩手県北上市大通り一丁目３番１号	0197−72−8303

◎監督会議会場

名称	所在地	電話番号
ブランニュー北上	岩手県北上市大通り一丁目１０番１号	0197−72−7075

◎警察・消防　など

分類	名称	所在地	電話番号
警察	北上警察署	岩手県北上市九年橋三丁目１６番10号	0197−61−0110
消防・救急	北上地区消防組合	岩手県北上市柳原町二丁目３番６号	0197−64−1122
保健所	中部保健所	岩手県花巻市花城町1−41	0198−22−4921

◎休日・夜間診療

名称	所在地	電話番号	診療時間
岩手県立中部病院	岩手県北上市村崎野１７地割１０番地	0197−71−1511	夜間常時
北上済生会病院	岩手県北上市花園町一丁目６番８号	0197−64−7722	
名称	診療所一覧掲載先		診療時間
北上市休日当番医	北上市ホームページ http://www.city.kitakami.iwate.jp/		日曜・祝日 9：00〜17：00
いわて医療ネット〜岩手県医療機関検索サービス〜	いわて医療ネット http://www.med-info.pref.iwate.jp/		

◎宿舎・弁当・輸送

分類	名称	所在地	電話・FAX番号
宿舎	希望郷いわて国体配宿センター	岩手県盛岡市内丸2-5　ＪＴＢビル１階	（TEL）019−625−0008 （FAX）019−625−0125
弁当	希望郷いわて国体県南合同弁当センター	岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-161	（TEL）0198−29−5469 （FAX）0198−29−5438
輸送	希望郷いわて国体県南合同輸送センター	岩手県花巻市石鳥谷町八幡4-161	（TEL）0198−29−5446 （FAX）0198−29−5438

鬼剣舞のそばっち
（北上市バージョン）

歓　迎

第７１回国民体育大会

バドミントン競技会

選手の皆様のご健闘をお祈りします

希望郷 いわて国体

岩手県バドミントン協会

会長　竹林克彦

第71回国民体育大会

（2016希望郷いわて国体）

バドミントン競技会

ようこそ北上市へ

選手の皆様のご健闘をお祈りいたします

北上市バドミントン協会

会長　金原良史

歓　迎

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会を応援しています

～選手の皆様のご健闘を
お祈り致します！～

高善商店有限会社

〒024-0092 岩手県北上市新穀町 1-7-47

☎０１９７－６５－２１４１

『「スポーツをする人」「応援する人」を応援するお店』

WaGaSports

北上市新穀町1−3−22　TEL 0197-63-3052

BRAND NEW KITAKAMI ブランニュー北上

tel.0197-72-7075

〒024-0061 岩手県北上市大通り1丁目 10-1（北上駅より徒歩3分）

http://www.brandnew-k.com　info@brandnew-k.com

4&5

toyoko-inn.com

東横INN

北上駅新幹線口

kitakami-eki Shinkansen-guchi

〒024-0032　北上市川岸1-3-4

Tel. 0197-62-1045　Fax. 0197-62-1046

ご予約は 東横INN Web予約 で

toyoko-inn.com（/i/）携帯

シングル　4,800円～（季節によって料金は変動いたします。）

歓　迎

希望郷いわて国体バドミントン競技

選手皆様のご健闘をお祈りいたします

北上市旅館ホテル組合

組合長　高橋賢輔
組合員一同

タイプ	施設名	TEL	タイプ	施設名	TEL
ビジネスホテル	ホテルシティプラザ北上	0197-64-0001	旅館	ホテル悠	0197-71-2277
ビジネスホテル	南部ホテル	0197-63-4131	旅館	フラワーホテル	0197-71-2600
ビジネスホテル	グリーンホテル北上	0197-65-5500	旅館	長生館	0197-63-4535
ビジネスホテル	グリーンホテルアネックス	0197-65-5500	旅館	玉や旅館	0197-67-3953
ビジネスホテル	ホテルメッツ北上	0197-61-2222	温泉	水神温泉旅館　山照園	0197-73-6675
ビジネスホテル	くさのイン北上	0197-65-1711	温泉	水神温泉湯元　東館	0197-73-7297
ビジネスホテル	草のホテル	0197-65-1712	温泉	瀬美温泉	0197-73-7294
ビジネスホテル	北上パークホテル	0197-65-2323	温泉	入畑温泉瀬目乃湯	0197-73-8008
ビジネスホテル	北上パンションホテル	0197-65-2225	温泉	元湯夏油	090-5834-5151
ビジネスホテル	ホテル白百合	0197-61-0555	温泉	夏油温泉観光ホテル	090-5834-5139
ビジネスホテル	コンフォートホテル北上	0197-62-0711	ロッジ	サンタハウスGETO	0197-73-5050
ビジネスホテル	ホテルルートイン北上	0197-61-0711			

ビジネスホテル　シティーホテル　旅館　温泉　ロッジ

北上市旅館ホテル組合HP
http://www.kitakami-yado.com/

お客様に満足感と安心感。
そして子供たちに美しい地球と自然豊かな環境を。

— 印刷を通して地域に文化を —

トーバン印刷株式会社

〒024-0031 北上市青柳町二丁目1-3 ☎0197-61-6211 fax 0197-64-6002
URL http://www.makasete.jp E-mail k-sales@makasete.jp

飲酒運転撲滅！！運転代行も安心安全なタクシー会社へ

岩手県ハイ・タク共済協同組合北上支部

北上市内（市外局番 0197）

八重樫タクシー	64-1151	大安タクシー	63-3331
北上タクシー	63-2345	都タクシー	63-3268
平和タクシー	64-1234	安全タクシー	65-4321
村崎野タクシー	66-2627	藤タクシー	64-2311
ほつと交通	71-2117	和賀観光タクシー	72-2020
江釣子タクシー	77-2434	北上地区タクシー業協同組合	64-1808

西和賀町内（市外局番 0197）

ゆだ交通	82-3045	西和賀観光タクシー	82-2215

岩手県知事許可 塗装（般-21） 第50233号 とび・土工（般-26） 第50233号

塗装の佐藤

北上市鬼柳町川原小屋23-3 TEL 0197-72-6260 FAX 0197-72-6261

“あなたのキッチン”

オードブル

お弁当

慶弔料理

仕出し・お弁当の店

味ろまん

TEL/FAX 0197−65−2088

〒024−0092

北上市新穀町２丁目４−７１

がんばれ！　岩手!!

電気設計・施工・メンテナンス

信　電　気

〒024-0013　岩手県北上市藤沢８地割178番地

TEL＆FAX　0197-68-3418

E-MAIL　sindenki@jasmine.ocn.ne.jp

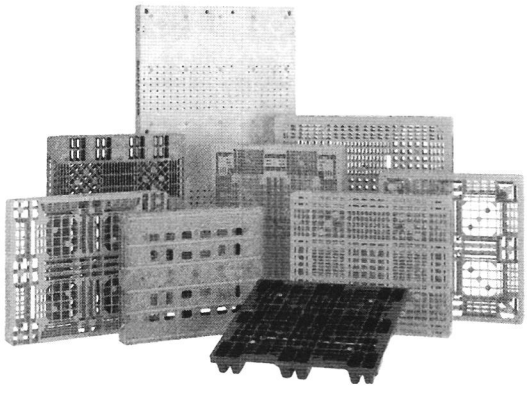
建設・土木資材・耐震工事
Construction material.

株式会社 コセガワ

【本　　社】北上市本石町一丁目1-25　TEL 0197-63-3251　FAX 0197-64-4400
【盛岡営業所】盛岡市永井23-33-11　TEL 019-638-7909　FAX 019-638-7966
【鉄鋼センター】北上市村崎野14　TEL 0197-66-3883　FAX 0197-66-3393

<プラスチック物流・産業資材メーカー>

サンコー 三甲株式会社



ホームページ http://www.sanko-kk.co.jp

〔岐阜本社〕岐阜県瑞穂市本田 474-1
TEL 058-327-3535 FAX 058-327-6691

〔東北第1工場〕北上市北工業団地2-33
TEL 0197-71-3535 FAX 0197-66-3159

〔東北第3工場〕北上市北工業団地2-32
TEL 0197-71-0035 FAX 0197-66-3178

TOYOTA L&F TOYOTA
トヨタL&F岩手株式会社

本　　社　紫波郡矢巾町流通センター南二丁目6番12号
〒020-0891　電話（019）638－4611（代表）

拠点駐在営業所

盛岡支店南・北(営)	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南二丁目6番12号	電話 (019)632－3121
県南支店	〒029-4503	胆沢郡金ヶ崎町西根南羽沢71番2	電話 (0197)44－3521
三陸営業所	〒022-0102	大船渡市三陸町吉浜字根白205－1	電話 (0192)43－7600
一関営業所	〒029-4102	西磐井郡平泉町平泉字高田92－10	電話 (0191)46－4221
宮古営業所	〒027-0203	宮古市津軽石第13地割400番2	電話 (0193)67－3596
県北営業所	〒028-6301	九戸郡軽米町大字上舘15地割字岩崎9番7	電話 (0195)48－1330
ﾘｰﾌｫｰｸｾﾝﾀｰ盛岡	〒020-0891	紫波郡矢巾町流通センター南三丁目10番10号	電話 (019)632－3124

北上銘菓
五郎がびっくり焼
お菓子の
宗泉堂
北上市諏訪神社前
電話〇一九七(63)二五二一

北上讃菓
子さといも
きつみクもっちりタルト

北上讃菓
子さといも
かりんとうまんじゅう

かぎや菓子舗
本店・工場／北上市堤ヶ丘二丁目9-1 ☎0197－65－3531

私しゃ
あなたの
そば
よりも
南部家敷の
そばがよい

お客様の笑顔が私たちの宝です
そば・天ぷら・うなぎ
南部家敷

株式会社 小原建設

国際規格認証企業

ISO9001

Obara Construction Co., Ltd

本 社 〒024-0004
岩手県北上市村崎野15地割312番地8
TEL 0197-66-3125(代)
FAX 0197-66-5438
E-mail k.obara@obara-c.co.jp

事業内容 土木工事 建築工事
子育て支援事業(66)3304
関連会社 ㈱丸重
大型機械運送(66)3126
建設廃棄物中間処理(66)3127
庭園設計施工・販売(61)4577

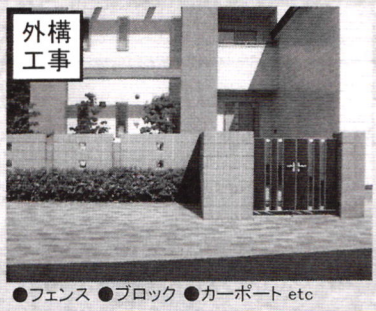
『KENガーデンプランニング』で検索

The English Garden

庭園設計施工 ガーデンググッズ

KENガーデンプランニング

外構 エクステリア ガーデニングの専門店



●フェンス ●ブロック ●カーポート etc

設計 本場英国で学んだノウハウを生かし、より本格的な庭園を提案します

施工 客様の意向を第一とし、経験と実績に培われた適切な施工を行います

販売 最新のガーデンググッズやプリザーブドフラワーなどを多数扱っております

●洋風庭園 ●和風庭園 ●モダンガーデン

●コンクリート舗装 ●アスファルト舗装
●インターロッキング舗装 etc

特典

工事ご注文の方全員に、季節の草花(植栽込み)のプレゼント!!

司法書士・土地家屋調査士　土地家屋調査士　司法書士

菊池　隆・新田謙一郎・髙橋　文雄

合同事務所

事務所　〒024-0093 岩手県北上市本石町二丁目1番37号

TEL　0197（64）1854

FAX　0197（63）4636

より安心・より快適なタクシーを創造する

YA ヤエガシタクシー

0120-011-510

携帯PHS OK

〒024-0092　北上市新穀町 1-3-30　TEL 0197-64-1151　FAX 0197-64-1152

http://www.yaetaku.com

第７１回国民体育大会

祝

「希望郷いわて国体」
バドミントン競技会

全国からお集まりの選手の皆様、郷土の誇りを胸に全力で頑張ってください！

釜石市の花「はまゆり」

国内19番目の世界
遺産「橋野鉄鉱山」
釜石市橋野町

２０１１年東日本大震災の折には、全国の皆様からの温かいご支援をいただきました。心より御礼申し上げます。

釜石市バドミントン協会も数人の仲間を失い、市民体育館が取り壊されるなど大きな痛手を負ったところですが、少しずつ復興も進み前向きに全力で頑張っています。

また、この度の熊本地震により被災された方々には、心よりお見舞い申し上げます。

被災した仲間として共にがんばりましょう！「頑張れ！！熊本県選手団」

釜石市バドミントン協会
会長　　北野和敏

TOSHIBA

お困りごと
解決します!!

お気軽に
お電話
ください。

リフォームの
ご相談もOK!

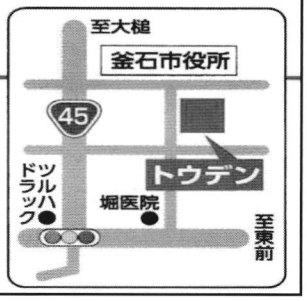
エアコンの移設・取付・クリーニング
パソコン関連のトラブル・家電のメンテナンス

三陸沿岸家電事業協同組合
あなたの暮らしにぴったりの最新家電をご案内いたします。

エルプラザ トウデン

釜石市只越町3丁目8-16
TEL0193(55)4747

釜石市役所通り
【駐車場あり】



『希望郷いわて国体』を応援します

バドミントン専門店
プロショップ菊地

〒023-1131
岩手県奥州市江刺区愛宕字前中野67-1
TEL(FAX)　0197-35-6459

2016
希望郷 いわて国体

夢をつかめ！

主役はあなた！

熱い感動を巻き起こせ！

選手皆様のご活躍を心よりお祈り致します

奥州市バドミントン協会
会長　菊地　保福

2016 希望郷いわて国体

頑張れ！岩手県バドミントン競技出場選手団

前沢高等学校バドミントン部

「少年男子の部出場」

軽石　直人

田村　汰稀

菊地　拓也

「少年女子の部出場」

松好　奏海

前沢高等学校バドミントン部出身

「成年男子の部出場」

石川　貴寛選手　　菊地　裕太選手

「成年女子の部出場」

古川　佳奈選手

打て！感動の一球

出場選手皆様のご健闘をお祈りいたします。

㊞ 岩手県立前沢高等学校　バドミントン部保護者会

社会福祉法人　岩手福寿会

福　寿　荘

＜介護保険指定施設・老人福祉事業＞
特別養護老人ホーム福寿荘　／　特別養護老人ホーム福寿荘福原山荘

短期入所（ショートステイ）　通所介護（デイサービス）
訪問介護（ホームヘルパー）　訪問給食
居宅介護支援　在宅介護支援センター

〒023-0833 岩手県奥州市水沢区上姉体二丁目1番地22　TEL 0197-28-1234　FAX 0197-28-1230

高度な技術で郷土の振興に奉仕
測量・設計・補償・地質調査業務

株式会社 東　開　技　術

代表取締役会長　加藤清虎
代表取締役社長　菊池　進

〒023-0025　岩手県奥州市水沢区字高網33番地
TEL 0197-24-1311（代表）　http://www.toukai1311.co.jp

選手の皆様のご活躍をお祈りいたします

Racket House

BADMINTON PRO SHOP

OISPO

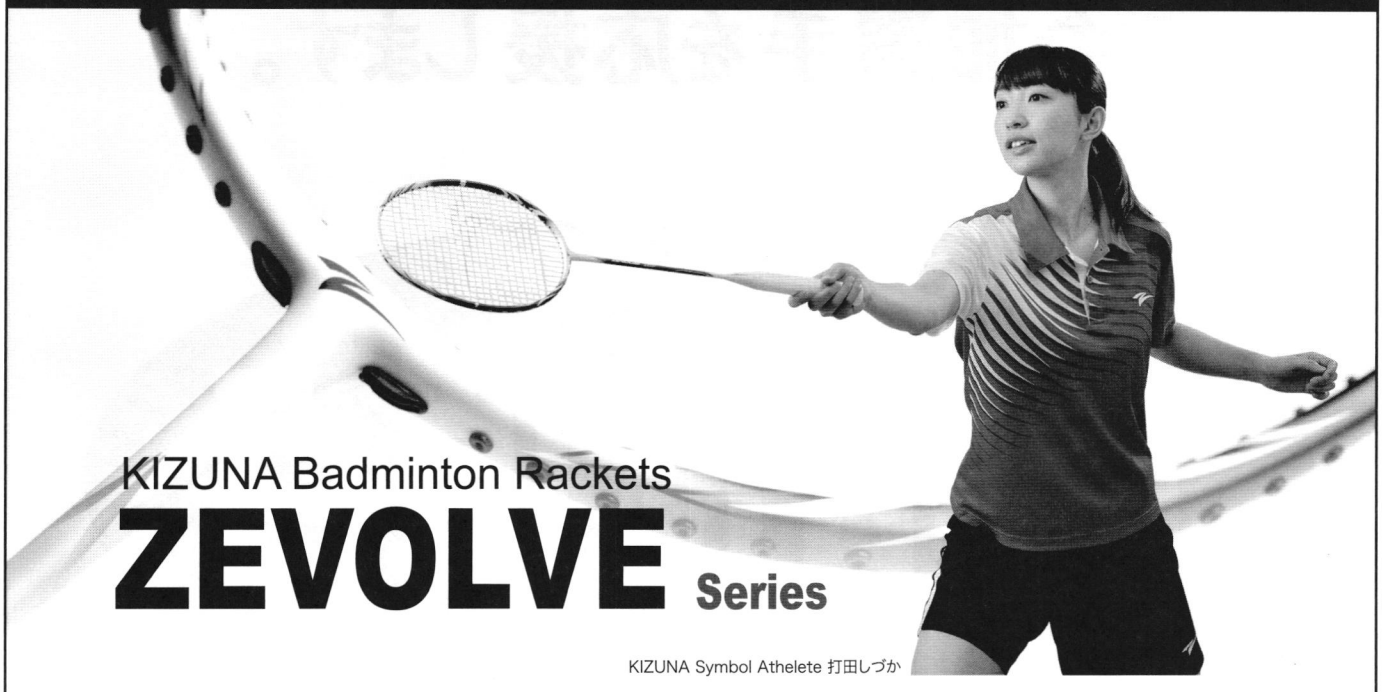
オイカワスポーツ

ラケットハウス駅前店

奥州市水沢区中町119-2
☎0197-25-8823 FAX 0197-25-8864
日本バドミントン専門店会加盟店

プレーが進化する

絆 JAPAN
QUALITY BY KIZUNA



KIZUNA Badminton Rackets

ZEVOLVE Series

KIZUNA Symbol Athelete 打田しづか

ZEVOLVE 100

本体価格　¥20,000+税
全長:675mm
重量:88g±2g
バランス:293mm±3mm
グリップサイズ:5
素材:高弾性カーボン
カラー:ブラック*グリーン
推奨張力:20〜27ポンド
推奨ストリング:Z69Premium
ソフトケース付　中国製

ZEVOLVE 90

本体価格　¥22,000+税
全長:675mm
重量:85g±2g
バランス:285mm±3mm
グリップサイズ:5
素材:高弾性カーボン
カラー:ブラック*ゴールド
推奨張力:20〜27ポンド
推奨ストリング:Z64強弾
ソフトケース付　中国製

ZEVOLVE 80

本体価格　¥19,000+税
全長:675mm
重量:86g±2g
バランス:288mm±3mm
グリップサイズ:5
素材:高弾性カーボン
カラー:レッド*ブラック
推奨張力:20〜27ポンド
推奨ストリング:Z63Premium
ソフトケース付　中国製

ZEVOLVE 70

本体価格　¥21,000+税
全長:675mm
重量:82g±2g
バランス:295mm±3mm
グリップサイズ:5
素材:高弾性カーボン
カラー:ホワイト*ブラック
推奨張力:20〜27ポンド
推奨ストリング:Z58Premium
ソフトケース付　中国製

日本製であることへのこだわりと誇り。 *Premium* シリーズ誕生！

Z58 プレミアム
本体価格　¥1,200+税
ゲージ：0.58mm
長さ：10m
色：
素材：構造/
芯糸：高強度ナイロン/
マルチフィラメント
側糸：高強度ナイロン/
ブレーディング加工
推奨張力：20〜23ポンド

Z63 プレミアム
本体価格　¥1,100+税
ゲージ：0.63mm
長さ：10m
色：
素材：構造/
芯糸：高強度ナイロン/
マルチフィラメント
側糸：高強度ナイロン/
ブレーディング加工
推奨張力：20〜27ポンド

Z69 プレミアム
本体価格　¥1,000+税
ゲージ：0.69mm
長さ：10m
色：
素材：構造/
芯糸：高強度ナイロン/
マルチフィラメント
側糸：高強度ナイロン/
ブレーディング加工
推奨張力：20〜27ポンド

は、日本バドミントン協会審査合格品です。

KIZUNA

株式会社 KIZUNA ジャパン
〒110-0015　東京都台東区東上野 4-1-8 ザ・パークハウス上野浅草通り 201
TEL. 03-5830-7977 FAX. 03-5830-7988　www.kizuna-japan.jp

ようこそ岩手へ
参加選手を応援します。

目指せ頂点

がんばれ岩手

畠山静花（湯口中学校出身）
古川佳奈（矢沢中学校出身）
藤井　愛（湯口中学校出身）

花巻市バドミントン協会
会長　川村伸浩

矢沢中魂
古川佳奈選手（平成２２年度卒）
健闘を祈ります

花巻市立矢沢中学校
バドミントン部父母会

sunpot

2016 希望郷 いわて国体を応援します

人と環境に
やさしいぬくもり

安全性・経済性・省エネ性など、
いくつもの課題に取り組んできた「サンポット」は、
これからも未来へと続く環境に配慮した製品作りで、
快適な毎日をお届けします。

http://www.sunpot.co.jp/

家庭用ストーブから大規模施設冷暖房システムまで ── 環境対応型冷暖房機器メーカー ──

サンポット株式会社
本社・工場 〒025-0301 岩手県花巻市北湯口第2地割1番地26

○札幌支店 ○釧路営業所 ○帯広営業所 ○旭川営業所 ○函館営業所
○仙台営業所 ○郡山営業所 ○青森営業所 ○秋田営業所 ○岩手営業所
○首都圏営業所 ○信越営業所 ○大阪営業所 ○富山営業所

2016 希望郷いわて国体
バドミントン競技

岩手県選手団の健闘をお祈りいたします

頑張れ　花北青雲高等学校バドミントン部

藤井愛さん　　金野夕香さん

岩手県立花北青雲高等学校

職員一同

広げよう 感動。伝えよう 感謝。

2016
希望郷いわて国体

選手の皆さんの活躍を
お祈りいたします。

頑張れ 藤井　愛

ファイト 金野夕香

気合いだ 畠山静花(H27年度卒)

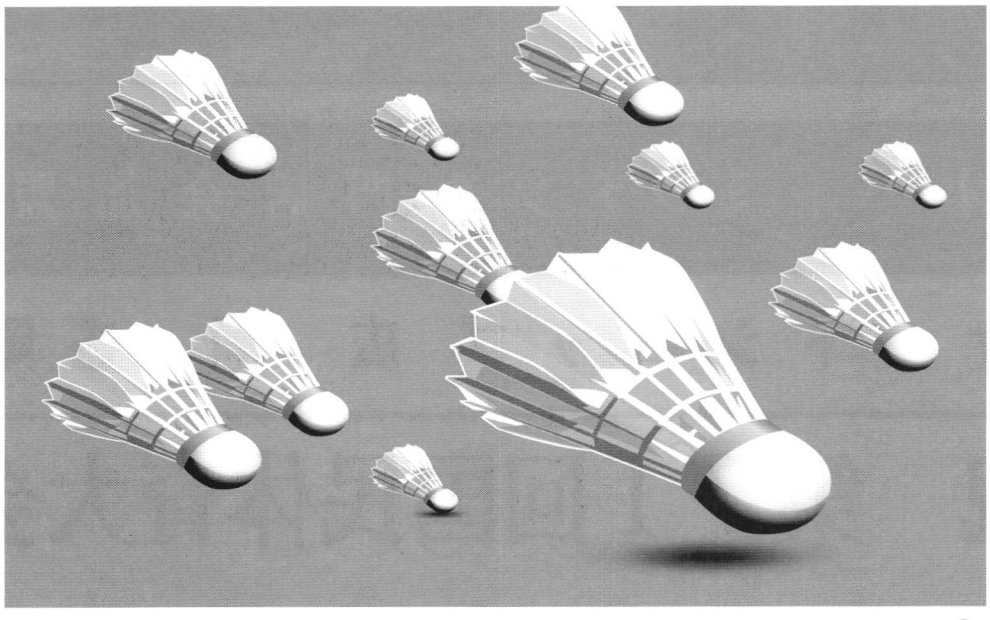
岩手県立花北青雲高等学校
バドミントン部保護者会

MIZUNO
明日は、きっと、できる。
スピードで
差をつける。
新開発ソールが、切り返しの一歩目を加速させる。
[ウエーブファング スピードスタイル]
WAVE FANG SS
高いフィット感とグリップ性を併せ持つ WAVE FANG シリーズに、
新たなモデルが登場。ソールに搭載した新機能
「D-Flex Groove」が切り返しからのスムーズな蹴り出しをサポート。
素材と構造を見直し、さらなる軽量化を実現。
一歩目からの「新しい加速」でライバルに差をつけろ。
Fit type
Wide type
Wide type
Mid cut type
71GA151009 ホワイト×ブラック×ゴールド
71GA151045 ブルー×イエロー×ブルー
NEW COLOR
71GA151209 ホワイト×ブラック×ピンク
71GA151309 ホワイト×ブラック×ライトブルー
NEW COLOR 9月発売
71GA151314 ホワイト×ネイビー×イエロー
71GA151109 ホワイト×ブラック×レッド
本体価格 各¥11,500+税 [ベトナム製]
記載価格は、消費税抜きのメーカー希望小売価格です。 mizuno.jp 0120-320-799

広げよう感動！伝えよう感謝！

～希望郷いわて国体～

ようこそ岩手県へ



選手皆様の健闘を祈ります

盛岡市バドミントン協会
会長　白澤國雄

選手の皆様のご健闘をお祈りします

DUSKIN

おそうじベーシック3

ホコリを舞い上げない！

ホコリを包み込んで
はなさない！

アレル物質まで吸着！

(株)せいなん
盛岡市西見前12−21
(TEL) 019−638−1161

ダスキン紫波支店
紫波郡矢巾町広宮沢10−510−3
(TEL) 019−637−2299

ダスキン中野支店
盛岡市中野2−9−3
(TEL) 019−653−3366

日本バドミントン専門店会加盟店

ラケットショップ広瀬盛岡店

祝　第７１回国民体育大会

～希望郷いわて国体～

選手皆様の熱戦を期待します

盛岡市西見前12−21	TEL	019−638−1161	FAX	019−637−6170

祝
第71回国民体育大会
「希望郷いわて国体」
バドミントン競技会

選手の皆様の
ご健闘をお祈りいたします

岩手県レディースバドミントン連盟

会長　佐々木　隆夫

参与　藤原　静子

副会長　中村　優子　　副会長　加藤　和子

理事長　谷藤　さなえ　　事務局長　松本　美香

祝　第７１回国民体育大会

2016
希望郷 いわて 国体

広げよう 感動。つたえよう 感謝。

ようこそ岩手へ

選手皆様のご健闘をお祈りします
けっぱれ岩手選手団

岩手県シニアバドミントン連盟

祝

希望郷 いわて国体

ICHINOSEKI Badminton Association

選手の皆様のご健闘をお祈りいたします

一関市バドミントン協会
会長千葉　惇

祝

第71回国民体育大会（希望郷いわて国体）

私たちは、第７１回国民体育大会（希望郷いわて国体）

バドミントン競技会を応援しています。

協賛者名簿

浅沼美里
阿部勝志
阿部公枝
阿部恵悦
阿部洋子
餘目司
安藤孝志
石川聡
石川淳
石川晋也
石川由実
石塚千登勢
伊藤一郎
伊藤公子
伊藤張二
伊藤政雄
伊藤美紗
稲葉貴文
猪股晃
猪股公弘
岩渕和浩
岩渕辰男
岩渕政子
上野桂
臼澤春一
えさしガンバーS
及川淳
大内彩愛
大関直美
太田幸徳
大矢晃子
尾形工
小崎譲二
小田島留美子
鬼柳孝夫
小野寺孝志
小野寺友和
小野寺智之
小野寺浩子
小野寺政博
小野寺雄太
小野寺陽子
小畑浩昭
小原和雄
勝部茂男
加藤和子
加藤啓
金今弘行
金原良史
亀谷麗
軽石昇
川南篤人
川村忠広
川村益広
川村留美
菅野徹
菊地英俊
菊池和男
菊地進
菊池卓磨
菊地知津子
菊地亨
菊地光
菊池敏
菊池美杉
菊地保福
菊地稔
北野和敏
木原彩花
久保田廣美
久保田陽亮
熊谷文利
黒澤みどり
小岩義明
衣川Jrスター
昆義哉
佐伯香
佐賀翔
佐賀敬幸
佐々孝
佐々木昭子
佐々木邦夫
佐々木志音
佐々木繁樹
佐々木清喜
佐々木せつ子
佐々木悌治
佐々木友博
佐々木彦士
佐々木道範
佐藤彰彦
佐藤啓輔
佐藤貞雄
佐藤秀
佐藤真一
佐藤慎也
佐藤政由
佐藤憲明
佐藤久喜
佐藤正人
佐藤雅之
澤居学
篠原宏季
渋谷仁
志村正義
白澤国雄
白幡義経
菅原大地
杉田忠光
鈴木勝市
鈴木克仁
鈴木辰市
鈴木孝之
鈴木浩喜
鈴木広志
鈴木舞
鈴木満弥
鈴木由江
関口等
外川正昭
高田満
高橋恵理子
高橋一夫
高橋克枝
高橋邦男
高橋慎
高橋奨
高橋大吉
高橋拓也
高橋忠夫
高橋房裕
高橋南
高橋幸美
高橋亮
田口千晃
武田一仁
竹林克彦
多田きよみ
多田直史
谷藤さなえ
玉山勝彦
千田樹
千田寿孝
千田康史
千田祐子
千田裕也
千葉昭徳
千葉章
千葉惇
千葉圭
千葉幸悦
千葉千如
千葉多美子
千葉正行
筒井信弘
寺澤誠
照井颯希
戸田益美
豊田政弘
中野時洋
新沼悠太
新山実
似内拓也
西川真由
西崇
西田幸治
西原晴美
新田美紗紀
新田由生紀
畠山さくら
畠山静夫
畠山大地
畠山美由紀
原田智生
平田純一
平野大輔
廣瀬歩美
福島ゆかり
藤澤佳代子
藤澤正幸
藤谷誠仁
古川達也
古瀬勝子
星川真由美
松田忠
松谷俊之
三浦正二
三上信也
水賀美佑紀
宮田幸司
宮野いずみ
宮原淳
武蔵奈保子
村上信夫
村上みゆき
柳原賢
山陰郁哉
山陰秀明
山陰優也
山崎忍
山崎範彦
吉田健悟
吉濱幸宏
和田五郎
渡邉香

「スポーツ界における暴力行為根絶に向けたスローガン」

～ 暴力０（ゼロ）　心でつなぐスポーツの絆 ～

スポーツ界における暴力行為根絶宣言

【はじめに】

本宣言は、スポーツ界における暴力行為が大きな社会問題となっている今日、スポーツの意義や価値を再確認するとともに、我が国におけるスポーツ界から暴力行為を根絶するという強固な意志を表明するものである。

スポーツは私たち人類が生み出した貴重な文化である。それは自発的な運動の楽しみを基調とし、障がいの有無や年齢、男女の違いを超えて、人々が運動の喜びを分かち合い、感動を共有し、絆を深めることを可能にする。さらに、次代を担う青少年の生きる力を育むとともに、他者への思いやりや協同精神、公正さや規律を尊ぶ人格を形成する。

殴る、蹴る、突き飛ばすなどの身体的制裁、言葉や態度による人格の否定、脅迫、威圧、いじめや嫌がらせ、さらに、セクシュアルハラスメントなど、これらの暴力行為は、スポーツの価値を否定し、私たちのスポーツそのものを危機にさらす。フェアプレーの精神やヒューマニティーの尊重を根幹とするスポーツの価値とそれらを否定する暴力とは、互いに相いれないものである。暴力行為はたとえどのような理由であれ、それ自体許されないものであり、スポーツのあらゆる場から根絶されなければならない。

しかしながら、極めて残念なことではあるが、我が国のスポーツ界においては、暴力行為が根絶されているとは言い難い現実がある。女子柔道界における指導者による選手への暴力行為が顕在化し、また、学校における運動部活動の場でも、指導者によって暴力行為を受けた高校生が自ら命を絶つという痛ましい事件が起こった。勝利を追求し過ぎる余り、暴力行為を厳しい指導として正当化するような誤った考えは、自発的かつ主体的な営みであるスポーツとその価値に相反するものである。

今こそ、スポーツ界は、スポーツの本質的な意義や価値に立ち返り、スポーツの品位とスポーツ界への信頼を回復するため、ここに、あらゆる暴力行為の根絶に向けた決意を表明する。

【宣言】

現代社会において、スポーツは「する」、「みる」、「支える」などの観点から、多くの人々に親しまれている。さらに21世紀のスポーツは、一層重要な使命を担っている。それは、人と人との絆を培うスポーツが、人種や思想、信条などの異なる人々が暮らす地域において、公正で豊かな生活の創造に貢献することである。また、身体活動の経験を通して共感の能力を育み、環境や他者への理解を深める機会を提供するスポーツは、環境と共生の時代を生きる現代社会において、私たちのライフスタイルの創造に大きく貢献することができる。さらに、フェアプレーの精神やヒューマニティーの尊重を根幹とするスポーツは、何よりも平和と友好に満ちた世界を築くことに強い力を発揮することができる。

しかしながら、我が国のスポーツ界においては、スポーツの価値を著しく冒瀆し、スポーツの使命を破壊する暴力行為が顕在化している現実がある。暴力行為がスポーツを行う者の人権を侵害し、スポーツ愛好者を減少させ、さらにはスポーツの透明性、公正さや公平をむしばむことは自明である。スポーツにおける暴力行為は、人間の尊厳を否定し、指導者とスポーツを行う者、スポーツを行う者相互の信頼関係を根こそぎ崩壊させ、スポーツそのものの存立を否定する、誠に恥ずべき行為である。

私たちの愛するスポーツを守り、これからのスポーツのあるべき姿を構築していくためには、スポーツ界における暴力行為を根絶しなければならない。指導者、スポーツを行う者、スポーツ団体及び組織は、スポーツの価値を守り、21世紀のスポーツの使命を果たすために、暴力行為根絶に対する大きな責務を負っている。このことに鑑み、スポーツ界における暴力行為根絶を以下のように宣言する。

一．指導者

○指導者は、スポーツが人間にとって貴重な文化であることを認識するとともに、暴力行為がスポーツの価値と相反し、人権の侵害であり、全ての人々の基本的権利であるスポーツを行う機会自体を奪うことを自覚する。

○指導者は、暴力行為による強制と服従では、優れた競技者や強いチームの育成が図れないことを認識し、暴力行為が指導における必要悪という誤った考えを捨て去る。

○指導者は、スポーツを行う者のニーズや資質を考慮し、スポーツを行う者自らが考え、判断することのできる能力の育成に努力し、信頼関係の下、常にスポーツを行う者とのコミュニケーションを図ることに努める。

○指導者は、スポーツを行う者の競技力向上のみならず、全人的な発育・発達を支え、21世紀におけるスポーツの使命を担う、フェアプレーの精神を備えたスポーツパーソンの育成に努める。

二．スポーツを行う者

○スポーツを行う者、とりわけアスリートは、スポーツの価値を自覚し、それを尊重し、表現することによって、人々に喜びや夢、感動を届ける自立的な存在であり、自らがスポーツという世界共通の人類の文化を体現する者であることを自覚する。

○スポーツを行う者は、いかなる暴力行為も行わず、また黙認せず、自己の尊厳を相手の尊重に委ねるフェアプレーの精神でスポーツ活動の場から暴力行為の根絶に努める。

三．スポーツ団体及び組織

○スポーツ団体及び組織は、スポーツの文化的価値や使命を認識し、スポーツを行う者の権利・利益の保護、さらには、心身の健全育成及び安全の確保に配慮しつつ、スポーツの推進に主体的に取り組む責務がある。そのため、スポーツにおける暴力行為が、スポーツを行う者の権利・利益の侵害であることを自覚する。

○スポーツ団体及び組織は、運営の透明性を確保し、ガバナンス強化に取り組むことによって暴力行為の根絶に努める。そのため、スポーツ団体や組織における暴力行為の実態把握や原因分析を行い、組織運営の在り方や暴力行為を根絶するためのガイドライン及び教育プログラム等の策定、相談窓口の設置などの体制を整備する。

スポーツは、青少年の教育、人々の心身の健康の保持増進や生きがいの創出、さらには地域の交流の促進など、人々が健康で文化的な生活を営む上で不可欠のものとなっている。また、オリンピック・パラリンピックに代表される世界的な競技大会の隆盛は、スポーツを通した国際平和や人々の交流の可能性を示している。さらに、オリンピック憲章では、スポーツを行うことは人権の一つであり、フェアプレーの精神に基づく相互理解を通して、いかなる暴力も認めないことが宣言されている。

しかしながら、我が国では、これまでスポーツ活動の場において、暴力行為が存在していた。時と場合によっては、暴力行為が暗黙裏に容認される傾向が存在していたことも否定できない。これまでのスポーツ指導で、ともすれば厳しい指導の下暴力行為が行われていたという事実を真摯に受け止め、指導者はスポーツを行う者の主体的な活動を後押しする重要性を認識し、提示したトレーニング方法が、どのような目的を持ち、どのような効果をもたらすのかについて十分に説明し、スポーツを行う者が自主的にスポーツに取り組めるよう努めなければならない。

したがって、本宣言を通して、我が国の指導者、スポーツを行う者、スポーツ団体及び組織が一体となって、改めて、暴力行為根絶に向けて取り組む必要がある。

スポーツの未来を担うのは、現代を生きる私たちである。こうした自覚の下にスポーツに携わる者は、スポーツの持つ価値を著しく侵害する暴力行為を根絶し、世界共通の人類の文化であるスポーツの伝道者となることが求められる。

【おわりに】

これまで、我が国のスポーツ界において、暴力行為を根絶しようとする取組が行われなかったわけではない。しかし、それらの取組が十分であったとは言い難い。本宣言は、これまでの強い反省に立ち、我が国のスポーツ界が抱えてきた暴力行為の事実を直視し、強固な意志を持って、いかなる暴力行為とも決別する決意を示すものである。

本宣言は、これまで、あらゆるスポーツ活動の場において、暴力行為からスポーツを行う者を守り、スポーツ界の充実・発展に尽力してきた全てのスポーツ関係者に心より敬意を表するとともに、それらのスポーツ関係者と共に、スポーツを愛し、豊かに育んでいこうとするスポーツへの熱い思いを受け継ぐものである。そして、スポーツを愛する多くの人々とともに、日本体育協会、日本オリンピック委員会、日本障害者スポーツ協会、全国高等学校体育連盟、日本中学校体育連盟は、暴力行為の根絶が、スポーツを愛し、その価値を享受する者が担うべき重要な責務であることを認識し、スポーツ界におけるあらゆる暴力行為の根絶に取り組むことをここに宣言した。

この決意を実現するためには、本宣言をスポーツに関係する諸団体及び組織はもとより、広くスポーツ愛好者に周知するとともに、スポーツ諸団体及び組織は、暴力行為根絶の達成に向けた具体的な計画を早期に策定し、継続的な実行に努めなければならない。

また、今後、国際オリンピック委員会をはじめ世界の関係諸団体及び組織とも連携協力し、グローバルな広がりを展望しつつ、スポーツ界における暴力行為根絶の達成に努めることが求められる。

さらに、こうした努力が継続され、結実されるためには、我が国の政府及び公的諸機関等が、これまでの取組の上に、本宣言の喫緊性、重要性を理解し、スポーツ界における暴力行為根絶に向けて、一層積極的に協力、支援することが望まれる。

最後に、スポーツ活動の場で起きた数々の痛ましい事件を今一度想起するとともに、スポーツ界における暴力行為を許さない強固な意志を示し、あらゆる暴力行為の根絶を通して、スポーツをあまねく人々に共有される文化として発展させていくことをここに誓う。

平成25年4月25日

公益財団法人日本体育協会
公益財団法人日本オリンピック委員会
公益財団法人日本障害者スポーツ協会
公益財団法人全国高等学校体育連盟
公益財団法人日本中学校体育連盟

宣言しよう、フェアプレイ。

公益財団法人
日本体育協会

宣言しよう。
全力をつくし、挑戦し、
楽しむことを。

宣言しよう。
仲間を信じ、思いやることを。

宣言しよう。
約束を守り、応援してくれる人への
感謝を忘れないことを。

その誓いは、スポーツを
もっと楽しいものにしてくれる。
日々の生活を
もっとすがすがしいものにしてくれる。

そして多くの人々を活気づけ、
今の日本を元気にするチカラにも
なってくれる。

さあ、あなたも手を胸に。
フェアプレイの誓いを。

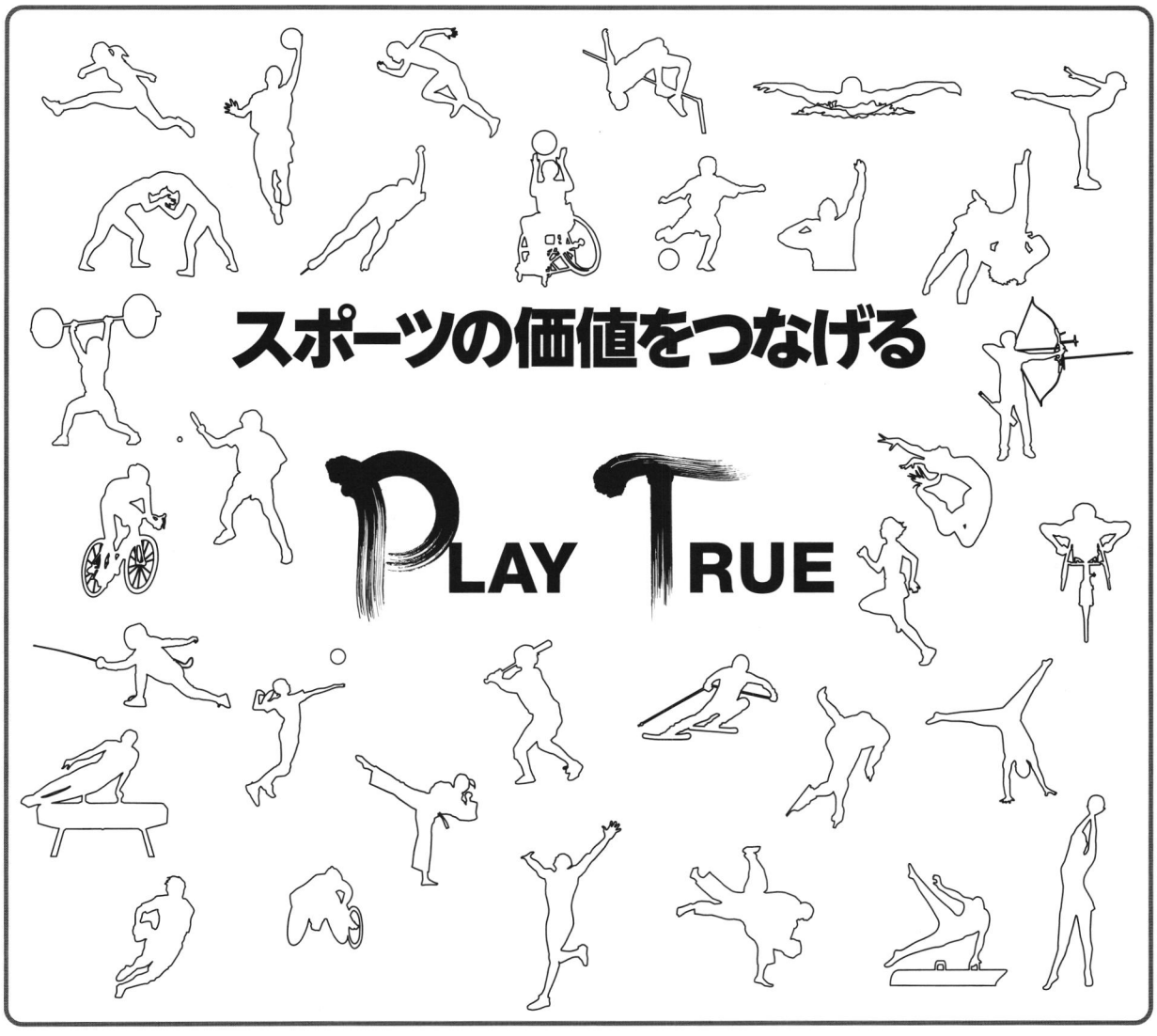
国体パートナー

わたしたちは、2016希望郷いわて国体を応援しています。

LAWSON　北日本銀行　大塚製薬　三井住友海上 MS&AD INSURANCE GROUP

asics　耕そう、大地と地域のみらい。JAいわてグループ　岩手銀行　MIZUNO

FOR THE REAL CHAMPION



"PLAY TRUE"とは、チームワーク、楽しみ、喜び、フェアプレーなど
スポーツの様々な価値をつなぎ合わせ、尊重する精神。
PLAY TRUE精神のもとに、アンチ・ドーピング活動が推進されています。

希望郷いわて国体
希望郷いわて大会 は、PLAY TRUE を推進します

アンチ・ドーピング活動とは、公正公平なスポーツに参加する
アスリートの権利とスポーツの価値をまもり、育む活動です。

JADA Japan Anti-Doping Agency アンチ・ドーピングに関する大切なお知らせ

global DRO 使用可能薬の検索 アスリート自身で確認!

SPORTS PHARMACIST 薬の正しい使い方を薬の専門家に相談!

JADA　Global DRO　スポーツファーマシスト

公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構（JADA）
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1 国立スポーツ科学センター内

スポーツ庁委託事業

2016 希望郷いわて国体 第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。
2016 希望郷いわて大会 第15回全国障害者スポーツ大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

うっかり…では済まされません!

ストップ! うっかりドーピング

「ドーピング防止規定」により、違反が発覚した場合
4年間の資格停止となります。

ドーピング検査を受ける可能性がある方は、
薬やドリンク剤、貼り薬を**使用する前に薬剤師にご相談**ください。

困ったときは聞いてみよう! 薬のご相談はコチラまで

岩手県薬剤師会ドーピング防止ホットライン

Eメール doping.qa2016@gmail.com

[希望郷いわて国体2016期間中は24時間対応]

※本メールアドレスより返信いたします。受信拒否設定されている場合は解除願います。

FAX 019-653-4592 [受付時間/平日9:00~17:00]
TEL 019-653-4591

私たち薬剤師は薬の適正使用をサポートします

ご相談の際 氏名、年齢、性別、競技名、自分の立場(選手・監督・医師・看護師・薬剤師など)、相談内容(薬品名は正確に)をお知らせください。

一般社団法人岩手県薬剤師会
http://www.iwayaku.or.jp
〒020-0876 岩手県盛岡市馬場町3-12

いわて国体・大会承認 第27-103号

東日本大震災復興の架け橋

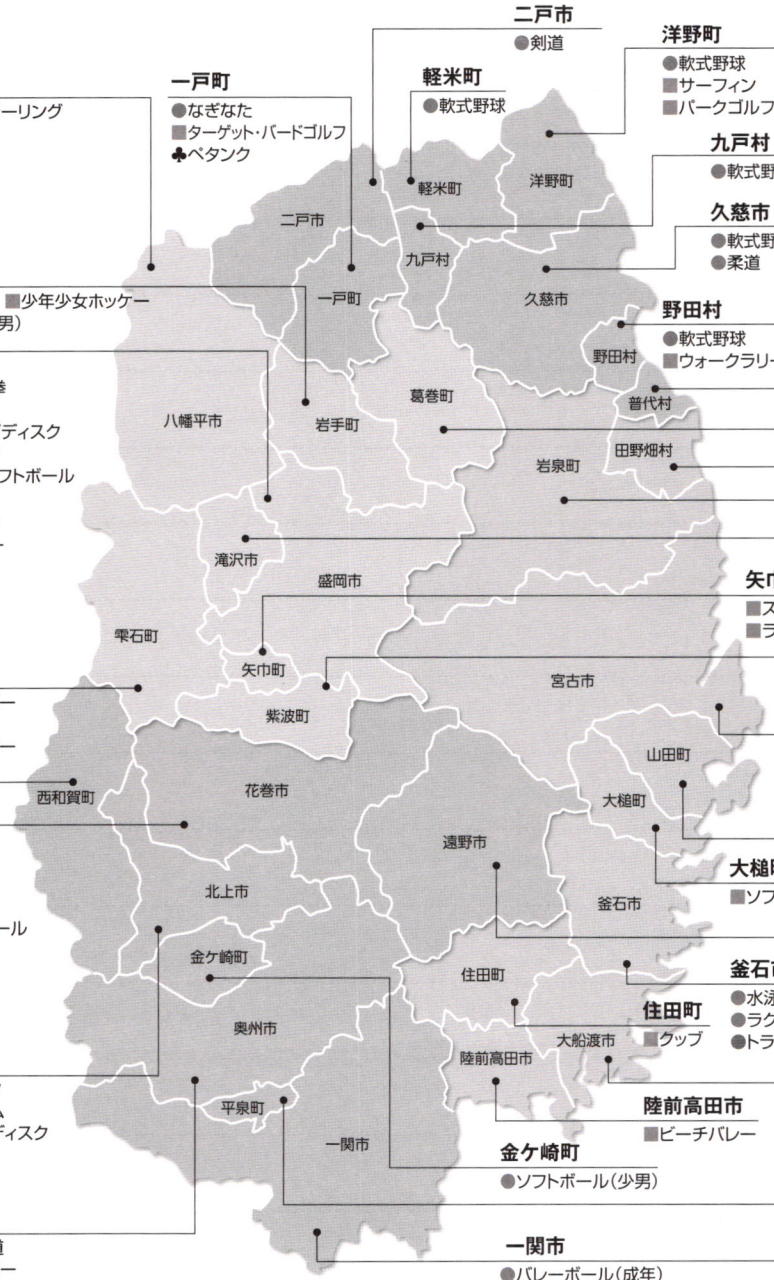
広げよう 感動。伝えよう 感謝。

第71回国民体育大会
2016 希望郷いわて国体
平成28年10月1日土～10月11日火
（水泳競技は平成28年9月4日日～9月11日日）

第16回全国障害者スポーツ大会
2016 希望郷いわて大会
平成28年10月22日土～10月24日月

会場地市町村一覧

●国体 正式競技、特別競技 ●国体 公開競技 ■国体 デモンストレーションスポーツ
★全国障害者スポーツ大会 正式競技 ♣全国障害者スポーツ大会 オープン競技



八幡平市
- ●テニス（少年）
- ●相撲
- ●ライフル射撃（CP除く）
- ●ラグビーフットボール（少男）
- ●ゴルフ（女子、少男）
- ■オリエンテーリング

一戸町
- ●なぎなた
- ■ターゲット・バードゴルフ
- ♣ペタンク

二戸市
- ●剣道

軽米町
- ●軟式野球

洋野町
- ●軟式野球
- ■サーフィン
- ■パークゴルフ

九戸村
- ●軟式野球

久慈市
- ●軟式野球
- ●柔道

普代村
- ●軟式野球

葛巻町
- ●軟式野球
- ■ネオホッケー

岩手町
- ●ホッケー ■少年少女ホッケー
- ●ゴルフ（成男）

盛岡市
- ●水泳（競泳）
- ●水泳（飛込）
- ●水泳（水球）
- ●水泳（シンクロナイズドスイミング）
- ●サッカー（成男、女子）
- ●テニス（成年）
- ●体操（競技）
- ●ライフル射撃（CP）
- ●山岳
- ●カヌー（スプリント）
- ●空手道
- ●ボウリング
- ●高等学校野球（硬式）
- ■ビリヤード
- ■武術太極拳
- ★水泳
- ★フライングディスク
- ★ボウリング
- ★グランドソフトボール
- ★サッカー
- ♣ビリヤード
- ♣卓球バレー

田野畑村
- ■マレットゴルフ

野田村
- ●軟式野球
- ■ウォークラリー

岩泉町
- ※軟式野球

滝沢市
- ●サッカー（女子）
- ■ダンススポーツ

矢巾町
- ■スポーツチャンバラ
- ■ラジオ体操

紫波町
- ●自転車
- ♣ゲートボール

雫石町
- ●アーチェリー
- ■3B体操
- ★アーチェリー

宮古市
- ●レスリング
- ●セーリング
- ■シーカヤックマラソン

西和賀町
- ■屋内雪合戦

山田町
- ●高等学校野球（軟式）

花巻市
- ●サッカー（成男）
- ●ボート
- ●バレーボール（少年）
- ●ハンドボール
- ●ソフトボール（成年、少女）
- ●クレー射撃
- ●高等学校野球（硬式）
- ●綱引
- ●ゲートボール
- ■リレーション3
- ★ソフトボール
- ★フットベースボール
- ★バレーボール

大槌町
- ■ソフトバレーボール

遠野市
- ●サッカー（少男）

釜石市
- ●水泳（オープンウォータースイミング）
- ●ラクビーフットボール（成男・女子）
- ●トライアスロン

住田町
- ■グッブ

大船渡市
- ●グラウンド・ゴルフ
- ■ウォーキング
- ■マラソン

北上市
- ●陸上競技
- ●体操（新体操）
- ●ソフトテニス
- ●バドミントン
- ■エアロビック
- ■ヒルクライム
- ■フライングディスク
- ■ペタンク
- ★陸上競技

陸前高田市
- ■ビーチバレー

金ケ崎町
- ●ソフトボール（少男）

平泉町
- ●パワーリフティング
- ■インディアカ

奥州市
- ●ボクシング
- ●バスケットボール（成年、少女）
- ●ウエイトリフティング
- ●卓球
- ●馬術
- ●弓道
- ●カヌー（スラローム、ワイルドウォーター）
- ★卓球（サウンドテーブルテニス（身）を含む）

一関市
- ●バレーボール（成年）
- ●バスケットボール（成男・少男）
- ●フェンシング
- ■スポーツ吹矢
- ■バウンドテニス
- ★バスケットボール
- ★車椅子バスケットボール

※台風10号の被害により、岩泉町で予定していた試合は軽米町及び葛巻町に変更になりました。

希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会 いわて国体 検索

MEMO

2016
希望郷いわて国体

第71回国民体育大会　広げよう 感動。伝えよう 感謝。

砥部町マスコットキャラクター
「とべっち」
（国体バージョン）

来年は **愛媛県砥部町**（とべちょう） でお会いしましょう！

競技結果について

第71回国民体育大会の正式競技、
特別競技の競技記録結果を掲載しています。

掲載期間

平成28年9月1日㈭～10月31日㈪

▶インターネット
http://kirokukensaku.net/5NS16/index.html

▶携帯サイト
http://kirokukensaku.net/5NS16/mob/index.html

『希望郷いわて国体・希望郷いわて大会実行委員会　お問い合わせデスク』

設置期間： 平成28年10月11日㈫まで　※土、日、祝日を除く
（ただし、9月4日～11日、10月1日～11日は毎日開設）

運営時間： 9:00～17:00　**TEL.019-653-5080**

攻守表裏一体
FORE
コート奥へ追い込む
速いクリア
IC ELASTOMER
BACK
チャンスを与えない
精密レシーブ
リー・チョンウェイ使用のDUORAにオールラウンドモデル登場
新素材ICエラストマーがエネルギーを蓄え、スピードとコントロールが進化。
相手の攻撃を跳ね返すカウンターショットで、ラリーの主導権を奪う。
DUORA 7
NEW | デュオラ 7／¥23,000+税／日本製 yonex.co.jp YONEXBadmintonJapan
YONEX